

No 238/111V



内藤耻叟校閱
大田才二郎講述

史記列傳講義

東京

開新堂發兌

卷三



68-182

史記列傳講義卷三

内藤耻叟校閱

大田才次郎講義



魯仲連鄒陽列傳第二十三

魯仲連者齊人也。好奇偉俶儻之畫策。而不肯仕官任職。好持

高節。游於趙。

（畫策）ハカリゴトヲダシナ

魯仲連ハ齊ノ人ナリ。常ニ奇偉俶儻ノ謀計ヲ好ミ。仕官シテ職事ニ任スルコトヲ肯ンセス。好ミテ高尚ノ行節ヲ守レリ。嘗テ游歴シテ趙ノ國ニ至リタリ。

(一)

趙孝成王時。而秦王使白起破趙長平之軍。前後四十餘萬。秦

兵遂東圍邯鄲。趙王恐，諸侯之救兵莫敢擊秦軍。魏安釐王使將軍晉鄙救趙。畏秦，止於蕩陰，不進。

魯仲連力趙ニ遊ヒタルハ趙ノ孝成王ノ時ナリ此時秦王白起ヲ將トシテ趙ノ長平ノ軍ヲ打破ラシメ前後四十餘万人悉ク秦ニ降レリ秦ノ兵遂ニ進ミテ東ノ方邯鄲ヲ取圍ミタリ趙王大ニ恐ル諸侯ノ救ヒノ兵モ亦皆懼レテ秦ノ軍ヲ擊ツナシ魏ノ安釐王將軍晉鄙ヲシテ趙ヲ救ハシメシカ晉鄙モ亦秦ヲ畏レ蕩陰トイヘル所ニ蹈止マリテ進マス、

魏王使客將軍新垣衍間入邯鄲。因平原君謂趙王曰：秦所爲急圍趙者，前與齊潛王爭彊爲帝，已而復歸帝。今齊潛王已益弱，方今唯秦雄天下。此非必貪邯鄲，其意欲復求爲帝。趙誠發使尊秦昭王爲帝，秦必喜罷兵去。平原君猶預，未有所決。

(客將軍)他國ノ人ニシテ魏ニ仕ヘテ將軍ト爲レルヲ謂フ (猶預)逡巡シテ進マス遲回シテ果サトルノ意ナリ即チグザクスルコナリ

魏王客將軍新垣衍トイヘル人ヲシテヒソカニ趙ノ邯鄲ノ中ニ入ラシメ平原君ニ因テ趙王ニ謂テ曰ク秦ノ急ニ趙ヲ取圍ム所以ハ前ニ齊ノ潛王ト強チ争フテ帝ト爲リ既ニシテ復タ帝號ヲ歸ヘシタリ蓋シ齊カ帝號ヲ廢セルニ因テ秦モ亦之ヲ失フナリ今齊ノ潛王既

ニ益々弱クシテ方今ハ唯秦天下ニ雄タルノミ此レ必ラス邯鄲ヲ食リ取ラントスルニ非ス其意復タ帝ト爲ラント欲スルナリ故ニ趙使者ヲ發シ秦ノ昭王(諡ヲ稱スルハ當時ノ語ニ非ス)追書ノ辭ナリヲ尊ヒテ帝ト爲サハ秦必ラス喜ヒテ兵ヲ罷メテ去ルヘシト平原君猶預シテ未タ決スル所アラサルナリ

此時魯仲連適遊趙，會秦圍趙。聞魏將欲令趙尊秦爲帝，乃見平原君曰：事將奈何？平原君曰：勝也，何敢言事。前亾四十萬之衆於外，今又內圍邯鄲而不能去。魏王使客將軍新垣衍令趙帝秦，今其人在是，勝也，何敢言事。魯仲連曰：吾始以君爲天下之賢公子也，吾乃今然後知君非天下之賢公子也。梁客新垣衍安在？吾請爲君責而歸之。

此時魯仲連タマク趙ノ國ニ遊ヒテ秦ノ軍カ趙ノ城ヲ取圍ムニ會ヘリ魏カ將サニ趙ヲシテ秦ヲ尊テ帝ト爲サジメント欲スト聞キ仍テ平原君ニ見ヘテ曰ク事將ニ奈何セントスル平原君曰ク我何ソ敢テ事ヲ言ハン前ニ四十餘万ノ大衆ヲ外ニ失ヒ今又内ハ邯鄲ヲ取圍マレテ之ヲ退ク去ル能ハス魏王客將軍新垣衍ヲ使者トシテ趙ヲシテ秦ヲ尊テ帝ト

爲サシメントス今其人來リテ此ノ城中ニ在リ我何ソ敢テ事ヲ言ハント魯仲連曰ク昔始
 メ君ハ天下ノ賢公子ナリト思ヘリ今日ニシテ君カ天下ノ賢公子ニ非サルヲ知ル梁ノ客
 新垣衍ハ安クニ在ルヤ我請フ君ノ爲メニ之ヲ責メテ追歸スヘシト
 平原君曰勝請爲紹介而見之於先生平原君遂見新垣衍曰
 東國有魯仲連先生者今其人在此勝請爲紹介交之於將軍
 新垣衍曰吾聞魯仲連先生齊國之高士也衍人臣也使事有
 職吾不願見魯仲連先生平原君曰勝既已泄之矣新垣衍許
 諾

(紹介) 紹ハ繼クナリ介ハ因ルナリ紹介ハ猶媒介ノ如シ人ニ見ユルニハ必ラス因ル所ア
 ルヲ言フ(泄之) 泄ストハ己レ新垣衍ニ交ハラシムルヲ白スヲ言フ

平原君曰ク我請フ紹介トナリテ新垣衍ヲ先生ニ見ヘシメント平原君遂ニ新垣衍ヲ見テ
 曰ク東國ノ齊ノ人ニ魯仲連先生トイフ者アリ今其人此ノ城中ニ在リ我請フ紹介ト爲リ
 テ之ヲ將軍ニ交ハラシメン新垣衍曰ク吾之ヲ聞ケリ魯仲連先生トイヘルハ齊國ニテモ
 志義尤モ高尚ナル士ナリト今日衍ハ諸侯ニ仕フル者ニシテ使事ヲ承ケテ職ヲ掌トレリ
 吾魯仲連先生ヲ見テ之レト交ルニ暇ナシ故ニ之ヲ見ルヲ願ハス平原君曰ク勝既ニ將軍

ニ交ハラシムルヲ白シタリト新垣衍已ムヲ得スシテ之ヲ許諾セリ

魯連見新垣衍而無言新垣衍曰吾視居此圍城之中者皆有
 求於平原君者也今吾觀先生之玉貌非有求於平原君者曷
 爲久居此圍城之中而不去

(玉貌) 魯仲連ヲ尊ヒテ言フナリ

魯仲連新垣衍ヲ見テ一言ヲ發セス新垣衍曰ク吾此ノ圍城ノ中ニ居ル者ヲ視ルニ皆賞賜
 チ平原君ニ求メント欲スル者ナリ今日吾先生ノ玉貌ヲ見ルニ賞賜ヲ平原君ニ求メント
 欲スル者ニ非スナンスレソ久シク此圍城ノ中ニ居テ去ラサルヤト

魯仲連曰世以鮑焦爲無從頌而死者皆非也

(從頌) 從容ト同シ即チオチツク意ナリ

魯仲連曰ク世間ノ人鮑焦カ清介ノ人ナルヲ以テ寛容スル能ハスシテ死スルト爲ス者ハ
 皆非ナリ○韓詩外傳ニ云ク鮑焦ハ周ノ介士ナリ行ヲ飾リ世ヲ誹ル廉潔ニシテ守リ樵ヲ
 採リ椽ヲ拾フテ食ニ充ツ天子ニ臣タラス諸侯ニ友タラス子貢之ニ過フテ謂テ曰ク吾之
 ナ聞ケリ其政ヲ非ル者ハ其地ヲ履マス其君ヲ汚レタリトスル者ハ其利ヲ受クス今子其
 地ヲ履ミ其利ヲ食フ其レ可ナランヤ鮑焦曰ク吾聞ク廉士ハ進ムヲ重ンシテ退クヲ輕ン

賢人ハ愧ナ易トリテ死チ輕ンスト遂ニ木ヲ抱テ立枯スト

衆人不知則爲一身

言フハ世ノ衆人ハ鮑焦ノ意ヲ知ラスシテ鮑焦ヲ以テ一身ノ爲メニスル者ト爲スハ非ナリ鮑焦カ死スルハ濁世ニ居ルチ耻チテ世ノ利ニ趨ク者ヲ激セルナリ一身ノ爲メニスルニ非ス(是レ魯仲連自カラ其趨ニ留マリテ去ラサルハ亦一身ノ爲メニ非サルニ喻フルナリ)

彼秦者。弄禮義而上首功之國也。權使其士。虜使其民。彼即肆然而爲帝。過而爲政於天下。則連有蹈東海而死耳。吾不忍爲之民也。所爲見將軍者。欲以助趙也。

(上首功) 上ハ尙フナリ秦ノ法ハ戰勝チテ首ヲ斬ルコト多キヲ以テ上功ト爲ス一人ノ首ヲ斬ル毎ニ爵封一級ヲ賜フ故ニ秦ヲ謂テ首功ノ國ト爲スナリ (權使) 權詐ヲ以テ使役スルヲ謂フ (虜使) 奴僕ノ如クニ使役スルナリ (肆然) 恣意ヲ恣マニスルナリ (過) 過惡ナリ即チ上文ニ謂ハユル首功ナ上ヒ其士ヲ權使シ其民ヲ虜使スルノ術ヲ謂フ (蹈東海) 魯仲連ハ齊人ナリ齊ハ東海ニ濱ス故ニ東海ヲ指シテ言ヒシナリ 彼ノ秦ハ禮節義理ヲ打弃テ、唯々戰場ニ敵ノ首ヲ斬ル者ノミヲ優賞スルノ暴國ナリ而

シテ秦人ハ權詐ヲ以テ其戰士ヲ使ヒ奴虜ヲ以テ其人民ヲ使フテ恩愛ヲ以テ下チ恤ムナシ彼レ若シ我カマ、增長シテ帝ト爲リ過惡ヲ以テ政教ヲ天下ニ行フニ至ラハ則チ連ハ身ヲ東海ニ投シテ死スルマデノ事ナリ吾秦ノ民ト爲ルニ忍ヒス今日將軍ヲ見ル所以ハ趙ヲ助ケント欲スルカ爲メノミ是レ我此ノ圍城ノ中チ去ラサル所以ナリト

新垣衍曰。先生助之將奈何。魯連曰。吾將使梁及燕助之。齊楚則固助之矣。新垣衍曰。燕則吾請以從矣。若乃梁者。則吾乃梁人也。先生惡能使梁助之。魯連曰。梁未睹秦稱帝之害。故耳。使梁睹秦稱帝之害。則必助趙矣。

新垣衍曰ク先生趙ヲ助クルノ方法ハ將サニ奈何セントスル魯仲連曰ク吾將サニ梁及ヒ燕チシテ之ヲ助ケシメントス齊楚ハ則チ固ヨリ之ヲ助クヘシ新垣衍曰ク燕ハ固ヨリ弱國ナレハ吾ト雖ヒ威チ以テ必ラス之ヲ從ハシメン梁ノ如キハ吾ハ乃チ梁ノ人ナリ先生何クンソ能ク梁チシテ之ヲ助ケシメン魯連曰ク梁ハ未タ秦カ帝ト稱スルノ害ヲ見サルカ故ノミ梁チシテ秦カ帝ト稱スルノ害ヲ見セシメハ則チ必ラス趙ヲ助クヘシ、

新垣衍曰。秦稱帝之害何如。魯連曰。昔者齊威王嘗爲仁義矣。率天下諸侯而朝周。周貧且微。諸侯莫朝。而齊獨朝之。居歲餘。

周烈王崩。齊後往。周怒赴於齊。曰：天崩地坼。天子下席。東藩之臣因齊後至。則斬齊威王勃然怒曰：叱。嗟。而母婢也。卒爲天下笑。故生則朝周。死則叱之。誠不忍其求也。彼天子固然。其無足怪。

(赴)告クルナリ (天崩地坼)烈王ノ崩スルヲ謂フ (天子下席)烈王ノ太子安王驕カ苦ニ寢子廬ニ居ルヲ言フ (東藩之臣因齊)齊王ヲ指ス藩ハ藩屏ナリ天子ノ藩屏トナリテ輔佐スルヲ言フ因齊ハ齊王ノ名ナリ (斬)斬ルナリ (勃然)盛ンニ怒ル貌ナリ (叱)怒テ言フ辭ナリ (而母)而ハ汝ナリ汝ノ母トハ即チ安王ノ母ニテ烈王ノ后ナリ其母ヲ罵リテ婢ト爲スハ之ヲ賤ムノ辭ナリ
 新垣衍曰ク秦カ帝號ヲ稱スルノ害トハ如何ナル害ソ魯連曰ク昔シ齊ノ威王嘗テ仁義ノ道ヲ行ヒテ天下ノ諸侯ヲ率井テ周ニ朝セシメントス其時周ハ國貧クシテ且ツ衰微セリ故ニ諸侯朝スルナクシテ唯齊ノ國ノミ周ニ朝シタリ一歲餘ヲ過キテ周ノ烈王崩ス諸侯皆其喪ニ往キシカ獨リ齊王ノミ後レタリ周大ニ怒テ齊ニ赴ケテ曰ク天崩レ地坼ケテ天子席ヲ下リタリ東藩ノ臣因齊後レテ至ラハ則チ首ヲ斬ラント是ニ於テ齊ノ威王勃然トシテ怒テ曰ク叱、ア、汝ノ母ハ本賤シキ婢ナリ何カ故ニ大言ヲ吐クソト威王前キニ獨リ周ニ朝シ今ハ還テ之ヲ罵ルヲ以テ天下ノ爲メニ笑ハル、ナリ故ニ周王生クレハ則チ周

新垣衍曰ク先生ハ獨リ彼ノ僕夫タル者ヲ見サルヤ僕夫十人ニシテ一人ノ主ニ從フ者ハ寧ロ其力勝タサルニ非ス亦智ノ如カサルニ非ス是レ其主ヲ畏懼スルカ爲メノミト新垣衍ノ意ハ言フ備ハルヲ責ムルノ害ヲ受ケント欲スルニ非ス實ニ秦ヲ畏ル、ノ故ナリ猶僕夫ノ主ニ從フカ如シ如何トモスヘキナシト魯仲連曰クア、梁ノ秦ニ比スルハ僕夫ノ如キカ新垣衍曰ク然リト新垣衍明ラカニ僕夫ニ比スルノ辱ヲ知レレ謬テ之ニ應スル者ハ魯連ノ口ヲ杜カント欲スルノミ、
 新垣衍曰ク先生獨不見夫僕乎。十人而從一人者。寧力不勝。而智不若邪。畏之也。魯連曰。嗚呼。梁之比於秦。若僕邪。新垣衍曰。然。

ニ朝シ周王死スレハ則チ之ヲ叱ス誠ニ周カ備フルヲ責ムルノ求メニ忍ヒサルナリ彼ノ周ハ本天子ニ係ル其備フルヲ責ムルハ怪ムニ足ル者ナシ然レモ猶且ツ其求メニ忍ヒサルナリ趙ノ秦ニ於ケルハ敵ノミ若シ之ヲ辱ヒテ帝ト爲サハ如何ソ其求メニ忍ヒンヤ是レ自カラ備ハルヲ責ムルノ害ヲ受ケルヲ致スナリト、

魯仲連曰。吾將使秦王烹醢梁王。新垣衍快然不悅曰。噫嘻。亦太甚矣。先生之言也。先生又惡能使秦王烹醢梁王。魯仲連曰。

固也。吾將言之。昔者九侯、鄂侯、文王，紂之三公也。九侯有子而好，獻之於紂。紂以為惡，醢九侯。鄂侯爭之，彊辯之疾，故脯鄂侯。文王聞之，喟然而歎。故拘之羑里之庫，百日，欲令之死。曷為與人俱稱王卒，就脯醢之地。

（烹醢）烹ハ煮殺スナリ。醢ハ肉醬ナリ。（怏然）心悅ハサル貌ナリ。（噫嘻）噫ハ不平ノ聲ナリ。嘻ハ驚キ恨ムノ歎ナリ。（三公）太師、太保、太傅ナリ。（子女）女ナリ。（脯）其肉ヲ燂乾スルナリ。（喟然）太息スルナリ。（羑里之庫）羑里ハ地ノ名ナリ。庫ハ舍ナリ。蓋シ獄ヲ謂フ。魯仲連曰ク、梁若シ趙ヲ助ケサレハ、吾將サニ秦王ヲシテ、梁王ヲ烹醢セシメントスト。新垣衍快然トシテ、心甚タ悅ハスシテ曰ク、ア、ア、先生ノ言ヤ亦甚タシキカナ。先生亦安クンソ能ク、秦王ヲシテ、梁王ヲ烹醢セシムルヲ得ンヤ。魯仲連曰ク、固ヨリ然リ。吾將ニ其事ヲ言ハントス。昔シ九侯、鄂侯、文王ハ、殷ノ紂王ノ三公タリ。九侯ニ女アリテ、甚タ美好ナリシヲ以テ、之ヲ紂王ニ獻シタリ。然ルニ、紂王其女ヲ以テ、惡クシトナシテ、怒テ九侯ヲ殺シテ、其肉ヲ醢ニセリ。鄂侯仍テ之ヲ爭フ、強ク之ヲ辯スル疾シ。紂王又怒テ、鄂侯ヲ殺シテ、其肉ヲ脯ニシタリ。文王之ヲ聞テ、喟然トシテ歎息セリ。紂王又怒テ、之ヲ羑里ノ獄ニ拘フル。百日ノ間ニシテ、文王ヲシテ死セシメント欲ス。ナンスレソ人ト俱ニ王ト稱シ、終ニ脯醢ノ場所ニ就クヤ。此レハ安能、使烹醢、梁王ト云フノ間ニ答ヘテ、古來原ト諸侯ヲ烹醢スルノ天子アルヲ言

フナリ。秦王ナリ、梁王モ亦王ナリ、故ニ人ト俱ニ王ト稱スト云フナリ。
齊湣王將之魯。夷維子爲執策而從。謂魯人曰：子將何以待吾君。魯人曰：吾將以十太牢待子之君。夷維子曰：子安取禮而來。吾君彼吾君者，天子也。天子巡狩，諸侯辟舍，納莞簟，攝衽枹机，視膳於堂下。天子已食，乃退而聽朝也。

（太牢）牛羊豕ノ盛饌ナリ。（巡狩）狩ハ守ナリ。天子諸侯ノ守ル所ノ國ヲ巡ルヲ巡狩ト曰フ。（辟舍）正寢ヲ避ルヲ言フ。禮ニ天子諸侯ニ適ケハ、諸侯必ラス又正寢ヲ避ケテ祖廟ニ舍スルナリ。（納莞簟）莞簟ハ即チ輪ナリ。簟ハ輪ト通ス。舍ヲ避ケ輪ヲ納ル者ハ、敢テ其國ヲ有セサルヲ示スナリ。（攝衽枹机）攝ハカキ收ムルナリ。枹ハ抱ニ作ルヲ是ト爲スイダクナリ。机ハ据ル所ナリ。臂ツキノ如キ者ナリ。齊ノ湣王將サニ魯ニ往カントス。夷維子齊王ノ爲メニ馬箠ヲ執リテ從ヒタリ。魯人ニ謂テ曰ク、子將サニ何ヲ以テ吾カ君ヲ待タントスル。魯人曰ク、吾將サニ十太牢ノ盛饌ヲ以テ子ノ君齊王ヲ待タントスト。夷維子曰ク、子何ノ典ニ於テ此禮ヲ取テ來リテ吾カ君ヲ待タントスル。彼ノ吾カ君齊王ハ天子ナリ。天子ノ諸侯ノ國ヲ巡狩スル時ハ、諸侯必ラス正寢ヲ避ケ莞簟ヲ天子ニ納レテ敢テ其國ヲ有セサルヲ示シ、又己レノ衽ヲ攝ケ、天子カ据ル所ノ机

チ抱キ天子カ食スル所ノ膳ヲ堂下ニ視テ天子既ニ食スレハ退テ朝ヲ聽クナリト、
 魯人投其簋不果納不得入於魯將之薛假途於鄒當是時鄒
 君死潛王欲入弔夷維子謂鄒之孤曰天子弔主人必將倍殯
 棺設北面於南方然後天子南面弔

(投其簋) 其鍵ヲ下シテ門ヲ閉ツルヲ言フ (不果納) 果ハ遂クルト言フカ如シ齊王ヲ
 入ルハチ遂ケサルヲ言フ (孤) 諸侯喪ニ居ル時ノ稱ナリ (殯棺) 説文ニ曰ク死シテ棺

ニ在リ將サニ葬柩ニ遷サントシテ之ヲ賓遇スルヲ殯ト曰フ
 魯人之ヲ聞テ其鑰ヲ投シ外門ヲ閉チテ齊君ヲ納レス故チ以テ齊君魯ニ入ルヲ得ス將サ
 ニ薛ニ入ラントシテ途ヲ鄒ニ假レリ是時ニ當リテ鄒君死セリ潛王仍テ入テ弔セント欲
 ス夷維子又鄒ノ孤ニ謂テ曰ク天子弔スレハ主人必ラス將サニ殯棺ニ倍キ去リ北面ノ位
 チ南方ニ設ケテ然ル後ニ天子南面シテ弔スルナリト是レハ主人殯ノ東ニ在ラズシテ將
 サニ其殯棺ト俱ニ西階ノ上ニ立チ北面シテ哭セントスルヲ謂フ是レチ倍クト云フ天子
 乃ハチ阼階ノ上ニ於テ南面シテ之ヲ弔スルナリ

鄒之群臣曰必若此吾將伏劔而死固不敢入於鄒鄒魯之臣
 生則不得事養死則不得賻襚然且欲行天子之禮於鄒魯鄒

魯之臣不果納

(伏劔) 劔又チ仰キ身其上ニ伏シテ死チ取ルヲ言フ (賻襚) 貨財ヲ賻ト曰ヒ衣服ヲ襚ト

曰フ皆生チ助ケ死チ送ルノ禮ナリ、
 鄒ノ群臣皆曰ク必ラス此ノ如クナレハ吾將サニ劔ニ伏シテ死セントスト故ニ敢テ齊王
 チ鄒ニ入レス鄒魯ノ臣生キテハ則チ臣トシテ事養ヲ盡スチ得ス死シテハ則チ賻襚ノ禮
 チ行フチ得ス(此レ鄒魯ハ國小ニシテ且ツ貧ク生死ノ禮ヲ備フル能ハサルヲ言フナリ)然
 レ正齊ノ君且ツ天子ノ禮ヲ鄒魯ニ行ハント欲ス是チ以テ鄒魯ノ臣皆齊王ヲ納ルトチ果
 サトルナリ、

今秦萬乘之國也梁亦萬乘之國也俱據萬乘之國各有稱王
 之名賭其一戰而勝欲從而帝之是使三晉之大臣不如鄒魯
 之僕妾也

(三) 晉之大臣 韓魏趙ノ君ヲ言フ三國ノ君ハ本ト晉ノ卿ナリシチ以テ大臣ト言フナリ
 (鄒魯之僕妾) 鄒魯ノ臣ヲ言フ鄒魯ノ國小ニシテ且ツ貧シキチ以テ其臣三晉ノ大臣ニ
 比シテハ僕妾ト等シキヲ言フ

今秦ハ万乘ノ大國ナリ梁モ亦万乘ノ大國ナリ俱ニ万乘ノ大國ニ據リテ各々王ト稱スル
 ノ名アリ然ルニ今秦カ一タヒ戰ヒテ勝チ見テ從フテ秦チ帝トセント欲ス是レ三晉ノ大

臣ヲシテ鄒魯ノ僕婢ニタモ如カサラシムルトイフ者ナリ、
且秦無已而帝。則且變易諸侯之大臣。彼將奪其所不肖而與其所賢。奪其所憎。而與其所愛。彼又將使其子女讒妾爲諸侯妃姬。處梁之宮。梁王安得晏然而已乎。而將軍又何以得故寵乎。

(無已)必ラス之ヲ爲サント欲シテ止マサルヲ言フ (子女讒妾)子女ハ已レノ女ヲ言フ
讒妾ハ已レノ婢妾ヲ言フ婢妾ハ能ク人ヲ讒言スルヲ以テ讒妾ト言フ然レモ讒ハ添字ト
シテ見ルヘシ必ラスシモ讒言スル婢妾ト言フニ非ス (晏然)チチツク貌ナリ
且ツ秦必ラス帝タラント欲シテ帝タラハ必ラス諸侯ノ大臣ヲ變易スヘシ彼レ將サニ其
不肖トスル所ノ人ノ位ヲ奪フテ其賢トスル所ノ人ニ與ヘ其憎ム所ノ人ノ位ヲ奪フテ其
愛スル所ノ人ニ與ヘントス彼レ又將サニ其子女讒妾ヲシテ諸侯ノ妃姬ト爲シテ梁ノ宮
殿ノ上ニ處ラシメントス梁王何クソ晏然トシテ已ムヲ得ンヤ而シテ將軍モ亦何ヲ以
テ長ク舊トノ寵幸ヲ有ツヲ得ンヤ

於是新垣衍起再拜謝曰。始以先生爲庸人。吾乃今日知先生爲天下之士也。吾請出。不敢復言。帝秦秦將聞之。爲却軍五十

里。適會魏公子無忌奪晉鄙軍以救趙。擊秦軍。秦軍遂引而去。

於是平原君欲封魯連。魯連辭謝。使者三終不肯受。

新垣衍起チテ再拜シテ謝シテ曰ク吾始メ先生ヲ以テ庸常ノ人物ト爲ス今日先生カ天下
ノ賢士タルヲ知レリ吾請フ歸リ去リテ敢テ復タ秦ヲ帝トスルヲ言ハスト秦ノ將之ヲ聞
テ爲メニ軍ヲ退クルヲ五十里ナリ適マ魏ノ公子無忌カ晉鄙ノ軍ヲ奪ヒ趙ヲ救ヒテ秦ノ
軍ヲ擊ツニ會フ秦ノ軍遂ニ引キ去レリ是ニ於テ平原君魯連ヲ德トシテ之ヲ封セント欲
ス魯連之ヲ辭シ讓レリ使者三タヒ至レモ魯連終ニ受クルヲ肯ンセス、

平原君乃置酒。酒酣起前以千金爲魯連壽。魯連笑曰。所謂貴於天下之士者。爲人排患釋難。解紛亂而無取也。即有取者。是商賈之事也。而連不忍爲也。遂辭平原君而去。終身不復見。

平原君仍テ置酒ス酒酣ナルキニ起テ前ミテ千兩ノ金ヲ以テ魯連ノ壽ヲ爲セリ魯連笑テ
曰ク謂ハユル天下ノ士ヲ貴フ所以ハ人ノ爲ニ患ヲ排ラキ難ヲ釋キ事ノ紛亂スルヲ解テ
其報賞ヲ取ル所ナケレハナリ即シ其報賞ヲ取ルアレハ是レ即チ商賈ノ爲ス所ノ事ナリ、
我ハ之ヲ爲スニ忍ヒスト遂ニ平原君ニ辭決シテ去リ終身復タ見ヘス、

其後二十餘年。燕將攻下聊城。聊城人或讒之。燕將懼誅。因

保守聊城不敢歸齊田單攻聊城歲餘士卒多死而聊城不下魯連爲書約之矢以射城中遺燕將

(保守)固ク城ヲ守ルヲ言フ (約)纏ヒ束メルナリ

其後二十餘年ヲ過キテ燕ノ將齊ノ聊城ヲ攻メ下シタリ聊城ノ人燕ノ將ヲ譏言スル者アリ燕ノ將誅セラレシテ懼レテ因テ堅ク聊城ヲ守リテ敢テ燕ニ歸ラス齊ノ田單聊城ヲ攻ムル一歳餘ニシテ士卒多ク死シタレト聊城敢テ下ラス魯連仍テ書ヲ爲リテ之ヲ矢ニ束子城中ニ射テ燕ノ將ニ遣リタリ

書曰吾聞之智者不倍時而弃利勇士不怯死而滅名忠臣不先身而後君今公行一朝之忿不顧燕王之無臣非忠也殺身亡聊城而威不信於齊非勇也功敗名滅後世無稱焉非智也

(怯死)猶死ヲ避クルト言フカ如シ

(後君)後ニセストハ忘忽シテ君ノ事ヲ以テ意ト爲サトルヲ言フ

魯連カ燕ノ將ニ遣リシ所ノ書ニ曰ク吾之ヲ聞ケリ智謀アル者ハ時ニ背キテ美利ヲ弃テス勇力アル士ハ死ヲ怯レテ美名ヲ滅セス忠臣ハ己レノ身ヲ先キニシテ君ノ事ヲ忘忽セス今公ハ一旦ノ忿恨ヲ行フテ燕王(惠王)ノ臣ナキヲ顧ミサルハ忠ニ非サルナリ(言フハ譏

三者世主不臣說士不載故智者不再計勇士不怯死今死生榮辱貴賤尊卑此時不再至願公詳計而無與俗同

此ノ三ツノ行ヒノ如クンハ世主モ敢テ之ヲ臣トセス說士モ敢テ之ヲ載セサルナリ故ニ智者ハ再ヒ計ラス勇士ハ死ヲ避ケス今死生榮辱貴賤尊卑ノ機方ニ此ノ一時ニ在リ此時再タヒ至ラス願クハ公詳カニ計リテ俗輩ト同フスル勿レ(此レ魯連ノ意燕ノ將ヲシテ燕ニ背テ齊ニ歸セシメント欲スルナリ)

且楚攻齊之南陽魏攻平陸而齊無南面之心以爲亡南陽之害小不如得濟北之利大故定計審處之

且ツ楚ハ齊ノ南陽ヲ攻メ魏ハ齊ノ平陸ヲ攻ム之ヲ懼ラスニ害ヲ以テスルナリ而ルニ齊ハ南ニ向フテ楚魏ヲ拒クノ心ナシ以爲ラク南陽ヲ亡フノ害ハ小ニシテ濟北ヲ得ルノ利

大ナルニ如カスト(濟北ハ即チ聊城ノ地ナリ聊城ノ利大ナレハ必ラス之ヲ攻ムルヲ言フナリ)故ニ公計ヲ定メテ審カニ之ヲ處置セヨ、
 今秦人下兵。魏不敢東面。衡秦之勢成。楚國之形危。齊奔南陽。斷右壤。定濟北。計猶且爲之也。且夫齊之必決於聊城。公勿再計。

(衡秦) 齊ト秦ト連和スルヲ以テ衡秦ト曰フナリ
 西地ナリ

(斷右壤) 斷モ亦棄ツルナリ右壤ハ

今秦人兵ヲ下シ(此時秦齊ト善シ故ニ秦人兵ヲ下シテ齊ヲ救フナリ)魏ハ敢テ東ニ向ヒテ齊ヲ攻メス衡秦ノ勢必ラス成ラハ楚國ノ形必ラス危シ齊楚ノ攻ムル所ノ南陽ヲ奔テ又魏ノ攻ムル所ノ右壤(平陸ヲ謂フ)ヲ棄テ之ヲ救ハス而シテ聊城ヲ攻メテ濟北ヲ存セハ計猶且ツ之ヲ爲サン況ンヤ秦人ノ兵ヲ下スチ恃ム所アルチヤ且ツ夫レ齊必ラス聊城ヲ攻ムルニ決セハ聊城ハ終ニ守リ難シ公此時ニ及ヒテ速ニ計ヲ定メヨ再タヒ計ル勿レ

今楚魏交退於齊。而燕救不至。以全齊之兵。無天下之規。與聊城共據期年之敝。則臣見公之不能得也。

(天下之規) 規ハ謀慮ナリ

(據期年之敝) 據ハ相持スルナリ

先キニ楚ハ南陽ヲ攻メ魏ハ平陸ヲ攻メタリシニ今二國ノ兵俱ニ齊ノ爲メニ退ケラレテ而シテ燕ノ聊城ヲ救フノ兵又至ラス是レ其勢危キナリ全齊ノ兵ヲ以テ秦之ヲ救フテ楚魏退ケハ天下ニ於テ復タ謀慮スル所ナシ齊聊城ト共ニ一ヶ年ノ久シキヲ期シテ互ニ其疲弊スルヲ待タハ則チ臣公ノ志ヲ齊ニ得ル能ハサルヲ見ルナリ、

且燕國大亂。君臣失計。上下迷惑。栗腹以十萬之衆。五折於外。以萬乘之國。被圍於趙。壤削主困。爲天下僂笑。國敝而禍多。民無所歸心。今公又以敝聊之民。距全齊之兵。是墨翟之守也。食人炊骨。士無反外之心。是孫臏之兵也。能見於天下。

(僂笑) 僂ハ辱シメラル、ナリ (距) 拒ト同シ

且ツ燕ハ國大ニ亂レテ君臣皆計ヲ失ヒ(此下燕ノ與ニ爲スニ足ラサルヲ言フ)上下皆迷惑セリ燕ノ將軍栗腹ハ十萬ノ大衆ヲ以テ五タヒ外ニ折ケ(廉頗ノ爲メニ破ラル、ト謂フ)萬乘ノ國ヲ以テ趙ニ取圍マレ土地削ラレ人君困シミテ天下ニ僂笑セラレ、國家疲弊シテ禍甚タ多ク人民皆心ヲ歸スル所ナシ今公又疲弊セル聊城ノ人民ヲ以テ全齊ノ兵ヲ拒キ滿一ヶ年ニシテ怠ラス是レ墨翟カ宋ヲ守リテ楚ノ軍ヲ却クルカ如キナリ(公輪般雲梯ヲ爲クリテ將サニ宋ヲ攻メントス墨子之ヲ聞テ般ヲ見ル帶ヲ以テ城ト爲シ牒ヲ以テ械ト爲

ス般九タヒ機變ヲ設ク墨九タヒ之ヲ拒ク般カ械盡キテ墨カ守リ固ヨリ餘リアリ人ナ食
ヒ骨ヲ炊キテモ士卒外ニ反スルノ心ナシ是レ孫臆カ能ク士卒ヲ撫シテ士卒ニ心ナキカ
如シ孫臆ノ專ハ孫吳列傳ニ見ヘタリ城ヲ守ルハ墨翟ノ如ク士ヲ撫スルハ孫臆ノ如ク公
ノ能ハ既ニ天下ニ見ハレタリ

雖然爲公計者不如全車甲以報於燕車甲全而歸燕燕王必
喜身全而歸於國士民如見父母交游攘臂而議於世功業可
明上輔孤主以制群臣下養百姓以資說士矯國更俗功名可
立也。

(資說士)資ハ給スルナリ一説ニ辯説ノ士ノ談柄ヲ資クルナリト亦通ス

然リト雖凡公ノ爲メニ計ルニ戰車甲卒ヲ全フシテ歸リテ燕ニ報スルニ如カス(此レ燕ノ將
ニ歸ルヲ勸ムルナリ)戰車甲卒ヲ全フシテ燕ニ歸ラハ燕王必ラス之ヲ喜フヘシ公ノ身全
フシテ燕ニ歸ラハ士民公ヲ見ルノ父母ヲ見ルカ如シ公ト交游スル所ノ人ハ皆臂ヲ持リ
テ公ノ功ヲ議論セシ未タ敗レスシテ燕ニ歸ラハ功名猶明カニ全タカルヘシ上ハ孤獨ノ
主ヲ輔佐シテ群臣ヲ制御シ下ハ百姓ヲ撫養シテ說士ヲ資給シ國事ヲ矯正シ弊俗ヲ改更
セハ公ノ功名立ツヘキナリ(此レ魯連ノ意ハ燕ニ背テ齊ニ歸セシメント欲スシカレ凡其
誅ヲ懼レテ必ラス燕ニ歸ラサルヲ見ルヲ以テ且ツ公道ヲ存シ末纒カニ説クニ齊ニ歸ス

ルヲ以テセリ)

亡意亦捐燕弃世東游於齊乎裂地定封富比乎陶衛世々稱
孤與齊久存又一計也此兩計者顯名厚實也願公詳計而審
處一焉。

(陶衛)陶ハ穰侯陶ニ封セララル、チ言フ衛ハ衛鞅商ニ封セララルトチ言フ

若シ又燕ニ歸ルニ意ナクンハ燕ノ國ヲ棄テ世ヲ弃テ東ノ方東ニ游ハンカ(此レ齊ニ歸ス
ルヲ勸ムルナリ)請フ地ヲ裂キ封ヲ定メテ富ミハ穰侯衛鞅ニ比シ世々孤ト稱シテ齊ト久
シク存スル是又一計ナリ此ノ兩計ハ名ヲ顯ハシ實ヲ厚フスルナリ(燕ニ歸ルハ顯名ナリ、
齊ニ降ルハ厚實ナリ)願クハ公詳カニ計リテ審カニ一ニ處置セヨ

且吾聞之規小節者不能成榮名惡小耻者不能立大功昔者
管夷吾射桓公中其鈎篡也遺公子糾不能死怯也束縛桎梏
辱也若此三行者世主不臣而鄉里不通鄉使管子幽囚而不
出身死而不反於齊則亦名不免爲辱人賤行矣臧獲且羞與
之同名矣況世俗乎。

(鈎)帶ヲ約スル者ナリ之ヲヒザガネト云フ (篡)逆フテ取ルヲ篡ト云フ (極)楛(極)ハ足

械ナリ楛ハ手械ナリ之ヲ手カセ足カセト云フ (不通)通ハ行フナリ

(臧獲) 臧ハ奴ノ卑稱ナリ獲ハ婢ノ卑稱ナリ 且ツ吾之ヲ聞ケリ小サキ禮節ヲ謀ル者ハ身ノ榮名ヲ成就スル能ハス小サキ耻辱ヲ惡ム者ハ身ノ大功ヲ建立スル能ハサルナリ昔シ管仲ハ齊ノ桓公ヲ射テ其帶鈎ニ中ツルハ是レ篡逆ナリ公子糾ノ事ヲ打忘レテ死スル能ハザルハ是レ怯懦ナリ身ヲ束縛楛楛セラルハ是レ身ヲ辱メタリ此ノ篡ト怯ト辱トノ三ツノ醜行アレハ世主モ敢テ之ヲ臣トセス郷里ノ人モ敢テ之ヲ行ハス、嚮キニ管仲ヲシテ幽囚シテ外ニ出テス身死シテ齊ニ反ラザラシメハ則チ亦其名ハ辱入賤行タルヲ免カレズ賤役ノ臧獲タモ且ツ之レト名ヲ同フスルヲ羞ツヘシ況ンヤ世俗ノ人ナヤ

故管子不耻身在縲紲之中。而耻天下之不治。不耻不死。公子

糾。而耻威之不信於諸侯。故兼三行之過。而爲五霸首。名高天

下。而燭鄰國。

(縲紲) 縲モ縲モ共ニ罪人ヲ繫クノ繩ヲ言フ解ハ既ニ管晏列傳ニ見ヘタリ

(五霸首) 齊ノ桓公ハ最モ初メテ周ノ襄王カ文武ノ胙ト彤弓矢大楛ヲ賜フヲ得タリ故ニ五霸ノ首ト爲リシナリ

故ニ管仲身ノ縲紲ノ中ニ在ルヲ耻チスシテ天下ノ治マラザルヲ耻チ、公子糾ノ事ニ死セサルヲ耻チスシテ威ノ諸侯ニ伸ヒサルヲ耻ツ故ニ三ツノ行ノ過チヲ辭セスシテ終ニ五霸ノ首ト爲リ其名天下ニ高クシテ光リ鄰國ヲ燭ラシタリ

曹子爲魯將。三戰三北。而亡地五百里。鄉使曹子計不反顧。議不還踵。勿頸而死。則亦名不免爲敗軍禽將矣。曹子棄三北之耻。而退與魯君計。桓公朝天下。會諸侯。曹子以一劔之任。枝桓公之心於壇坫之上。顔色不變。辭氣不悖。三戰之所亡。一朝而復之。天下震動。諸侯驚駭。威加吳越。

(不還踵) 還ハ旋クルナリ踵ハ足跟ナリ往テ反ラサルヲ言フ (朝天下) 天下ノ諸侯ヲ率ヒテ周ノ天子ニ朝スルヲ言フ (枝) 支ト通用ス持スルナリ (壇坫) 壇ハ土ヲ封スル

ナリ國君ノ朝會ニ之ヲ設クルナリ坫ハ兩君ノ好會スルキニ設クル者ニシテ爵ヲ反ヘスノ具ナリ土ヲ以テ之ヲ作りテ兩楹ノ間ニ在リ

曹味ハ魯ノ將軍ト爲リテ三タヒ戰ヒ三タヒ北ケテ四方五百里ノ地ヲ失ヒタリ、嚮キニ曹味ヲシテ三タヒ北クルヲ耻チテ後出ノ計ヲ反顧セス又踵ヲ還ラサスシテ頸ヲ刎ネテ死セシメハ則チ亦其名ハ敗軍禽將タルヲ免カレズ、而ルニ曹味ハ三タヒ北クルノ耻ヲ棄テ

退テ魯ノ君ト計リ桓公カ天下ヲ率ヒテ周ノ天子ニ朝シ諸侯ヲ會スル時ニ曹味一劔ヲ以テ己レノ任ト爲シテ桓公ノ心ヲ壇坫ノ上ニ支持シ顔色動カス語氣亂レヌ三タビ戰ヒテ失ヒシ所ノ五百里ノ地一旦ニシテ之ヲ取歸ヘシタリ此ニ因テ天下大ニ震動シ諸侯大ニ驚駭シテ其威吳越ニマテモ推加ヘタリ

若此二士者非不能成小廉而行小節也。以爲殺身亡軀。絕世滅後。功名不立。非智也。故去感忿之怨。立終身之名。棄忿憎之節。定累世之功。是以業與三王爭流。而名與天壤相弊也。願公擇一而行之。

（小廉）廉ハ潔白ナル行ナリ （小節）節ハ禮節ナリ （殺身亡軀）己レノ身ノ亡フルヲ謂フ

（絕世滅後）子孫ノ亡フルヲ謂フ （忿憎之節）忿モ憎モ共ニ怒ルナリ

（與天壤相弊）弊ハ敝ルナリ天地弊レハ此名モ亦敝ルナリ其久シキヲ言フ 管仲ト曹味トノ二子ノ如キハ小廉ヲ成シ小節ヲ行フ能ハサルニ非ス以爲ラク身ヲ殺シ軀ヲ亡シ世ヲ絶チ後ヲ滅シテ我カ功名ノ立タサルハ智ニ非スト故ニ感忿ノ小怨ヲ去テ終身ノ名ヲ立テ忿憎ノ小節ヲ棄テ累世ノ功ヲ定ム是ヲ以テ業ハ三王ト流ヲ争ヒ名ハ天壤ト相弊スルナリ願クハ公此一ツヲ擇ヒテ之ヲ行ヘト

ハシメ

燕將見魯連書泣三日猶預不能自決。欲歸燕。已有隙。恐誅。欲降齊。所殺虜於齊甚衆。恐已降而後見辱。喟然歎曰。與人刃我。寧自刃。乃自殺。聊城亂。田單遂屠聊城。歸而言魯連欲爵之。魯連逃隱於海上。曰。吾與富貴而誅於人。寧貧賤而輕世肆志焉。

燕ノ將魯連ノ遺レル書ヲ見テ泣ク三日ノ間ナリ猶預シテ自カラ決斷スル能ハス自カラ以爲ラク燕ニ歸ラント欲スレハ既ニ王ト隙アリテ誅セラレシヲ恐ル齊ニ降ラント欲スレハ齊ノ人ヲ殺虜スル所甚タ衆キヲ以テ既ニ降テ後チ辱メラルトチ恐ル仍テ喟然トシテ歎息シテ曰ク人ノ我ニ刃セヨリハ我寧ロ自カラ刃セント仍テ遂ニ自殺ス聊城ノ中大ニ亂レタリ是ニ於テ田單遂ニ聊城ヲ屠リ既ニ歸テ後魯連ヲ齊王ニ言ヒテ之レニ封爵ヲ與ヘント欲ス魯連逃レテ東海ノホトリニ隱レテ曰ク吾富貴ニシテ人ニ屈セシヨリハ寧ロ貧賤ニシテ世ヲ輕シ志ヲ肆マニセント

鄒陽者齊人也。游於梁。與故吳人莊忌夫子。淮陰枚生之徒交。

鄒陽ハ齊ノ人ナリ梁ニ游フ舊ノ吳ノ人莊忌夫子淮陰ノ人枚生ノ徒ト交ヲ結ヒタリ莊忌ハ字ヲ夫子ト云ヒ枚生ハ名ハ乘字ハ叔ト云ヘリ○魯仲連ハ六國ノ時ノ人ニテ鄒陽ハ漢ノ文帝景帝ノ時ノ人ナリ年代甚タ乖絶セリ然レモ其傳ヲ同フスル者ハ或ハ其國同ク或

ハ其事同ク或ハ其趨同フシテ時之ヲ間スルニ足ラサレハナリ下ノ屈賈列傳刺客列傳扁鵲倉公列傳等ノ如キモ皆同シ

上書。而介於羊勝公孫詭之間。勝等嫉鄒陽。惡之。梁孝王。孝王怒下之。吏將欲殺之。

(介) ハサマルナリ羊勝公孫詭二人ノ間ニハサマリテ或ハ彼ニ往キ或ハ此ニ往クヲ言フ
鄒陽嘗テ上書シテ自カラ達シ羊勝公孫詭ノ二人ノ間ニ遊ヒテ或ハ彼レニ往キ或ハ此ニ往ケリ羊勝等鄒陽ヲ嫉ミ之ヲ梁ノ孝王ニ讒言セリ孝王大ニ怒テ鄒陽ヲ吏ノ手ニ渡シ將サニ之ヲ殺サント欲ス

鄒陽客游。以讒見禽。恐死而負累。乃從獄中上書曰。臣聞忠無不報。信不見疑。臣常以爲然。徒虛語耳。昔者荆軻慕燕丹之義。白虹貫日。太子畏之。

鄒陽タマシク梁ニ客游シテ讒言ヲ以テ擒ニセラレ罪アルニ非スシテ死シテ惡累ヲ負ハ
ンコチ恐ル仍テ獄中ヨリ梁ノ孝王ニ上書シテ曰ク臣之ヲ聞ケリ忠ナレハ人主ニ必ラス報ヒラレサルナク信ナレハ人主ニ必ラス疑ハレスト臣常ニ以爲ラク然リト今ニ至リテ之ヲ思フニ徒ニ虚語ノミ昔シ燕ノ太子丹秦ニ質子タリシカ始皇之ヲ遇スル甚々無禮ナ

リ故ヲ以テ太子丹秦ヲ亡ケ去リ燕ニ歸リテ後厚ク荆軻ヲ養ヒ四ノ方秦ニ遣リテ秦王ヲ刺サシム其時精誠天ヲ感シテ白虹之レカ爲メニ日ヲ貫キタリ而ルニ太子丹猶疑フテ之ヲ信セサルナリ

衛先生爲秦畫長平之事。太白蝕昴。而昭王疑之。

(太白蝕昴) 太白ハ天ノ將軍ナリ昴ハ趙ノ分ナリ將サニ兵事アラントスルヲ以テ太白星昴ニ蝕セシナリ蝕ハ干シ歷ルナリ
白起秦ノ爲メニ趙ヲ伐チ長平ノ軍ヲ打破リテ遂ニ趙ヲ滅サント欲ス衛先生ヲ遣リ昭王ニ説テ兵糧ヲ益サシム而ルニ應侯ノ害スル所ト爲リテ事成ラス其精誠天ニ達セシヲ以テ太白之カ爲メニ昴ヲ干シ歷タリ

夫精變天地。而信不驗。兩主豈不哀哉。今臣盡忠竭誠。畢議願知。左右不明。卒從吏訊。爲世所疑。是使荆軻衛先生復起。而燕秦不悟也。願大王孰察之。

(變) 常度亂ルヲ言フ (兩主) 太子丹ト昭王トヲ指ス (左右) 左右ノ不明ヲ言フハ王ヲ斥スヲ欲セサルナリ (吏訊) 訊ハ鞠問ナリ
夫レ精誠天地ノ常度ヲ變シテ其信猶兩主ヲ噓サス豈ニ哀シカラスヤ今臣忠ヲ盡シ誠ヲ

鳩シ計議ヲ盡シテ王ノ之ヲ知ラント願フ左右甚々不明ニシテ終ニ吏ノ鞫問ヲ受ケテ世ノ疑フ所ト爲レリ是レ荆軻衛先生ヲシテ復々起タシメテ燕秦悟ラサルト同シキナリ願クハ大王之ヲ熱察セヨ(此レ鄒陽自カラ荆軻衛先生ノ二人カ疑ハルトニ況フナリ)

昔^レ卞和^ノ獻^ス寶^ヲ。楚^ノ別^レ之^ヲ。李斯^ノ竭^シ忠^ヲ。胡亥^ノ極^ス刑^ヲ。是以^テ箕子^ノ佯^シ狂^ヲ。接輿^ノ辟^シ世^ヲ。恐^ル遭^フ此^ノ患^ヲ也。願^フ大王^ノ孰^シ察^ス卞和^ノ李斯^ノ之^ノ意^ヲ。而^{シテ}後^ニ楚^ノ王^ノ胡亥^ノ之^ノ聽^ヲ。無^ク使^シ臣^ヲ爲^シ箕子^ノ接輿^ノ所^ノ笑^ヲ。

(卞和) 解ハ前ノ蘭相如傳ニ詳カニセリ (李斯) 後ノ李斯傳ヲ參考スヘシ

(後) 猶下ト云フカ如シ其計ノ謬ルヲ以テ之ヲ後ニセシムルナリ
昔シ卞和寶玉ヲ獻シテ楚王ノ之ヲ別キリタリ李斯忠ヲ竭シテ二世ヲ諫メシカ二世胡亥五刑ヲ具ヘテ之ヲ殺シタリ(此ハ忠信ノ恃ムヘカラサルヲ言フナリ)是ヲ以テ昔シ箕子ハ殷ノ賢人ニテ詐リテ發狂人ト爲リ接輿ハ楚ノ賢人ニテ佯狂シテ世ヲ避ケタリ皆此患ニ遭ハンコトヲ恐レハナリ(此レハ幾ヲ知テ人主ニ近ツカサルヲ言フナリ)願クハ大王卞和李斯ノ意ヲ熱察シテ楚王胡亥ノ聽ヲ以テ後ト爲シテ之ヲ用ヒス臣ヲシテ箕子接輿ノ爲メニ笑ハレシムル勿レ(此レハ熱察ヲ爲サ、ルヘカラサルヲ言フナリ)

臣聞^ク比干^ノ剖^レ心^ヲ。子胥^ノ鷓夷^ヲ。臣始^メ不^シ信^ス。乃^チ今^ニ知^ル之^ヲ。願^フ大王^ノ孰^シ察^ス少^シ。

加^ヘ憐^ム焉^ヲ。諺^ニ曰^ク。有^リ白頭^ノ如^ク新^{ナル}。傾^キ蓋^ノ如^ク故^ノ。何^レ則^レ知^ル與^レ不^シ知^ル也^ヲ。

(剖心) 心ハ胸ナリ (鷓夷) 酒器ニテ馬革ヲ以テ之ヲ作ルナリ (傾蓋) 猶蓋ヲ交ヘテ車

ヲ駐ムト云フカ如シ蓋ハ車上ノ蓋ナリ

臣之ヲ聞ケリ昔シ殷ノ忠臣比干ハ紂王ノ爲メニ胸ヲ剖カレ吳ノ賢臣伍子胥ハ夫差ノ爲メニ鷓夷ニ盛リテ江水ニ投セラルト臣始メ之ヲ信セス今日始メテ忠義ヲ盡シテ罪ヲ獲ルコトヲ知レリ(理ノ無キ所ニシテ事ノ有ル所ナリ)此レ梁王カ之ヲ殺サント欲スルヲ以テ此四句ヲ添フルナリ)願クハ大王之ヲ熱察シテ少シク憐ミテ加ヘヨ(已上ハ已レ忠信ヲ以テ獄ニ下ル願クハ王其心ヲ熱察シテ之ヲ死ニ置ク勿レト云フノ意ヲ言フ)諺ニ曰ク初メ相識ルヨリ白頭ニ至ルマテ猶新ナルカ如クニシテ相知ラサルアリ車蓋ヲ傾ケテ相見ルハカリノコトニテモ猶舊識ノ如キアリ何トナレハ心ノ内知ルト知ラサルトナリ新ナルト舊キトニ在ルニ非サルナリ

故^ニ昔^シ樊於期^ノ逃^レ秦^ニ之^ノ燕^ニ。藉^シ荆軻^ノ首^ヲ以^テ奉^ス丹^ノ之^ノ事^ヲ。

(藉) 假スナリ (奉) 猶供給ト云フカ如シ

故ニ昔シ樊於期ハ秦ノ將ト爲リ讒言ヲ被フリテ亡ケテ燕ニ往キ荆軻ニ首ヲ假シテ太子丹ノ事ニ奉シタリ○荆軻於期ニ謂テ曰ク願クハ將軍ノ首ヲ得テ秦ニ獻セハ秦王必ラス喜ンテ臣ヲ見ン仍テ之ヲ刺サント其詳カナルハ刺客列傳ニ見ヘタリ

王奢去齊之魏。臨城自到。以却齊而存魏。

王者ハ齊ノ臣ナリ。亡ケテ魏ニ至ル。其後齊魏ヲ伐ツ。王奢城ニ登リテ齊ノ將ニ謂テ曰ク。今君ノ來ル奢ヲ以テノ故ニ過キサルナリ。夫レ義苟クモ生キテ魏ノ累ト爲サスト遂ニ自到シタリ。

夫王奢樊於期。非新於齊秦。而故於燕魏也。所以去二國。死兩君者。行合於志。而慕義無窮也。是以蘇秦不信於天下。而爲燕尾生。白圭戰亡六城。爲魏取中山。何則誠有以相知也。

(爲燕尾生) 蘇秦ハ燕ニ於テハ獨リ信ヲ守ル。尾生ノ如キヲ以テ燕ノ尾生ト云フナリ。尾生ハ信ヲ守リテ死スル者ナリ。詳カニ蘇秦傳ニ見ヘタリ。王奢ト樊於期ハ齊ト秦トニ新ニシテ燕ト魏トニ舊キカ故ニ非サルナリ。而ルニ二國ヲ去テ兩君ニ死スル所以ハ其行ヒ志ニ相合フテ義ヲ慕フ。窮マリナケレハナリ。隱々トシテ己レカ吳ヲ去テ梁ニ遊フハ梁王ヲ知テ其義ヲ慕フカ故ナルニ喻フルナリ。是ヲ以テ蘇秦ハ天下ニ信セラレシテ燕ノ尾生ト爲リタリ。白圭ハ中山ノ將ト爲リテ六城ヲ亡フ。中山ノ君怒リテ之ヲ殺サント欲ス。白圭亡ケテ魏ニ入ル。魏ノ文侯手厚ク之ヲ遇シ。還テ魏ノ爲ニ攻メテ中山ヲ拔取レリ。何トナレハ誠ニ魏ト燕トノ主ニ相知ラル。以テノ故ニ彼ニ薄クシテ此ニ厚キナリ。燕魏ノ主ト相知ルヲ以テノ故ニ彼ニ薄クシテ此ニ厚シ。隱々トシ

蘇秦相燕。燕人惡之於王。王按劍而怒。食以馱驪。白圭顯於中山。中山人惡之。魏文侯。文侯投之以夜光之璧。何則兩主二臣。剖心析肝。相信。豈移於浮辭哉。

テ已レカ吳ニ功ナクシテ梁ニ入ルハ必ラス梁ニ報スル所以ノ處アルニ喻フナリ。馱驪(馱驪) 馱馬ナリ。生レテ七日ノ後走ル。其母ニ超ユト云フ。(投之) 投ハ之ニ賜フナ言フ。析肝) 析ハ分ツナリ。同一ノ心肝ヲ分チテ各之レアリ。猶符ヲ剖キ圭ヲ析クカ如シ。亦其同シキヲ言フ。

蘇秦燕ニ相タリ。燕人之ヲ王ニ讒言スル者アリ。王蘇秦ヲ敬重スルヲ以テ劍把ヲ握リテ讒言スル者ヲ怒リ更ニ之ニ食ハシムルニ馱驪ノ珍味ヲ以テセリ。白圭ハ中山ヲ拔クノ功ヲ以テ顯ハレタリ。中山ノ人之ヲ魏ノ文侯ニ讒言スル者アリ。文侯白圭ヲ敬重スルヲ以テ讒言スル者ヲ怒リテ更ニ之ニ賜フニ夜光ノ璧ヲ以テシタリ。蘇秦白圭ト相知ルヲ以テノ故ニ謗ニ因テ益々厚シ。隱々トシテ王ハ羊勝公孫詭ノ讒ヲ聞テ當サニ已レナリ。待テ反テ厚フスヘキニ喻フルナリ。何トナレハ此ノ兩主二臣ハ心ヲ剖キ肝ヲ析テ相信スルナリ。豈ニ浮辭ノ讒言ノ爲メニ移サレンヤ(語有) ヨリ以下ハ皆反覆シテ知ルト知ラサルトノ意ヲ申明シテ王ノ已レナリヲ知ラント諷スルナリ。〇已上ハ古人カ舊主ノ知ラサルヲ以テ舊國ヲ去リ新主ノ知ルヲ以テ新國ニ入ル。既ニ新國ニ入テ必ラス報効ヲ圖ル。其主之ヲ謗ル者ア

リト雖厄之ヲ過スル益々厚キヲ言フテ方ニ相知ルノ深キヲ算シ得ルナリ
故女無美惡入宮見妬士無賢不肖入朝見嫉

(妬)色ヲ害スルヲ妬ト曰フ (嫉)賢ヲ害スルヲ嫉ト曰フ
故ニ女ハ美ト惡トノ差別ナク後宮ニ入レハ必ラス其色ヲ妬マル士ハ賢ト不肖トノ差別
ナク朝廷ニ入レハ必ラス其能ヲ嫉マルトナリ

昔者司馬喜贛脚於宋宰相中山范睢摺脅折齒於魏卒爲應
侯此二人者皆信必然之畫捐朋黨之私挾孤獨之位故不能
自免於嫉妬之人也

(贛脚)贛ハ足ノ脛骨ナリ贛脚トハ足ヲ斷タルトナ言フ
(司馬喜)事ハ戰國策及ヒ呂氏春秋ニ見ヘタリ (范睢)事ハ范睢傳ニ詳ラカナリ
司馬喜ハ六國ノ時ノ人ナリ宋ニ於テ贛脚セラレシカ卒ニ中山ニ相タリ范睢ハ魏ニ於テ
脅肋ヲ摺カレ齒ヲ折カレシカ卒ニ秦ニ至リテ應侯ト爲リタリ(此レハ嫉妬セラルト者ハ
嘗テ用フルナクンハアラサルナ言フナリ)此ノ二人ハ皆自カラ必然ノ謀計ヲ信シ明黨ノ
私心ヲ棄テ孤獨ノ位ヲ挾ムヲ以テ自カラ禍ヲ嫉妬ノ人ニ免カル能ハサルナリ(此レハ才
アルヲ以テ阿附セサルハ人ニ嫉妬セラルト所以ナルヲ言フナリ)

是以申徒狄自沈於河徐衍負石入海不容於世義不苟取比
周於朝以移主上之心

(比周)比ハ近ツクナリ周ハ密ナリ猶阿諛ト云フカ如シ
申徒狄ハ六國ノ時ノ人ナリ諫メテ用ヒラレス石ヲ負フテ自カラ河ニ投シタリ徐衍ハ周
ノ末世ノ人ナリ亦石ヲ負フテ自カラ海ニ入りタリ此ノ二人ハ世ニ容レ用ヒラレスト雖
弗義ヲ守リテ終ニ荷クモ朝廷ノ人ト比周シテ人主ノ心ニ投合セサルナリ(此レハ正人ハ
寧口死ストモ肯テ私交シテ其君ノ寵ヲ取ラサルヲ言フナリ)

故百里奚乞食於路繆公委之以政甯戚飯牛車下而桓公任
之以國此二人者豈借宦於朝假譽於左右然後二主用之哉
感於心合於行親於膠漆昆弟不能離豈惑於衆口哉

(親於膠漆)膠ト漆トノ二物ハ皆物ヲ固ムル所以ナリ故ニ君臣相得ルヲ密ナルヲ謂テ
膠漆ヨリモ堅シト云フ (昆弟)昆ハ兄ナリ
百里奚ハ食物ヲ路上ニ乞ヒタリシカ秦ノ繆公其賢ナルヲ知テ之ニ委スルニ國政ヲ以テ
シタリ甯戚ハ人ノ爲メニ牛ヲ飯ヒ牛角ヲ扣テ歌ヒタリシカ齊ノ桓公客ヲ郊迎スルニ過
ヒ其歌聲ノ善キヲ聞テ後車ニ命シテ之ヲ載セ戚ヲ封シテ相ト爲セリ此ノ二人ハ豈ニ素

ヨリ朝廷ニ仕官シ左右ノ人ニ譽メラレテ然シテ後ニ二主之ヲ用フルナラシヤ皆其心ニ感シ行ニ合フテ膠漆ヨリモ親シク兄弟モ之ヲ離ラス能ハサルナリ豈ニ衆人ノ口ニ惑ハシヤ(此レハ明主ノ人ヲ用フル亦私交ノ口ヲ借ラサルヲ言フナリ)○已上ハ言フハ嫉妬ハ人情ノ常ニシテ有才ノ士ハ多ク嫉妬ヲ免レス亦私交ヲ以テ人ヲ用ヒサルナリト隱々トシテ已レカ荀毛羊勝公孫詭ノ意ニ附カサルニ喻フルナリ

故偏聽生姦。獨任成亂。昔者魯聽季孫之說而逐孔子。宋信子罕之計而囚墨翟。夫以孔墨之辯不能自免於讒諛。而二國以危。何則衆口鑠金。積毀銷骨也。

(偏聽)專ラ一人ノ言ヲ是トシテ之ヲ聽クナリ (獨任)衆謀ヲ審カニセスシテ獨リ之ニ任スルナリ

(讒諛)好ミテ人ノ惡ヲ言フヲ讒ト云フ不善ヲ以テ人ニ和スルヲ諛ト云フナリ

(衆口鑠金)鑠ハ消スナリ或ル所ニ美金アリ衆人相共ニ詆訛シテ其純金ナラサルヲ言フ賣ル者其必ラス售ラレンコト欲シテ同シク鍛燒ヲ取テ其眞ヲ見ル之ヲ衆口金ヲ鑠スト爲スナリ (積毀銷骨)讒言スル人カ久シキヲ積ミテ譖毀スレハ父兄自カラ相誅戮シテ骨肉之レカ爲メニ消滅スルナリ

故ニ一方ノ言ヲ是トシテ之ヲ聽ケハ姦惡ノ事ヲ生シ衆謀ヲ審カニセスシテ獨リ之ニ任

スレハ亂暴ノ事ヲ起スナリ昔シ魯ハ季孫ノ說ヲ聽キ齊人ノ歸クリシ女樂ヲ受ケテ孔子魯ヲ去レリ宋ハ子罕ノ計ヲ信シテ墨翟ヲ囚ヘタリ(子罕ハ司城子罕ニテ宋ノ賢臣ナリ然レハ墨翟ヲ囚フノ一事未タ出ル所ヲ知ラス)夫レ孔墨ノ辯ヲ以テタモ自カラ讒諛ヲ免ル能ハスシテ魯宋二國殆ント危シ何トナレハ衆口金ヲ鑠シ積毀骨ヲ銷スレハナリ(此レハ偏聽獨任ノ弊ヲ言フナリ)

是以秦用戎人由余而霸中國。齊用越人蒙而彊威宣。此二國豈拘於俗。牽於世。繫阿偏之辭哉。公聽竝觀。垂名當世。故意合則胡越爲昆弟。由余越人蒙是矣。不合則骨肉出逐不收。朱象管蔡是矣。

(越人蒙)蒙ハ漢書ニ子臧ニ作ル

(拘於俗牽於世)世俗ノ夷狄ヲ賤ムノ見ニ拘ハリ牽カル、ヲ言フナリ (阿偏)阿諛偏

黨ナリ (公聽竝觀)公ニ聽クハ私ナキナリ並ヒ觀ルハ偏ナキナリ (垂名)垂ハ遺ス

ナリ

(朱象管蔡)朱ハ堯ノ子丹朱ナリ象ハ舜ノ弟ナリ管叔蔡叔ハ周公旦ノ弟ナリ象ハ舜ヲ殺サント欲スルノ暴アリ管叔蔡叔ハ周公旦カ成王ノ天下ヲ奪ハントスト云フ流言ノ惡ア

リ丹朱ヲ以テ仇敵ト爲スハ未タ其出ル所ヲ聞カサルナリ
是ヲ以テ秦ハ戎人ノ由余トイヘル人ヲ用ヒテ穆公中國ノ旗頭ト爲リタリ、齊ハ越人ノ蒙
トイヘル人ヲ用ヒテ威王宣王ノ二代續ヒテ強盛ナリ、此ノ秦ト齊トノ二國ノ君ハ豈ニ俗
ニ拘ハリ世ニ牽カレ阿諛偏黨ノ辭ニ繫ランヤ公ニ聽キ並ヒ觀テ此ノ兩人ヲ用ヒタルヲ
以テ名ヲ當世ニ垂レ遺シタリ、(此レハ公聽並觀ノ効ヲ言フナリ)故ニ其意相合ヘハ相隔ツ
ルコト胡越ノ如キモ兄弟タリ、由余越人蒙ノ如キ是レナリ意相合ハサレハ骨肉モ出シ逐フ
テ收メス朱象管蔡ノ如キ是レナリ、(此レハ臣ト主トノ意契合スルト否ラサルトハ原親疏
遠近ヲ論セサルヲ言フナリ)

今人主誠能用齊秦之義。後宋魯之聽。則五伯不足稱。三王易爲也。

今人主誠ニ能ク齊ト秦トノ義ヲ用ヒテ宋ト魯トノ聽ヲ後ニセハ五伯モ稱スルニ足ラス
三王モ爲シ易キナリ、(齊トハ越人蒙ヲ用フルヲ言フ秦トハ戎人由余ヲ用フルヲ言フ宋ト
ハ子罕ノ計ヲ信スルヲ言フ魯トハ季孫ノ說ヲ聽クヲ言フナリ)○已上ハ人ヲ用フルハ偏
聽獨任スヘカラス當ニ公聽並觀スヘキヲ言フテ其我ト意氣投合シテ親疏遠近ニ在ラサ
ルヲ論スルナリト

是以聖王覺寤。捐子之之心。而能不說於田常之賢。

(覺寤)サトリサトルナリ

(捐)取ラサルヲ言フ

(說)悦ト同シ

故ニ聖王タル者ハ覺悟シテ子之ノ心ヲ棄テ、能ク田常ノ賢ナルヲ悦ハサルナリ、子之ハ
燕ノ相ナリ、燕王噲其相子之ヲ賢ナリトシテ國ヲ讓ラント欲ス國大ニ亂レタリ田常ハ陳
恒ナリ齊ノ簡公甚々之ヲ悦フ而レ臣簡公ヲ殺シタリ今人君ヲシテ此心ヲ去ラシメハ國
家必ラス安全ナリ

封比干之後。修孕婦之墓。故功業復就於天下。何則欲善無厭也。

後トハ子孫ヲ謂フナリ、比干ノ後ヲ封スルハ古書ニ其文見ヘス尙書ニハ比干ノ墓ヲ封ス
ルニ作ル蓋シ此ヲ謂フナリ比干ハ殷ノ忠臣ニシテ諫メテ以テ誅セラレタリ故ニ其墓ヲ
封スルナリ紂王又妊者ヲ刳テ其胎産ヲ觀タリ、故ニ其墓ヲ修ムルナリ此レ又尙書ニハ唯
孕婦ヲ刳別スルニ作レリ、(此レハ皆武王ト疏遠ニシテ渉ル者ナキヲ言フナリ)故ニ功業復
々天下ニ成就セリ、何トナレハ善ヲ欲シテ厭クナケレハナリ、(此レハ善アレハ必ラス形迹
ニ拘ハラサルヲ言フナリ)

夫晋文公親其讎。彊霸諸侯。齊桓公用其仇。而一匡天下。何則
慈仁慤勤。誠加於心。不可以虛辭借也。

(慈仁) イツクシミナサケ深キナリ (慇懃) 用ナルヲ言フ
 晋ノ文公ハ其驪ヲ親ミテ諸侯ノ旗頭タリ(寺人勃鞞) 晋ノ獻公ノ爲メニ文公ヲ伐チテ其祛
 ナ斬ル文公位ニ即クニ及ヒテ寺人勃鞞文公ニ見ユルヲ求ム文公其言ヲ用ヒテ呂卻ノ難
 ナ免レ遂ニ諸侯ノ旗頭ト爲レリ(齊ノ桓公) ハ其仇ヲ用ヒテ天下ヲ一匡セリ(管仲) 嘗テ桓公
 ナ射テ其帶鉤ニ中テタリ而ルニ桓公之ヲ用ヒテ遂ニ諸侯ヲ九合シ天下ヲ一匡セリ(何ト
 ナレハ慈仁) 殷勤誠ニ心ニ加ヘテ實心ニテ人ヲ待テハナリ(虛辭) ナ以テ假借スルニ出ルニ
 非サルナリ

至夫秦用商鞅之法。東弱韓魏。兵彊天下。而卒車裂之。越用大夫種之謀。禽勁吳。霸中國。而卒誅其身。

秦ハ商鞅ノ法ヲ用ヒテ東ノ方韓魏二國ヲ弱メ兵天下ノ中ニテモ尤モ強キニ至リシカ秦
 王終ニ之ヲ車裂シタリ(商鞅) ノ事ハ商君列傳ニ詳ナリ(越) 大夫種ノ謀ヲ用ヒテ吳王ヲ擒ニ
 シ中國ニ旗頭タルニ至リシカ越王終ニ其身ヲ誅シタリ(越) 王句踐國政ヲ擧ケテ大夫種ニ
 屬ス吳ヲ平ラクルニ及ヒテ諸侯畢ク賀シテ霸王ト稱ス或人大夫種カ亂ヲ作スト講ス越
 王大夫種ニ劍ヲ賜フテ自殺セシム(此レハ始メハ之ヲ用ヒテ終リハ之ヲ害スルヲ言フナ
 リ)

是以孫叔敖三去相而不悔。

孫叔敖ハ楚ノ處士ナリ(虞丘) 相之ヲ進ム三月ニシテ楚ニ相タリ三タヒ相ト爲リテ喜ハス
 其材自カラ之ヲ得ルヲ知レハナリ三タヒ相ト去テ悔ヒス其己レノ罪ニ非サルヲ知レハ
 ナリ

於陵子仲辭三公爲人灌園。

於陵ノ子仲賢ナリ(楚) 王相ト爲サント欲ス人ヲシテ往テ之ヲ聘セシム子仲使者ヲ出シテ
 其妻ト逃レ人ノ爲メニ園ニ灌キテ農夫ノ事ヲ爲シタリ(此レハ士ハ爲メニ用ヒラルトナ
 樂マサル所以ヲ言フナリ)

今人主誠能去驕傲之心。懷可報之意。披心腹。見情素。墮肝膽。施德厚。終與之窮達。無愛於士。則桀之狗可使吠堯。而蹠之客可使刺由。況因萬乘之權。假聖王之資乎。

(驕傲之心) 驕モ傲モ共ニ僭リ高フルナリ (披心腹) 見情素(墮肝膽) 披ハ開クナリ素
 ハ襟ト通ス誠ナリ墮ハ毀ツナリ (與之窮達) 窮ハ困窮ナリ達ハ通顯ナリ之レト窮達
 ストハ共ニ困窮シ共ニ顯達スルヲ謂フ

今人主誠ニ能ク驕傲ノ心ヲ去リテ士ニ功ノ報スヘキ者アラハ必ラス之ヲ報センコト思
 ヒテ善ヲ欲シテ厭クナク己レノ心腹ヲ開キ情素ヲ見ハシ肝膽ヲ毀リ恩德ヲ施シ終ニ其

士ト困窮顯達ヲ共ニシテ士ノ求ムル所ニ於テ吝惜スル所ナク人ヲ用フルニ始終アレハ
榮王ノ狗ハ帝堯ヲ吠ヘシムヘク盜賊ノ客ハ許由ヲ刺サシムヘクシテ使ハレサルナシ況
ンヤ万乗ノ權ニ因テ聖王ノ資ヲ假ルヲヤ(此レ勢陌ニ非スシテ德榮ニ非サレハ士必ラス
用テ爲シテ王ニ報スルアルヲ言フナリ)

然則荆軻之湛七族。要離之燒妻子。豈足道哉。

(湛七族)湛ハ没スルナリ七族ハ上曾祖ヨリ下曾孫ニ至ルナリ即チ曾祖、祖父、父、己、子、孫、曾

孫ナリ

荆軻秦王ヲ刺サントシテ成ラスシテ死ス七族之ニ坐シテ沈没スルナリ吳王闔閭王子慶
忌ヲ殺サント欲ス要離曰ク王誠ニ臣ヲ助ケハ臣請フ必ラス王子慶忌ヲ殺サント吳王曰
ク諾ト明且ニ罪ヲ加ヘ其妻子ヲ執ヘテ燔テ其灰ヲ揚ク要離走リテ慶忌ヲ見テ劍ヲ以テ
之ヲ刺殺シタリ故ニ人主能ク實心ニ士ヲ待テハ士ヲシテ皆荆軻及ヒ要離ノ如クナラシ
ムヘシ豈ニ奇トスルニ足ランヤ〇已上ハ能ク人ヲ用フル所以ノ法ヲ言ヒ梁王ノ貴盛ニ
シテ能ク士ヲ得ルニ因テ之ニ及フヲ言フナリ

臣聞明月之珠。夜光之璧。以闇投人於道路。人無不按劍相眄者。何則無因而至前也。

(按劍相眄)眄ハ怒リ視ルナリ劍ノツカニ手ヲカケテニラミツクルナリ

臣之ヲ聞ケリ、明月ノ珠、夜光ノ璧、暗夜ニ乘シテ之ヲ道路ノ中ニ投スレハ人皆驚テ手ヲ劍
把ニカケテ怒リ視サル者ナシ何トナレハ則チ因縁ナクシテ已レノ前ニ至レハナリ

蟠木根柢。輪囷離詭。而爲萬乘器者。何則以左右先爲之容也。故無因至前。雖出隋侯之珠。夜光之璧。猶結怨而不見德。故有人先談。則以枯木朽株樹功而不忘。

(蟠木)蟠結スルノ木ナリ (根柢)柢モ亦根ナリ根柢ハ下本ナリ (輪囷離詭)委曲盤

戾ナル貌ナリ (萬乘器)天子ノ車輿ノ屬ヲ言フ (爲之容)預メ之レカ爲メニ言フチ

先容ト云フ (先談)或人曰ク司馬遷ノ父ノ名ハ談ナルチ以テ史記ノ中談ノ字ヲ避ク此

ノ處ノ談ノ字ハ恐ラクハ誤レリ當サニ先容ニ作ルヘシト
蟠木ヤ根柢ノ輪囷離詭タル珍木カ天子ノ用ト爲リテ車輿ニ作ラルト者ハ左右ノ人先ツ
預メ之レカ爲メニ言フチ以テナリ故ニ因縁ナクシテ前ニ至レハ隋侯ノ珠、夜光ノ璧ト雖
モ猶怨ミテ結テ德セラレサルカ如シ若シ人アリテ先ツ之ヲ談スレハ枯木朽株ノ如キ者
ニテモ猶功ヲ立テ、忘レラレサルナリ(此レハ物ノ貴賤ハ論セサル所ニ在ルチ言フナリ)

今夫天下布衣窮居之士。身在貧賤。雖包堯舜之術。挾伊管之

辯懷龍逢比干之意。欲盡忠當世之君。而素無根柢之容。雖竭精思。欲開忠信。輔人主之治。則人主必有按劍相眄之跡。是使布衣不得爲枯木朽株之資也。

(布衣窮居之士。藁織リノ衣服ヲ着スル微賤貧窮スル士ナリ)

今天下ノ布衣窮居ノ士其身貧賤ニシテ堯舜ノ仁道ヲ蒙フリ伊尹管仲ノ能辯ヲ挾ミ龍逢比干ノ忠意ヲ懷キテ忠ヲ當世ノ君ニ盡サント欲スト雖凡素ト根柢ノ容ナケレハ精思ヲ盡シテ忠信ヲ陳説シ人主ノ政治ヲ輔佐セント欲スト雖凡人主必ラス劍ヲ按シテ怒視スルノ事アラントス是レ布衣ノ士ヲシテ枯木朽株ノ資タルヲ得サラシムルナリ(此レハ士タル者ノ用ヒラルトト用ラレサルトハ全ク人主ノ左右ノ口ニ在テ古今同病ナルヲ云フナリ)

是以聖王制世御俗。獨化於陶鈞之上。而不牽於卑亂之語。不奪於衆多之口。

(化於陶鈞之上)化トハ自然ニ任シテ事ヲ宰スルナリ陶家ニテハ模下員轉ナル者ヲ名ケテ鈞ト爲ス其能ク器ヲ制スルヲ万殊ナルヲ以テ造化ノ運轉裁成スルニ比スルナリ(不奪於衆多之口)奪ハレストハ善道ヲ行ハント欲シテ佞人ノ爲メニ其計ヲ奪ハレサ

ルヲ言フナリ

是ヲ以テ聖王ノ世ヲ制シ俗ヲ御スル獨リ陶鈞ノ上ニ化シテ深謀善計アレハ即チ之ヲ行フ敢テ卑亂ノ辭ノ爲メニ牽制セラレス衆多ノ口ニ其計ヲ奪ハレサルナリ

故秦皇帝任中庶子蒙嘉之言。以信荆軻之說。而匕首竊發。

(匕首)其頭ヒニ類スルヲ以テ匕首ト曰フ短フシテ用ニ便スルナリ

荆軻既ニ秦ニ至ル千金ノ資幣ヲ持シテ厚ク秦王ノ寵臣庶子蒙嘉ニ遺ル蒙嘉爲メニ先ツ秦王ニ言テ曰ク燕願クハ國ヲ舉テ内臣ト爲リ郡縣ノ如クセント又燕ノ督亢ノ地圖ヲ獻ス秦王信シテ之ヲ見ル圖窮マリテ匕首見ハレタリ(此レハ左右ヲ信スルノ禍ヲ言フナリ)

周文王獵涇渭。載呂尚而歸。以王天下。

西伯文王出テ涇渭ノ上リニ獵ス呂尚カ茅ノ上ニ坐シテ漁スルヲ見テ之ヲ載セ歸リ立テ太師ト爲シテ遂ニ天下ニ王タリ(此レハ左右ニ拘ハラサルヲ言フナリ)

故秦信左右而殺周用鳥集而王。何則以其能越攀拘之語。馳域外之議。獨觀於昭曠之道也。

(周用鳥集而王)太公望道途ニテ粹カニ遇フテ共ニ王功ヲ成ス恰カモ鳥鳥ノ暴カニ集マルカ如キナリ呂尚ノ周ニ往クハ舊故ノ人ニ因ルニ非ス又左右ノ人ニ因ルニ非ス鳥ノ

集マルカ如キヲ謂フナリ (擥拘之語) 擥ハ牽繫シテ絶タサルノ名ナリ擥拘トハ猶拘泥ト云フカ如シ (域外之語) 域ハ局ナリ域外ハ猶尋常法度ノ外ト言フカ如シ (昭曠之道) 昭ハ明ナリ曠ハ空ナリ昭曠ハ無私無偏ノ道ヲ言フナリ 故ニ秦ノ始皇帝ハ左右ノ人ノ言ヲシテ殆ント殺サレントシ周ハ烏集ノ人ヲ以テ遂ニ天下ニ王タリ何トナレハ其能ク擥拘ノ語ヲ越ヘ域外ノ議ヲ馳セテ獨リ昭曠ノ道ニ觀ルヲ以テナリ

今人主沉於詔諛之辭。牽於帷裳之制。使不羈之士。與牛驥同皁。

(帷裳之制) 漢書ニハ裳ヲ墻ニ作ル帷墻ノ制ニ牽カルトハ左右便辟ノ帷裳ニ侍スル臣妾ニ牽制セラルトナ言フ帷ハ妾ノ止マル所ナリ墻ハ臣ノ居ル所ナリ (不羈之士) 不羈ハ馬ヲ以テ喻フ馬ノ駿足ニシテ羈絆スヘカラサルヲ以テ才識高遠ニシテ羈係スヘカラサルニ喻フルナリ (皁) 擥ナリ擥ハ牛馬ノ食スル器ナリ 今人主タル者ハ多クハ佞人詔諛ノ辭ニ沉溺シ左右帷裳ノ制ニ牽制セラレ不羈ノ士ヲシテ牛驥ト共ニ擥ヲ同フセシムルナリ

此鮑焦所以忿於世。而不留富貴之樂也。

此レ鮑焦カ世上ノ事ニ忿リテ懷キテ富貴ノ樂ミヲ願ミサル所以ナリ鮑焦世ノ已レテ用

ヒサルヲ怨ミ蔬ヲ道ニ探ル子貢難シテ曰ク其世ヲ非トシ其蔬ヲ探ル此レ焦ノ有ナランヤト鮑焦遂ニ其蔬ヲ棄テ立テ洛水ノ上ニ枯死シタリ○已上ハ士タル者ノ進退ハ盡ク左右ニ由リテ聖王カ人ヲ用フルノ道ニ非サルヲ言フ隱々トシテ梁王ノ人ヲ用フル羊勝公孫詭ノ言ヲ聽信スヘカラサルヲ言フナリ

臣聞盛飾入朝者。不以利汙義。砥厲名號者。不以欲傷行。

(砥厲名號) 厲ハ砥ト同シ砥厲ハ自カラ廉隅ヲ修メテ石ニ磨礪スルカ如ク名ヲ修メテ天下ニ立タント欲スル者ヲ言フナリ 臣之ヲ聞ケリ朝衣朝冠ヲ着ケ儀容儼然トシテ朝廷ニ入ル者ハ利ノ爲メニ已レノ義ヲ汚サス廉隅ヲ砥厲シテ名號ヲ天下ニ立テント欲スル者ハ欲ノ爲メニ已レノ行ヲ傷ラス

故縣名勝母。而曾子不入。邑號朝歌。而墨子廻車。

昔シ曾子暮ニ一縣ニ宿セントシテ其名ヲ問フニ勝母ト云フ曾子宿セスシテ去レリ勝母ハ母ニ勝ツト云フ字ナレハ其名ノ甚タ順ナラサルカ爲メニ之ヲ諱マレタリ墨子一邑ヲ過キテ其名ヲ問フニ朝歌ト云フ墨子車ヲ廻ヘシテ其邑ニ入ラス朝歌ハ朝タニ歌フト云フ字ナレハ其時ナラサルヲ惡メルナリ(此レハ正人ハ必ラス宜シク絲毫モ苟合スルアルヘカラサルヲ言フナリ)

今欲使天下寥廓之士。攝於威重之權。主於位勢之貴。故回面

汗行。以事諂諛之人。而求親近於左右。則士伏死堀穴巖々之中。耳安肯有盡忠信而趨闕下者哉。書奏梁孝王。孝王使人出之。卒爲上客。

(寥廓之士)寥廓ハ遠大ノ度アルナリ (攝攝伏ナリ志氣ヲ失フヲ言フ (主)之ヲ主ト

爲シ左右惟々欲スルマヽナルヲ言フナリ (回面)回ハ邪ト訓ス色ヲ令クスルヲ謂フ一

說ニ回首ハ猶首ヲ屈スト云フカ如シト (伏死堀穴巖々之中)堀ハ窟ト同シ言フハ

必ラス士ヲシテ諂諛ノ人ニ事ヘシメハ寧ロ老死ストモ肯ンセサルナリ (趨闕下)趨

ハ赴クナリ闕ハ門觀ナリ即チミツケヲ言フ

今天下ノ度量遠大ナル士ヲシテ威重ノ權ニ攝伏シ位勢ノ貴キニ主トシテロザク面ヲ

回クシ行チ汚シ諂諛ノ人ニ事ヘテ左右ニ親ミ近ツケラヽルヲ求メシメント欲セハ士タ

ル者ハ寧ロ窟穴巖々ノ中ニ伏死ストモ肯ンセサルナリ安クンソ肯テ忠信ヲ盡シテ王ノ

闕下ニ赴ク者アランヤト(已上ハ士タル者ハ各々眞品アリ必ラス左右ニ附シテ進マシメ

ハ寧ロ老死ストモ肯ンセサルヲ言フ隱々トシテ梁王ハ當サニ已レヲシテ羊勝公孫詭ニ

親ミ媚ヒテ以テ容レラルヽヲ求ムヘカラサルニ喩フルナリ)鄒陽ノ書孝王ニ奏上ス孝王

人ヲシテ之ヲ獄中ヨリ出サシメテ是ヨリ終ニ上客ト爲シタリ

太史公曰。魯連其指意雖不合大義。然余多其在布衣之位。蕩

然肆志不詘於諸侯。談說於當世。折卿相之權。鄒陽辭雖不遜。然其比物連類。有足悲者。亦可謂抗直不撓矣。吾是以附之列傳焉。

(指意)指ハ旨ト通ス意向ナリ

(蕩然)大ナル貌ナリ (詘)屈ト通ス (不遜)倨リ高フリテ少シモヘリ下ル所ナキヲ云フ

(抗直)抗ハ正直ナリ

魯連ハ其說ク所ノ旨意大義ニハ相合セスト雖モ然レモ余其布衣ノ位ニ在テ蕩然トシテ已レノ志ヲ肆ニシテ敢テ諸侯ニ屈セス談說ヲ以テ當世ニ立チテ卿相ノ權ヲ折ケルヲ賢ナリトスルナリ鄒陽カ梁ノ孝王ニ奏上セシ所ノ書ハ其辭甚々倨傲不遜ナリト雖モ然レモ其物ヲ比ヘ類ヲ連ヌルヲ視ルニ誠ニ悲ムニ足ルモノアルナリ亦之ヲ抗直ニシテ撓マサル者ト謂フヘシ吾是ヲ以テ之ヲ列傳ニ附スト云フ

屈原賈生列傳第二十四

屈原者。名平。楚之同姓也。爲楚懷王左徒。

(楚之同姓)楚ノ屈氏景氏昭氏ノ三氏ハ皆楚王ノ同族ナルヲ以テ楚ノ同姓ト言フナリ

(左徒)正義ニ曰ク左徒ハ蓋シ今ノ左右ニ在テ拾遺スルノ類ナリ
 屈原ハ名ハ平ト云フ楚ト同姓ナリ楚ノ懷王ニ仕ヘテ左徒ノ官ト爲レリ
 博聞彊志明於治亂嫻於辭令入則與王圖議國事以出號令
 出則接遇賓客應對諸侯王甚任之

(彊志)志ハ識ト通用ス強識ハ覺ヘノ善キヲ謂フ (嫻於辭令)嫻ハ習フナリ辭令ハ文章辭命ナリ

屈原ハ博ク事ヲ聞覺ヘ記臆甚々強クシテ(即チ學問)世ノ治亂ノ理ニ明ラカニ(即チ經濟)辭令ノ事ニ嫻ヘリ(即チ文章)丙ニ入テバ王ト國事ヲ謀議シテ號令ヲ國中ニ出シ外ニ出テハ能ク賓客ニ接遇シ諸侯ニ應對セリ故ニ楚王甚々之ニ任用シタリ

上官大夫與之同列爭寵而心害其能懷王使屈原造爲憲令
 屈平屬草藁未定上官大夫見而欲奪之屈平不與因讒之曰
 王使屈平爲令衆莫不知每一令出平伐其功曰以爲非我莫能爲也王怒而疏屈平

(列)行次ナリ位序ナリ (害)忌ムナリ (憲令)法令ナリ (屬草藁)屬ハ陳ヌルナリ草

藁ハ憲令ヲ創制スルノ本ヲ謂フナリ (伐)矜ルナリ

上官大夫ノ靳尚トイヘル者アリ屈平ト朝廷ノ列位ヲ同フシ共ニ寵愛ヲ争フテ心ノ中甚々屈原ノ材能アルヲ忌ミタリ懷王嘗テ屈原ヲシテ憲令ヲ造ラシム屈平其草藁ヲ綴リテ未々定マラス時ニ上官大夫靳尚之ヲ見テ奪ヒ取ラント欲ス(蓋シ寵ヲ争フノ計ヲ爲スナリ)屈平敢テ之ヲ與ヘス(蓋シ其未定ナルヲ以テ)故ニ當サニ改メ削ルカ爲ニ與ヘサルナリ靳尚因テ怒テ之ヲ懷王ニ讒言シテ曰ク王屈平ヲシテ憲令ヲ作ラシム衆人皆之ヲ知ラサルハナシ一令ノ出ル毎ニ屈平其功ニ矜リテ此ノ憲令ハ我ニ非サレハ能ク作クル者ナシト曰ヘリトテ讒言シケレハ懷王大ニ怒テ遂ニ屈平ヲ疏ンシ遠サケタリ

屈平疾王聽之不聰也讒諂之蔽明也邪曲之害公也方正之不容也故憂愁幽思而作離騷

(疾)嫉ト同シニクムナリ (憂愁)憂ハ國ヲ憂フルナリ愁ハ自カラ悲ムナリ (幽思)暗々

地ニ君ヲ思フヲ言フ

屈平懷王カ事ヲ聽クノ聰ナラス(王カ讒ヲ聽クニ就テ言フ)讒言諂諛ノ人カ明ヲ蔽ヒ匿シ(上官カ讒ヲ王ニ行フニ就テ言フ)姦邪佞曲ノ人カ公ヲ妨害シ(上言シテ)己レノ能ヲ害スルニ就テ言フ(方正ノ人カ世ニ容レ用ヒラレサルヲ嫉ミタリ)己レノ疏ンセラレニ就テ言フ(故ニ國ヲ憂ヘ自カラ悲ミ暗々地ニ君ヲ思フテ離騷ヲ作レリ)

離騷者猶離憂也。

此一句ハ太史公カ離騷ノ意ヲ解釋セルナリ其意離ヲ遭フト爲シ騷ヲ憂ト爲ス蓋シ離ハ罹ト通スカトルナリ或人曰ク離ヲ遭フト爲スハ謂ハユル反訓ナリ猶汚ヲ洗ト爲シ原ヲ再ト爲シ放ヲ依ト爲スカ如シト亦通ス

夫天者人之始也。父母者人之本也。人窮則反本。故勞苦倦極。未嘗不呼天也。疾病慘怛。未嘗不呼父母也。

(勞苦)骨折リ難儀スルヲナリ (倦極)ウミ疲ルトナリ (疾病)ヤミイタムナリ (慘怛)悲ミ痛ムナリ

天ナル者ハ人ノ始メナリ父母ナル者ハ人ノ本ナリ人窮スレハ則チ本ニ反ル故ニ勞苦倦極セル時ハ未ダ嘗テ天ヲ呼ハスンハアラサルナリ疾病慘怛スル時ハ未ダ嘗テ父母ヲ呼ハスンハアラサルナリ天ト父母トハ至テ尊親ナリ人宜シク呼フヘカラス然レモ窮スルニ至テ如何トモスヘキナクハ未ダ嘗テ呼ハスンハアララス此レ情ノ必ラス至ル所ナレハナリ

屈平正道直行。竭忠盡智。以事其君。讒人間之。可謂窮矣。信而見疑。忠而被謗。能無怨乎。屈平之作離騷。蓋自怨生也。國風好

色而不淫。小雅怨誹而不亂。若離騷者。可謂兼之矣。

(淫)過甚ナリ (亂)分チ犯スチ言フ

屈平己レノ道ヲ正シ行チ直フシ忠ヲ竭シ智ヲ盡シテ其君ニ事ヘタリシニ讒言スル人アリテ其君ト屈平トノ中チヘダテタリ實ニ窮セリト謂フヘシ屈平ノ如キハ信チ盡シテ反テ疑ハレ忠チ盡シテ反テ謗ラレタレハ能ク怨ムルヲナシトハセラレサルナリ故ニ屈平カ離騷ヲ作レルハ蓋シ怨ミノ上ヨリ生セシ者ナリサテ詩經ノ國風ノ周南召南ノ篇ハ頗ル色チ好メレモ而カモ過甚ナルニ至ラス小雅ノ節南山以下ノ篇ハ怨ミ誹レモ而カモ分チ犯スニ至ラス屈平ノ離騷ノ若キハ能ク此ノ二ツチ兼チ合セタル者ト謂フヘシ〇離騷ニ色チ好ムハ宓妃有娥二姚チ稱スルノ類ハ皆比語ニシテ實事ニ非ス怨ミ誹ルハ九死未悔願領何傷ト云フカ如キハ亦怨ミテ怒ラサルナリ

上稱帝嚳。下道齊桓。中述湯武。以刺世事。明道德之廣崇。治亂之條貫。靡不畢見。

(刺)ソシルナリ (廣崇)廣クシテ貴キナリ (條貫)條目貫穿ナリ

上古ハ帝嚳ノ事チ稱シ(高弟先我ノ句チ指ス)近世ハ齊ノ桓公ノ事チ言ヒ(齊桓聞以該輔ノ句チ指ス)中古ハ殷ノ湯王ヤ周ノ武王ノ事チ述ヘテ世ノ事チ刺譏シ道德ノ廣クシテ貴キト治亂ノ條貫トチ明カニシテ畢ク見サ、ルハナシ治トハ三后重華等チ指ス亂トハ夏康

弄泥築辛等ヲ指スナリ

其文約。其辭微。其志潔。其行廉。其稱スル文小。而其指極大。舉類ヲ邇ニ而見ハス義遠シ。

其文字ハ甚々約ヤカニ其語辭ハ甚々微カニ其志ハ甚々潔ク其行ハ甚々廉ナリ其文章ヲ稱述スル甚々微小ニシテ其指意ハ極メテ廣大ナリ物類ヲ並ヘ舉グルハ尤モ卑近ニシテ其義理ヲ見ハスハ極メテ遠大ナリ

其志潔。故其稱物芳。其行廉。故死而不容シ自ラ蹠セラル。

其志極メテ潔白ナルカ故ニ其物類ヲ稱スル甚々芳ハシ(蘭蕙芝桂ヲ稱スルノ類ナ云フ)其行義極メテ清廉ナルカ故ニ死ニ至ルマテ世ニ容ラレスシテ自カラ蹠ンセラレタリ

濯淖汗泥之中。蟬脫於濁穢。以浮游塵埃之外。不獲世之滋垢。皜然泥而不滓者也。推此志。雖與日月爭光可也。

(濯淖)濯ハ滌フナリ淖ハ泥ナリ汚穢ヲ洒濯スルヲ濯淖ト云フ一説ニ淖ハ澗ノ字ノ誤リナリト (蟬脫)蟬ノ皮ヲ解クカ如キヲ云フ (浮游)アラノノ游フナリ (塵埃)チリホコリナリ (滋垢)滋ハ膩ナリ濁ルナリ垢ハアカナリ (皜然)ハ潔白ナル貌ナリ(滓)細

ナリ泥ノ色緋黒ナルヲ滓ト曰フナリ

屈原汚泥ノ中ニ洒濯シ濁穢ノ中ニ蟬脫シテ塵埃ノ外ニ浮游シ世ノ滋垢ヲ蒙ムルヲ得ス皜然トシテ潔白ニシテ泥ノ中ニアレハ滓シテ澆レサルカ如キ者ナリ(總テ其身塵俗ノ中ニ在レハ能ク塵俗ノ表ニ超出シテ清白ニシテ染マサルノ志ヲ言フナリ)屈原ハ濁世ニ仕ヘ其汚垢ヲ去テ塵埃ノ外ニ在リ此志意ヲ推シ考フルニ日月ト其光明ヲ爭フト言フト雖モ屈レ亦可ナリ

屈原既細。其後秦欲伐齊。齊與楚從親。惠王患之。令張儀詳去秦。厚幣委質事楚。曰。秦甚憎齊。齊與楚從親。楚誠能絕齊。秦願獻商於之地六百里。楚懷王貪而信張儀。遂絕齊。使使如秦。受地。

(從親)合從シテ相親ムナリ解既ニ前ニ見ヘタリ (詳)伴ト通ス史記ハ伴ノ字多ク詳ニ通シテ用ユ心得讀ムヘシ (委質)委ハ委ネ致スナリ質ハ贄ト通ス解既ニ前ニ詳カナリ屈原既ニ退ソケラレテ後秦齊ヲ伐タント欲ス齊楚ト合從ヲ爲シテ相親メリ秦ノ惠王甚々之ヲ患フ仍テ張儀ヲシテ伴ハリテ秦ヲ去リ幣帛ヲ厚フシ贄ヲ委致シテ楚ニ事ヘシム曰ク秦甚々齊ヲ憎ム齊今楚ト合從ヲ爲シテ相親メリ楚誠ニ齊ト合從ヲ絶タハ秦願クハ

商於ノ地六百里ノ間ヲ獻セント楚ノ懷王貪リテ張儀ノ説ヲ信シ遂ニ齊ト從親ヲ絶シ仍テ使者ヲ秦ニ遣リテ商於ノ地ヲ受ケシメタリ

張儀詐之曰儀與王約六里不聞六百里楚使怒去歸告懷王

懷王怒大興師伐秦秦發兵擊之大破楚師於丹浙斬首八萬

虜楚將屈匄遂取楚之漢中地

張儀楚ノ使者ヲ詐ハリテ曰ク儀楚王ニ六里ノ地ヲ獻スルノ約ヲ爲セリ六百里ノ地ヲ獻スルヲ聞セスト楚ノ使者大ニ怒リ歸テ懷王ニ告ク懷王大ニ怒リ大ニ師ヲ興シテ秦ヲ伐シ秦兵ヲ出シテ之ヲ擊チ拒キ大ニ楚ノ師ヲ丹水浙水ノ間ニテ打破リ首ヲ斬ル一八万ナリ楚ノ將屈匄ヲ虜ニシ遂ニ楚ノ漢中ノ地ヲ取リタリ

懷王乃悉發國中兵以深入擊秦戰於藍田魏聞之襲楚至鄧

楚兵懼自秦歸而齊竟怒不救楚楚大困明年秦割漢中地與

楚以和楚王曰不願得地願得張儀而甘心焉張儀聞乃曰以一儀而當漢中地臣請往如楚如楚又因厚幣用事者臣靳尚

而設詭辯於懷王之寵姬鄭袖懷王竟聽鄭袖復釋去張儀

(甘心)快意ナリ即チハラゾンブニスルコナリ (詭辯)イツハリノ辯ナリ

懷王仍テ悉ク國中ノ兵ヲ發シ深ク入テ擊チ藍田トイヘル所ニテ戰ヒタリ魏之ヲ聞テ楚ヲ襲ヒ鄧トイヘル所マテ攻メ入レリ楚ノ兵之ヲ聞テ大ニ懼レテ秦ヨリ歸リタリ齊先キニ楚カ從親ヲ絶ツヲ以テ竟ニ怒テ楚ヲ救ハス是ニ由テ楚大ニ困メリ明年秦漢中ノ地ヲ割キ楚ニ與ヘテ講和セントス漢中ノ地ハ秦カ向キニ取ル所ノ地ナリ楚王曰ク我地ヲ得ルヲ願ハス願クハ張儀ヲ得テ甘心セント張儀之ヲ聞テ秦王ニ申シテ曰ク一ノ儀ヲ以テ漢中ノ地ニ向フ事ナラハ臣請フ秦ノ國ノ爲メニ楚ニ往カント張儀遂ニ楚ニ往キ因テ幣帛ヲ重フシテ楚ノ事ヲ用フルノ臣靳尚ニ遣リ詭辯ヲ懷王ノ寵姬鄭袖トイヘルニ設ケテ懷王ニ説カシム懷王竟ニ鄭袖ノ言ヲ聽キ納レ張儀ヲ釋ルシテ之ヲ去ラシメタリ(詭辯)ヲ設ケシ一ハ詳カニ張儀傳ニ見ヘタリ)

是時屈平既疏不復在位使於齊顧反諫懷王曰何不殺張儀

懷王悔追張儀不及其後諸侯共擊楚大破之殺其將唐昧

(顧反)顧モ亦反ルナリ

是ノ時屈平既ニ疏シ違サケラレテ復タ朝位ニ列スルヲ得ス偶マ齊ニ使ヒセシカ張儀ノ事ヲ聞テ反テ懷王ヲ諫メテ曰ク王何ソ張儀ヲ殺サハルト懷王之ヲ聞テ大ニ悔ヒテ張

儀ヲ道ハシムレト及ハス其後諸侯共ニ楚ヲ擊テ大ニ之ヲ打破リ其將軍ノ唐昧トイヘル人ヲ打殺シタリ

時秦昭王與楚婚欲與懷王會懷王欲行屈平曰秦虎狼之國不可信不如無行懷王稚子子蘭勸王行奈何絕秦歡懷王卒行入武關秦伏兵絕其後因留懷王以求割地懷王怒不聽亡走趙趙不內復之秦竟死於秦而歸葬

(稚子) 幼少ノ子ナリ (内) 納ト通ス

時ニ秦ノ昭王楚ト婚姻ヲ取結ヒテ懷王ト會合センコトヲ請フ懷王行カント欲ス屈平曰ク秦ハ兇暴貪婪ナルコト虎狼ノ如キノ國ニシテ信スヘカラサレハ行クナキニ如カスト懷王ノ稚子子蘭トイヘル者類リニ懷王ニ秦ニ行カンコトヲ勸メテ曰ク奈何ソ秦ノ歡心ヲ絶タント懷王終ニ行テ建武關ニ入りタリ秦兵ヲ伏セテ楚ノ兵ノ後ヲ絶チ因テ懷王ヲ引留メテ地ヲ割カンコトヲ求ム懷王大ニ怒テ之ヲ聽キ納レス亡ケテ趙ニ走リシカ趙懷王ヲ納レス懷王已ムヲ得ス復タ秦ニ往キ竟ニ秦ニテ死シタル故ニ楚ニ歸シ葬リタリ

長子頃襄王立以其弟子蘭爲令尹楚人既咎子蘭以勸懷王

入秦而不反也。屈平既嫉之。雖放流。睠顧楚國。繫心懷王。不忘。欲反。冀幸君之一悟。俗之一改也。其存君興國。而欲反覆之一篇之中。三致志焉。然終無可奈何。故不可以反。卒以此見懷王之終不悟也。

(放流) 疏シ細ソケラルト、放流ノ如ク然ルチ言フ (睠顧) 睠ハ反顧ナリ (冀幸) 子ガヒ子ガフナリ (君之一悟俗之一改) 君トハ頃襄王ヲ指ス俗トハ在位ノ諸臣ヲ指ス

懷王ノ長子頃襄王立ツ其弟子蘭ヲ以テ令尹ト爲シタリ楚人既ニ子蘭ヲ咎ムルニ懷王ヲ勸メテ秦ニ入レテ反ラサルヲ以テセリ然ルニ頃襄王反テ之ヲ用ヒテ屈平ヲ抑ヘタリ屈平モ既ニ子蘭ヲ嫉ミ咎メ放流セラルト雖モ常ニ楚國ヲ睠顧シ心ヲ懷王ニ繫ケテ懷王カ國ニ反ルヲ欲スルヲ忘レス君(頃襄王)一タヒ悟リ俗(在位ノ諸臣)一タヒ改マリ自カラ政治ヲ強メハ懷王或ハ國ニ反ルノ機アルヘシト常ニ之ヲ心ニ冀ヒタリ(此レ蓋シ懷王カ秦ニ在テ尙未タ死セサル時ヲ謂フナリ)屈原意ヲ盡シテ君ヲ存シ國ヲ興シテ之ヲ反覆セント欲ス故ニ一篇ノ中三タヒ其志ヲ致シ盡シタリ然レモ君悟ルヘカラス俗改マルヘカラス終ニ奈何ントモスヘキナシ故ニ終ニ懷王ヲ國ニ反ヘスヘカラス此ヲ以テ懷王ノ愚國ニ在リシ時ヨリ秦ニ入テ客死スルニ至ルマテ終ニ屈原ノ忠ト上官ノ讒子蘭ノ罪トヲ悟ラ

サルチ見ルナリ

人君無愚智賢不肖莫不欲求忠以自爲。擧賢以自佐。然亡國破家相隨屬。而聖君治國。累世而不見者。其所謂忠者不忠。而所謂賢者不賢也。

人君タル者ハ愚トナク智トナク賢トナク不肖トナク皆忠臣ヲ求メテ己レノ爲メニシ賢臣ヲ擧ケテ己レヲ佐クルチ欲セサルナシ然レモ國ヲ亡シ家ヲ破ルノ事常ニ相連屬シ古ヘノ聖君カ國ヲ治ムル者ノ如キハ世ヲ累ヌト雖モ見ハレサルハ其謂ハユル忠臣ナリト思ヒシ者ハ皆不忠ニシテ謂ハユル賢臣ナリト思ヒシ者ハ皆不賢ナレハナリ

懷王以不知忠臣之分。故內惑於鄭袖。外欺於張儀。疏屈原而信上官大夫。令尹子蘭。兵挫地削。亡其六郡。身客死於秦。爲天下笑。此不知人之禍也。

懷王忠臣ノ分ヲ知ラサルチ以テノ故ニ内ハ鄭袖ニ惑ヒ外ハ張儀ニ欺カレ屈原ヲ疏ンシ遠サケテ上官大夫ヤ令尹子蘭チ信シ兵挫ケ地削ラレテ其六郡ヲ失ヒ其身遂ニ秦ニ客トシテ死シ天下ノ物笑ヒト爲リタリ此レ人チ見分クル能ハサルノ禍ナリ

易曰。井泄不食。爲我心恻。可以汲。王明竝受其福。王之不明。豈足福哉。

(易)井ノ卦ノ九三ノ爻ノ辭ナリ (井泄不食)泄ノ字、今ノ易ニハ滌ニ作ル泄ハ除キ去ルナリ、洩ヒ治メテ泥濁チ去ルチ言フナリ

易ニ曰ク井ノ洩ヒ治メテ清潔ナルハ食ハレス故ニ吾レ心ノ恻ミチ爲スナリ我カ道ハ之チ汲ミテ用フヘシ若シ明主アリテ我カ道チ汲ミ用フレハ上下並ヒニ其福チ受クヘシトアリ楚王不明ナレハ忠臣豈ニ夫レ福チ受ケンヤ故ニ屈平沙チ懷テ自カラ汨羅ノ淵ニ沈メルナリ

令尹子蘭聞之。大怒。卒使上官大夫短屈原於頃襄王。頃襄王怒而遷之。

(短)人ノ過失チ誣フルチ短ト曰フ

令尹子蘭聞之ノ句ハ遙カニ上ノ屈平既嫉之ノ數句ニ接スルナリ、子蘭屈平カ己レチ嫉ムト聞テ大ニ怒テ終ニ斬尙チシテ屈原チ頃襄王ニ讒言セシム頃襄王大ニ怒テ屈平チ江南ニ遷シタリ

屈原至於江濱。被髮行吟。澤畔。顏色憔悴。形容枯槁。漁父見而

問之曰。子非三閭大夫歟。何故而至此。屈原曰。舉世混濁而我獨清。衆人皆醉而我獨醒。是以見放。

(行吟)アルキク、吟咏スルナリ (憔悴)顛頓ト通ス華落チ色衰フル者ヲ謂フ即チ瘦セツカル、ナリ (枯槁)瘦セ衰ヘテ枯木ノ如キヲ言フ (三閭大夫)昭風景ノ三姓ノ王族ヲ掌トリ其譜屬ヲ序テ其賢良ヲ率ヒテ國士ヲ厲マスナリ (混濁)ミダレニゴルナリ

屈原江水ノ濱ニ至リ髮ヲ被リテ行ク、澤ノ畔リニ吟咏シ顔色瘦セツカレテ形容瘦セ衰ヘタリ漁父アリテ屈平ヲ見テ問フテ曰ク子ハ三閭大夫ニ非スヤ何カ故ニ此ニ至レルヤト其顔色形容ヲ以テ之ヲ疑ヒ怪ミタリ(漁父ハ蓋シ亦當時ノ隱遁ノ人ナリ)屈原曰ク世ヲ舉ケテ混濁シテ我レハ獨リ清ミ衆人ハ皆醉フテ我レハ獨リ醒ム是ヲ以テ草野ニ棄テラレタリト混濁トハ利欲ニ溺ルトナ指シテ言フ醉フトハ知識ナキヲ指シテ言フナリ

漁父曰。夫聖人者。不凝滯於物。而能與世推移。舉世混濁。何不隨其流。而揚其波。衆人皆醉。何不餽其糟。而啜其醪。何故懷瑾握瑜。而自令見放爲。

(凝滯)窒カリ滯フルナリ (與世推移)屈伸變化時ト偕ニ行フヲ言フ (餽其糟)餽ハ食フナリ糟ハ酒滓ナリ (啜其醪)啜ハ飲ムナリ醪ハ薄酒ナリ (懷瑾握瑜)瑾ト瑜トハ皆美玉ナリ有爲ノ才ニ喩フルナリ

漁父曰ク聖人ハ物ニ窒カリ滯フラスシテ屈伸變化能ク時ト偕ニ行フナリ世ヲ舉ケテ混濁ナレハ何ソ其流レニ隨フテ其波ヲ揚ケサルヤ(此レハ與ニ浮沈スルヲ謂フナリ)衆人皆醉ハ何ソ其糟ヲ餽フテ其醪ヲ啜ラサルヤ(此レハ且ラク俗ニ隨フヲ謂フナリ)亦其糝ヲ食ムニ喩フルナリ(何カ故ニ瑾ヲ懷キ瑜ヲ握リテ自カラ草野ニ放タレシムルヲ爲スヤ)

屈原曰。吾聞之。新沐者必彈冠。新浴者必振衣。人又誰能以身之察々。受物之汶々者乎。寧赴常流。而葬乎江魚腹中耳。又安能以皓々之白。而蒙世之溫蠖乎。

(沐)首ヲ洗フナリ (彈)爪ヲ鼓スルナリ即チ爪ハシキスルヲナリ冠ノ上ヲ爪ハシキシテ其塵ヲ振ヒ去ルヲ言フ (浴)身ヲ洗フナリ (察々)清潔ナリ (汶々)玷辱ナリ一説ニ猶昏暗ノ如キナリト (常流)猶長流トモフカ如シ (皓々)白キ貌ナリ (溫蠖)猶憎憤ノ如シ

屈原曰ク吾之ヲ聞ケリ新タニ首ヲ洗フ者ハ必ラス其冠ヲ彈キ新タニ身ヲ洗フ者ハ必ラス其衣ヲ振フ沐浴ノ後ハ其身潔淨ニシテ再タヒ衣冠中ノ垢汗ヲ受クヘカラサルカ故ニ必ラス彈シテ之ヲ振フトイヘリ人又誰カ能ク身ノ察々タル清潔ヲ以テ物ノ汶々タル玷

辱ヲ受クヘキヤ寧ロ長流ニ赴キテ江魚ノ腹中ニ葬ラル、ヲ勝サルトス又安クソ能ク
皓々ケル潔白ノ身ヲ以テ世上ノ溫蟻ヲ蒙ムルヘキヤ

乃作懷沙之賦其辭曰陶々孟夏兮草木莽々傷懷永哀兮汨
徂南土。

屈原沙礫ヲ懷キテ沈ムカ故ニ其義ヲ取リテ懷沙ノ賦ト名ケタリ陶々ハ盛陽ノ貌ナリ莽
々ハ盛ニ茂ル貌ナリ汨ハ疾ク行ク貌ナリ言フハ陶々タル孟夏ノ月草木盛茂セル時ニ
自カラ傷ミ哀ミテ江南ノ土ニ往ケルトナリ(此レハ放タル、時ト地トヲ追言スルナリ)

胸兮窈窕孔靜幽墨。

胸ハ眩ト通ス目數々搖動スルナリ窈窕ハ山水深遠ナルナリ孔ハ甚タナリ墨ハ默ト通ス
幽墨ハ靜カニシテ人ノ聲ナキナリ言フハ江南ノ地ハ山高ク澤深ク沈冥深遠ニシテ目之
レカ爲メニ眩シ其野ハ甚タ清淨ニシテ漠トシテ人ノ聲ナシトナリ

冤結紆軫兮離愍之長鞠撫情効志兮俛訕以自抑。

冤ハ鬱ナリ紆軫ハ隱回ナリ鬱結シテ伸ヒサルヲ言フ離ハ罹ト同シ遭フナリ愍ハ病ナリ
鞠ハ窮ムルナリ撫ハ循フナリ効ハ致スナリ俛ハ俯ト同シ訕ハ屈ト同シ言フハ我江南ニ
遷サレテヨリ常ニ鬱結悲痛シ病マシキニ遭フテ長ク窮マレリ因テ情ニ循ヒ志ヲ致シ過

失ナシト雖屈俯屈シテ自カラ抑ユトナリ(此レハ初メ放タル、ノ時猶意ヲ死ニ蓄ヘサル
ヲ追言スルナリ)

刑方以爲園兮常度未替。

刑ハ削ルナリ園ハ圓ナリ度ハ法ナリ替ハ廢スルナリ人方木ヲ刑削シテ圓ト爲サント欲
スルトモ其常ノ法度ハ尙未タ廢セサルナリ言フハ己レ心ヲ變シ俗ニ從ハント欲スレモ
常法未タ廢セス遽カニ心ヲ變スル能ハサルナリト

易初本由兮君子所鄙。

本ハ常ナリ由ハ道ナリ鄙ハ卑シムルナリ言フハ人世ノ不道ニ遭フテ本初ノ己レカ由ル
所ノ道ヲ變改スルハ君子タル者ノ甚タ卑鄙スル所ナリト、

章畫職墨兮前度未改。

章ハ明ナリ畫ハ計畫ナリ職ハ志ト音通ス志ハ念フナリ墨ハ繩墨ナリ度ハ法ナリ言フハ
工人ハ計畫スル所ヲ章明ニシテ其繩墨ヲ志念シ前人ノ法度ヲ修メテ其道ヲ易ヘサレハ
曲木ハ自カラ直フシテ惡木ハ自カラ好キカ如キナリト

內直質重兮大人所盛。

言フハ人ノ心志正直ニ性質沈重ニシテ行過失ナケレハ大人君子ノ盛美スル所ナリト

巧匠不_レ斷_ラ兮。孰_カ察_セ其_レ揆_正。玄文幽處兮。矇_フ謂_ニ之_ト不_レ章_ナ。離婁微睇兮。瞽_ス以_レ爲_レ無_レ明_ト。

玄ハ深遠ナルナリ。玄文ハ玄墨ノ文ナリ。幽ハ亦深キナリ。矇ハ盲者ナリ。離婁ハ古ヘノ明目ノ人ナリ。睇ハ目小シク視ルナリ。言フハ巧ミナル匠人カ斷ラサレハ誰モ其揆正スルヲ察スル者ハナシ。故ニ玄文幽處スレハ盲者ハ之ヲ見テ章明ナラスト爲ス。離婁ハ隱微ヲ視ルノ明アレハ瞽者ハ之ヲ明ナシト爲スト。

變_レ白_ク而_シ爲_レ黑_ト兮。倒_レ上_ニ以_レ爲_レ下_ト。鳳皇在_レ箴_ニ兮。雞雉翔舞_ス。同_ニ糅_レ玉_石兮。一_ニ槩_レ而_シ相_レ量_ス。

鳳皇ハ羽蟲ノ長ナリ。鳳ハ雄ニテ凰ハ雌ナリ。箴ハ籠落ナリ。即チカゴチ言フ。糅ハ雜ユルナリ。槩ハ斗斛チ平カニスル木ナリ。即チマスカキチ言フ。言フハ白キヲ變シテ黒シト爲シ上ヲ倒マニシテ下ト爲ス。鳳凰ノ如キ靈鳥ハ籠落ノ中ニ在リテ雞ヤ雉ノ如キ者カ意チ得テ翔リ舞フナリ。又玉ト石トナ同シク雜糅シテ一ツ槩チ以テ相量ルナリ。此レハ忠義チ盡ス者ト奸邪倭曲ノ人ト顛倒セルチ言フナリ。

夫_レ黨_レ人_ノ之_レ鄙_レ妬_ス兮。羌_カ不_レ知_ラ吾_レ所_レ臧_ス。

羌ハ楚人ノ語辭ニシテ猶何爲ト言フカ如シ。臧ハ善ナリ。言フハ與黨チ爲スノ人ハ其心甚

欠

MISSING

差之徒者。皆好辭而以賦見稱。然皆祖屈原之從容辭令。終莫敢直諫。其後楚日削。數十年。竟爲秦所滅。自屈原沈汨羅。後百有餘年。漢有賈生。爲長沙王太傅。過湘水。投書以弔屈原。

(祖屈原之從容辭令) 祖トハ本トシテ述フルヲ言フ從容ハ迫ラサル貌ナリ辭令ハ言詞命令ナリ

是ニ於テ石ヲ懷キテ遂ニ自カラ身ヲ汨羅ニ投シテ死シタリ、屈原既ニ死シテ後楚ニ宋玉唐勒景差ノ徒アリテ皆辭ヲ好ミ賦ニ工ミナルヲ以テ稱セラレタリ、然レ凡皆屈原ノ從容タル言詞命令ヲ本トシテ述フルマテニテ終ニ敢テ直諫スルナシ其後楚日々ニ土地ヲ削ラレ數十年ヲ過キテ終ニ秦ノ爲メニ滅サル屈原カ汨羅ニ沈ミシヨリ後百餘年ヲ過キテ漢ニ賈誼トイヘル人アリテ長沙王ノ太傅ト爲リタリ、嘗テ湘水ヲ過キ書ヲ投シテ屈原ヲ弔シタルコトアリ

賈生。名誼。雒陽人也。年十八。以能誦詩屬書聞於郡中。吳廷尉爲河南守。聞其秀才。召置門下。甚幸愛。

(屬書) 屬ハ之ヲ綴輯スルヲ言フ其能ク文ヲ爲クルヲ言フナリ (秀才) 秀ハ美ナリ 賈生ハ名ハ誼ト云フ雒陽ノ人ナリ年十八ニシテ能ク詩ヲ誦シ書ヲ屬スルヲ以テ郡中ニ

其名ヲ顯ハセリ、吳廷尉トイヘル人河南ノ守ト爲リシ時ニ賈誼ノ秀才ナルヲ聞テ召シテ門下ニ置キテ甚々之ヲ寵愛セリ

孝文皇帝初立、聞河南守吳公治平爲天下第一。故與李斯同邑而常學事焉。乃徵爲廷尉。廷尉乃言賈生年少。頗通諸子百家之書。文帝召以爲博士。

(治平)政治マリテ和平ナルナリ (常)嘗ト通ス

漢ノ孝文皇帝初メテ立テテ河南ノ守タル吳公カ政治ハ天下第一タリ且ツ舊ト李斯ト同郷ノ人ニシテ嘗テ李斯ニ從ヒテ學ヒ事フト聞ク仍テ吳公ヲ徵シテ廷尉ノ官ニ登用シタリ廷尉仍テ文帝ニ申シテ曰ク賈生ハ年少シト雖モ頗ル諸子百家ノ書ニ通スト文帝即チ賈生ヲ召シテ博士ノ官ニ登用シタリ

是時賈生年二十餘。最爲少。每詔令議下。諸老先生不能言。賈生盡爲之對。人々各如其意所欲出。諸生於是乃以爲能不及也。孝文帝說之。超遷一歲中至太中大夫。

賈生カ召サレテ博士ト爲リシ時ハ年僅カニ二十餘ナリ諸臣ノ中ニ於テハ最モ少シト爲

スサレテ詔令チ出スノ議下ル毎ニ諸老先生未タ言フ能ハサルニ賈生盡ク之レカ對チ爲ス人々各々其意ノ出サント欲スル所ノ如シ諸老先生仍テ以爲ラク能ク賈生ニ及ハスト孝文帝甚々賈生ノオチ悦ビ諸役ヲ飛ヒ越ヘ登リテ一歲ノ中ニ太中大夫ノ官マテ至リタ

賈生以爲漢興至孝文二十餘年。天下和洽。而固當改正朔。易服色。法制度。定官名。興禮樂。

賈生以爲ラク漢興リテヨリ孝文帝ノ時ニ至ルマテ二十餘年ノ間天下和洽ス固ヨリ當サニ正朔チ改メ服色チ易ヘ制度チ正シ官名チ定メ禮樂チ興スヘシト(法)制度ノ三字漢書ニハ法ノ字ナク制度ノ二字上ニ屬シテ服色制度チ易フルニ作ル或人曰ク服色法制度チ易フト讀ムヘシ服色及ヒ法令制度チ言フナリト亦通ス)

乃悉草具其事儀法。色尚黃。數用五。爲官名。悉更秦之法。孝文帝初即位。謙讓未遑也。諸律令所更定。及列侯悉就國。其說皆自賈生發之。

(草具)草ハ創造スルナリ草具ハ創メ備フルチ言フ (儀法)儀式法則ナリ (色尚黃)

尙ハ貴ナリ孝文帝ノ十五年黃龍成紀ニ見ヘタリ此ニ由テ色ハ黃ヲ貴フコトナリメ後世隋唐ノ天子カ黃袍ヲ服スルハ亦此ニ原ツクナリ (數用五)漢ハ土德ノ時ニ當レリ土數五ナルヲ以テ官名ニ五ノ字ヲ用ユルナリ

仍テ悉ク其事ノ儀式法則ヲ創造シ色ハ黃ヲ貴ヒ數ハ五ヲ用ヒテ官名ヲ作り其他悉ク泰ノ時ノ法令ヲ改メタリ文帝初メテ位ニ即キ謙讓シテ未タ此ニ及フニ暇アラスト爲ス諸律令ノ更メ定ムル所及ヒ列侯ヲシテ悉ク國ニ就カシムル等其說ハ皆賈生ヨリ之ヲ發シタルナリ

於是天子議以爲賈生任公卿之位。絳灌東陽侯馮敬之屬盡害之。乃短賈生曰。雒陽之人年少初學。專欲擅權。紛亂諸事。於是天子後亦疏之。不用其議。乃以賈生爲長沙王太傅。

(害)忌ムナリ (短)其過失ヲ誣フルヲ言フ (紛亂)ミダリミダルナリ

天子議論シテ以爲ラク賈生ハ宜シク公卿ノ位ニ任スヘシト絳侯周勃灌嬰東陽侯張相如馮敬ノ徒悉ク賈生ヲ忌ミ仍テ賈生ヲ文帝ニ讒言シテ曰ク雒陽ノ人賈生ハ年猶少クシテ初メテ學ヒタリ然ルニ專ラ朝權ヲ擅ニシテ朝廷ノ諸事ヲ紛亂セント欲スト文帝モ後亦賈生ヲ疏ンシ遠サケテ其議論ヲ用ヒス仍テ賈生ヲ以テ長沙王ノ太傅ト爲シテ長沙ニ往カシメタリ

賈生既辭往行。聞長沙卑溼。自以壽不得長。又以適去。意不自得。及渡湘水。爲賦以弔屈原。

(適)適ト通ス讀メナリ

賈生既ニ辭決シテ往ケリ長沙トイヘル所ハ土地甚タ卑クシテ且ツ濕ヘルヲ聞テ自カラ思フニ年壽長キヲ得スト又天子ノ讒ヲ以テ去リシナレハ己レノ意甚タ快シトセサルナリ故ヲ以テ湘水ヲ渡ルニ及ヒテ賦ヲ作りテ屈原ヲ弔シタリ蓋シ己レノ去ル屈原ト亦相似タル所アレハナリ

其辭曰。共承嘉惠兮。俟罪長沙。側聞屈原兮。自沈汨羅。造託湘流兮。敬弔先生。遭世罔極兮。乃隕厥身。嗚呼哀哉。

嘉惠ハ詔命ヲ言フ罔ハ無ナリ極ハ止ムナリ讒言ノ止ムナキヲ言フ其身ヲ隕スルトハ死スルヲ言フサテ其屈原ヲ弔セル辭ニ曰ク我屈原ト共ニ詔命ヲ承ケテ罪ヲ長沙ニ俟テリホノカニ聞ク屈原ハ自カラ汨羅ノ水ニ投シテ死シタリト我湘水ニ至リテ親シク汨羅ニ詣ルヲ能ハス故ニ湘流ニ託シテ書ヲ達シ敬ンテ先生ヲ弔スルナリ先生ハ世ノ讒言極マリナキニ逢ヒテ其身ヲ隕シタリ嗚呼誠ニ哀ミ傷ムヘキナリト

逢時不祥。鸞鳳伏竄兮。鷗臯翔翔。

伏窻ハフシカクルミナリ翱翔ハカケリカケルナリ言フハ時節ノ不吉ナルニ違ヒテ驚ヤ
鳳凰ノ如キ靈鳥ハ悉ク伏シ窻レテ鳴ヤ梟ノ如キ惡鳥カ意ヲ得テ翔リ舞ヘリト此レハ忠
義ノ士ハ退キテ佞姦ノ人カ意ヲ得ルニ喩フルナリ

關茸尊顯兮。讒諛得志。賢聖逆曳兮。方正倒植。

關茸ハ驚オノ人ナリ言フハ不才ノ人尊ヒ顯ハレテ讒諛ノ人志ヲ得タリ故ニ賢聖ノ人ハ
逆サニ曳レテ順行スルヲ得ス方正ノ人モ不肖ノ人カ位ヲ得タル故ニ顛倒シテ立テリト、

世謂伯夷貪兮。謂盜跖廉。莫邪爲頓兮。鉛刀爲銛。

莫邪ハ寶劍ノ名ナリ頓ハ鈍ト通スニアキナリ鉛刀ハ錫ニテ作りタル刀ナリ銛ハ利ナリ
言フハ世間ニテハ伯夷ノ如キ清介潔白ノ人ヲ反テ貪ルト謂ヒ盜跖ノ如キ大盜ヲ反テ廉
ナリト謂フ莫邪ノ寶劍ヲ以テ鈍シト爲シ鉛刀ヲ以テ利シト爲スト此レハ世間ノ人ノ暗
惑ナルヲ言フナリ

于嗟嚶々兮。生之無故。

嚶々ハ意ヲ得サルノ意ナリ、生ハ先生ナリ屈平ヲ云フ言ハア、嚶々トシテ自得セス先生
何ノ故モナクシテ此禍ニ遭ヒタリト

幹棄周鼎兮。而寶康瓠。騰駕罷牛兮。驂蹇驢。

幹ハ轉スルナリ康瓠ハ大瓠ナリ言フハ周ノ寶トセル九鼎ヲ轉シ弃テ、康瓠ノ如キ者ヲ
以テ寶トシ疲瘦セル牛ニ騰カリ乘リテ跛足ノ驢馬ヲ副馬トスト此レハ小人ノ重任ニ當
タルニ喩フルナリ

驥垂兩耳兮。服鹽車。章甫薦屨兮。漸不可久。

驥ハ藉クナリ言フハ驥ハ兩耳ヲ垂レテ鹽ヲ積ミタル車ヲ牽キ而シテ章甫トイヘル殷ノ
冠ヲ履ニ藉ケリ冠下ニ居リテ屨反テ上ニ在ルヲ言フナリ此レ貴キ以テ賤シキニ役セラ
ルルナリ與ニ久シク處ルヘカラスト

嗟苦先生兮。獨離此咎。訊曰。己矣。國其莫我知。獨埋鬱兮。其誰
語。

離ハ罹ルナリ訊ハ告クルナリ埋鬱ハ佛鬱ナリ氣ノフサクヲ言フ言フハア、我先生カ獨
リ此ノ難ニ遭ヘルヲ勞苦スルナリ仍テ先生ニ告ケテ曰ク、ア、己ミヌ國中ノ人其レ我ヲ
見分クルモノナシ故ニ獨リ佛鬱トシテ誰レニカ我カ意ヲ語ルヘキト

鳳漂々其高遯兮。夫固自縮而遠去。襲九淵之神龍兮。沕深潛
目自珍。彌融爚以隱處兮。夫豈從螳與蛭蟻。

漂々ハ輕ク擧カル貌ナリ。遷ハ逝クナリ。縮ハ推ト通ス引クナリ。抽クナリ。言フハ鳳凰ハ漂々トシテ輕ク擧リテ高ク空ニ逝ケリ。此レ固ヨリ自カラ抽テ遠ク去レルナリト。襲ハ重ナルナリ。神龍ハ九重ノ淵ニ在ルカ故ニ九淵ヲ重ヌルノ神龍ト云フナリ。深ク藏スルヲ言フナリ。物ハ潜ミ藏ルトナリ。彌ハ遠ナリ。融ハ明ナリ。燦ハ光リナリ。蟄ハ蟻ナリ。蛭ハ水虫ナリ。蟻ハ蚯蚓ナリ。言フハ九重ノ淵ニ潜ム所ノ神龍ハ物然トシテ深ク潜ミテ自カラ珍重シ且ツ明カナル光ヲ遠クシテ隱レ居レ。故ニ我ハ寧ロ水ニ投シテ神龍ニ合ハント欲ス。豈ニ敢テ陸葬シテ蟻ト蚯蚓トニ從ハンヤト。

所貴聖人之神德兮。遠濁世而自藏。使騏驎可得係羈兮。豈云異夫犬羊。

係羈ハツナギシバルナリ。言フハ貴フ所ハ聖人ノ神德ナリ。何トナレハ其濁世ヲ遠ケテ自カラ藏ルレハナリ。彼ノ騏驎ノ名馬ヲシテ係羈スルヲ得ヘカラシメハ則チ夫ノ犬ヤ羊ト異ナルナシ。只其遠ク逃レテ係縛セラレサルヲ以テ貴シトス。此レハ屈原ノ濁世ヲ去テ隱レサルヲ責ムルナリ。

般紛々其離此尤兮。亦夫子之辜也。瞞九州而相君兮。何必懷此都也。

般ハ盤桓トシテ去ラサルナリ。一説ニ般ハ反ナリト亦通ス。紛々ハ讒ヲ搆フノ意ナリ。尤ハ咎怨ヲ謂フ。辜ハ罪ナリ。瞞ハ歴觀スルヲ言フ。言フハ讒言ヲ爲スモノ紛々タルカ故ニ。此ノ咎怨ニ遭ヒタリ然レモ亦夫子カ鳳凰ノ翔リ神龍ノ潜ムカ如クセサルノ罪ナリ。若シ偏ネク九州ヲ歴觀シテ明君ヲ輔相セハ原カオノ行何レノ所ニカ容レラレサラン。何ソ必ラスシモ此都ヲ懷ハンヤト。

鳳皇翔于千仞之上兮。覽德輝焉。下之。見細德之險微兮。搖增翮逝而去之。

仞ハ八尺ナリ。言フハ鳳凰ハ千仞ノ高サアル青雲ノ上ニ翔リ人君ノ德輝アルヲ見テ下ルナリ。若シ苛細ノ人ノ險難微シク起ルアルヲ見レハ即チ當サニ羽翮ヲ加ヘ動カシテ遠ク逝テ之ヲ去ルヘシト。

彼尋常之汙瀆兮。豈能容吞舟之魚。

八尺ヲ尋ト曰ヒ尋ニ倍スルヲ常ト曰フ。汙ハ瀆ナリ。瀆ハ小渠ナリ。吞舟ノ魚ハ鯨鯢ナリ。言フハ廣サ尋常ハカリノ瀆渠ノ中ニハ豈ニ能ク吞舟ノ大魚ヲ容ルトチ得ンヤト。此レハ大賢ノ小人ニ容レラレサルニ喩フルナリ。

橫江湖之鱣鯨兮。固將制於螻蟻。

體ハ長二丈アルノ魚ナリ鱗ハ鱗ナク口腹下ニ在ルノ大魚ナリ蟻ハケラナリ蟻ハアリナ
リ言フハ江湖ニ横ハル程ノ體ヤ鱗ノ大魚モ水ヲ失フテ陸地ニ至レハ固ヨリ蟻ヤ蟻ノ爲
メニ制セラレントスト此レハ小國ノ暗主カ忠臣ニ容レラレスシテ讒賊ノ小臣ノ爲メニ
害セララルトニ喻フルナリ

賈生爲長沙王太傅三年有鴉飛入賈生舍止於坐隅楚人命
鴉曰服賈生既以適居長沙長沙卑溼自以爲壽不得長傷悼
之乃爲賦以自廣

(鴉) フクロフナリ (適) 適ト通ス前ニ見ヘタリ (自廣) 自廣猶自カラ寛フスト云フカ如

賈生長沙王ノ太傅ト爲リテヨリ三年ヲ過キテ鴉アリ飛テ賈生カ舍ニ入りテ坐敷ノ隅ニ
止マレリ鴉ハ不祥ノ鳥ナリ楚人鴉ヲ名ケテ服ト曰ヘリ賈生既ニ適チ以テ長沙ニ居レリ
長沙ハ土地卑クシテ且ツ濕ヘルチ以テ自カラ以爲ラク年壽長キヲ得スト仍テ之ヲ傷ミ
悼ミテ賦ヲ作りテ自カラ心ヲ寛フシタリ

其辭曰單闕之歲兮四月孟夏庚子日施兮服集余舍止于坐
隅。貌甚間暇。

單闕ハ卯ノ異名ナリ單闕ハ起ルナリ陽氣万物ヲ推シテ起ルカ故ニ單闕ト曰フ孟ハカシ
ラナリ孟夏ハ即チ初夏ナリ施ハ斜メナリ日ノ西ニ斜メナルチ言フ集ハトマルトナリ間
暇ハ大マカニユルヤカナルトナリサテ鴉鳥ノ賦ニ曰ク單闕ノ歲四月初夏庚子ノ日斜メ
ナル時ニ服鳥我カ舍ニトマリテ坐敷ノ隅ニ止マレリ其形貌甚々間暇ナリ

異物來集兮私怪其故發書占之兮策言其度曰野鳥入處兮
主人將去

異物ハ異鳥ナリ即チ前ノ鴉ヲ指ス策ハ龜策ノ策ニテ著ナリ度ハ法ナリ驗ナリ言フハ異
鳥カ來リテ我カ舍ノ坐隅ニトマリシ故ニ私カニ其譯柄ヲ怪ミ策數ノ書ヲ發キテ之ヲ占
ヒタレハ策數ノ書ニ其吉凶ノ度ヲ言ヒ述ヘタリ(支那人ハ此鳥ヲ惡ム故ニ書ヲ開テ吉凶
ヲ占ヒシナリ)曰ク野鳥カ人ノ舍ニ入テ居レハ主人將サニ其屋ヲ去ルヘシト

請問于服兮予去何之吉乎告我凶言其菑淹數之度兮語予
其期

當ハ災ナリ淹數ハ遲速ナリ言フハ服鳥ニ請ヒ問フテ曰ク我此屋ヲ去テ何クニカ往クヘ
キヤ吉ナラハ我ニ告ケヨ凶ナレハ其災ヲ言ヘ其遲キト速カナルトノ度皆我ニ其期限ヲ
告ケヨト

服乃歎息。舉首奮翼。口不能言。請對以臆。萬物變化兮。固無休息。幹流而遷兮。或推而還。

臆ハ胸臆ナリムネニ思フ所ヲ以テ述フルナリ一説ニ臆ハ意ト通ス口言フ能ハサルヲ以テ意ヲ以テ對フルナリ幹ハ轉スルナリ還ハ旋ルナリサテ服鳥歎息シ首ヲ舉ケ翼ヲ奮ヒテ口言フ能ハス對フルニ意ヲ以テセント請フ夫レ天地間ノ万物變化シテ固ヨリ暫クモ休息スルコトナシ或ハメグリ流ルカ如クニ遷リ變リ或ハ推シ移リテ旋ルナリ

形氣轉續兮。化變而嬗。沕穆無窮兮。胡可勝言。

而ハ如ナリ嬗ハ蟬ト音ヲ以テ通スルナリ一説ニ云ク嬗ハ音禪其相傳與スルヲ謂フナリ、
物穆ハ深微ノ貌ナリ其理深微ニシテ盡ク言フヘカラサルヲ言フナリ言フハ形ト氣トハ常ニ相運リ續キテ其變化スルコトハ蟬ノ蛻化スルカ如シ其道理ハ極メテ深微ニシテ一々之ナ口ニ述ヘ難シト

禍兮福所倚。福兮禍所伏。憂喜聚門兮。吉凶同城。

禍アレハ福ハ既ニ其傍ラニ依ルナリ福アレハ禍ハ既ニ其下ニ藏スルナリ故ニ憂ト喜ト一門ニ聚マリテ吉ト凶トハ境域ヲ同フセリ此レハ禍福相因リ吉凶定マラサルヲ言フ此レヨリ以下ハ皆此ヲ論シテ自カラ寛フスルナリ

彼吳彊大兮。夫差以敗。越棲會稽兮。句踐霸世。斯游遂成兮。卒破五刑。傅說胥靡兮。乃相武丁。

五刑ハ墨劓剕宮大辟ナリ解ハ李斯傳ニ詳ラカナリ胥ハ相ナリ靡ハ隨フナリ古ヘ相隨フテ輕刑ニ坐スルノ名ナリ言フハ彼ノ吳ハ強大ナルモ夫差遂ニ敗レ越ハ困窮シテ殘兵ヲ以テ會稽ニ棲ミコミシモ句踐遂ニ旗頭トナレリ李斯ノ游說遂ニ成リ遂ケシモ其終リハ五刑ヲ具ヘテ殺サレタリ傅說ハ胥靡タリシカトモ遂ニ殷ノ武丁ノ相ト爲レリ

夫禍之與福兮。何異糾纏。命不可說兮。孰知其極。水激則早兮。矢激則遠。

糾ハ繩ヲ合セタルナリ纏ハ三タヒ合セタル繩ナリ言フハ禍ト福トハ表裏ヲ相爲スコト猶糾纏繩索ノ相附會スルカ如シ命ノ道理ハ猥リニ之ヲ說クヘカラス孰レカ容易ニ其極ヲ知ルモノアラシヤ水ハ物ニ激スレハ則チ其勢去ル疾ク矢ハ風ニ激スレハ則チ其勢去ル遠シ故ニ物事ハ抗抵スル物アレハ反テ其勢ヲ益シ邪寃スル物アレハ反テ其物ノ爲メニナルコトアルナリ

萬物回薄兮。振蕩相轉。雲蒸雨降兮。錯繆相紛。

回薄ハメグリセマルナリ振蕩ハ振ヒ動クナリ言フハ萬物ハ常ニ回轉シテ相廻リ振蕩シ

テ相運リテ皆調子ヲトレリ彼ノ雲雨ノ蒸降スルモ矢張其理ニテ打マヅリカラミアイテ相亂ルトナリ

大專槃物兮。坱圠無垠。

大專ハ即チ大鈞ナリ。大鈞ハ造化ノ神ナリ。陶家ニテ摸下圓轉ナルモノヲ名ケテ鈞ト爲ス其能ク器ノ大小ヲ制スルカ故ニ之ヲ比シ造化ヲ以テ大鈞ト爲スナリ。槃ハ猶播ノ如シ。坱圠ハ涯際ナキナリ。垠ハ限リナリ。言フハ造化ノ神ハ即チ万物ヲ鈞陶シ群形ヲ品授シテ千變万化際涯ナキナリト

天不可與慮兮。道不可與謀。遲數有命兮。惡識其時。

與ハ預ト音ヲ以テ通ス數ハ速ナリ言フハ天ノ事ハ預シメ慮ルヘカラス道ノ事ハ預シメ謀ルヘカラス(天道ハ人謀ノ度ル所ニ非サルヲ謂フナリ)故ニ其遲キト速カナルトノ度ハ皆天命アレハ安クソ其時ヲ識ルヲ得ンヤト

且夫天地爲爐兮。造化爲工。陰陽爲炭兮。萬物爲銅。

爐ハ金物ヲ鑄ル者ナリ且ツ天地ヲ以テ爐ト爲シ造化ヲ以テ工ト爲シ陰陽ノ氣ヲ以テ炭ト爲シ万物ヲ以テ銅ト爲スト此レハ陶冶ヲ以テ造化ニ喩フルナリ。故ニ陰陽ヲ以テ炭ト爲シ万物ヲ以テ銅ト爲スナリ

合散消息兮。安有常則。千變万化兮。未始有極。忽然爲人兮。何足控搏。化爲異物兮。又何足患。

控ハ引クナリ搏ハ取ルナリ控搏ハ玩弄シテ生ヲ愛スルノ意ナリ異物トハ死シテ形化シテ鬼ト爲ルナリ言フハ人ノ生ヤ氣ノ聚ルニテ聚レハ生ト爲リ散スレハ死ト爲ル合散消息安クソ常ノ法則アラシヤ人ハ千變万化シテ未タ始メヨリ極マリアラス故ニ忽然トシテ人ト爲ルトモ何ソ控搏スルニ足ラン又死シテ異物ト爲ルトモ又何ソ患フルニ足ランヤト

小知自私兮。賤彼貴我。通人大觀兮。物無不可。

小才小智ノ人ハ兎角自カラ我カ物トシテ勝手ヲナシタガルナリ故ニ人ヲ輕ンジテ我ヲ貴シトセリ又達人ノ大觀トテ物事ニ通達シタル君子トモ賢者トモ言フヘキ人ハ此世ノ中チ大ニ見做シテ小ナルコトニ目ヲ觸レヌ物事ハ何ニトシテ皆宜シカラヌコトナキナリ

貪夫徇財兮。烈士殉名。夸者死權兮。品庶馮生。

徇ハ身ヲ以テ物ニ從フナリ列ハ烈ト通ス夸ハ誇ト通ス品庶ハ衆庶ナリ馮ハ食ルナリ言フハ貪慾ノ人ハ財ノ爲メニ身命ヲ忘レ壯烈ノ士ハ名ヲ得ル爲メニ身命ヲ忘レ夸毘スル人ハ權利ノ爲メニ死シ衆人ハ唯性命ヲ食リ惜ムノミト

悵迫之徒兮。或趨西東。

悵ハ誠ノ假借ナリ謀ハ利ノ爲メニ誘ハルトナリ迫ハ貧賤ニ迫ルナリ言フハ利ニ誘ハル
者ヤ貧賤ニ迫ルノ徒ハ或ハ西ニ趨リ或ハ東ニ赴ムキテ惑々トシテ止ムナキナリト

大人不曲兮。億變齊同。拘士繫俗兮。擱如囚拘。至人遺物兮。獨

與道俱。衆人或々兮。好惡積意。真人淡漠兮。獨與道息。

大人ハ靈府弘曠ノ人ナリ億ハ料度スルナリ拘士ハ物ニ拘泥スル士ナリ擱ハ拘繫スルナ
リ至人ハ林聖徳ヲ盡シテ美ノ極マル人ヲ言フ或々ハ惑々ト通ス好惡積意トハ好ム所惡
ム所之ヲ積ミテ万億ナルナリ真人ハ精氣日ニ新タニシテ邪氣盡ク去リテ其天年ニ反ル
ノ人ナリ淡漠ハ恬靜ナル貌ナリ言フハ大人ハ物ニ對シテ偏曲ナラス其變ヲ料度シテ之
ヲ齊シフスルノミ拘士ハ世俗ノ事ニ繫カレ引カサレテ其窮屈ナルヲ囚人ノ拘繫セラレ
テ獄ヲ越ヘ出ツルヲ得サルカ如シ至人ハ物事ヲ遺忘シテ終始唯道理道德ト俱ニ離レ
サルナリ衆庶ノ人ハ常ニ迷ヒ惑フテ好惡スル所之ヲ積ミテ万億ナルナリ真人ハ其性恬
靜ニシテ唯道理道德ト俱ニ休息スルナリ

釋知遺形兮。超然自喪。寥廓忽荒兮。與道翱翔。乘流則逝兮。得
抵則止。

超然ハ前ニ出ツル貌ナリ寥廓ハ空虚ナリ忽荒ハ惚恍ト同シ亦空クシテ著クナキナリ翱
翔ハカケリカケルナリ抵ハ水中ノ小洲ナリ言フハ聖ヲ絶チ智ヲ棄テ、其形固ヨリ槁木
ノ如ク超然トシテ衆人ニ超越ヘ我ヲ忘レテ其心死灰ノ如ク唯其心ハ空虚ニシテ常ニ鳥
ノ大空ヲ舞フカ如クニシテ道理道德ト共ニ離ル、トナク流レニ乘スレハ早ク逝キ途中
ニテ抵ヲ得レハ止ム如ク其時其時ノ調子ニテ掛引キテ物事ヲスルナリ

縱軀委命兮。不私與己。其生若浮兮。其死若休。澹乎若深淵之

靜。汜乎若不繫之舟。

與ハ讀テ爲ト爲ス澹乎ハ淡泊ナル貌ナリ汜乎ハ浮漂シテ定マラサル貌ナリ言フハ己レ
ノ身ヲ縱マニシテ天命ニ委ネ任ス敢テ私カニ己レカ爲メノミニセス其生スルヤ水上ニ
浮フカ如ク其死スルヤ動體ノ休フカ如シ澹トシテ其情欲ノ薄キトハ深淵ノ靜ナルカ如
ク汜トシテ其頓着セサルトハ繫カサル舟ノ如シト

不以生故自寶兮。養空而游。德人無累兮。知命不憂。細故懲蒞
兮。何足以疑。

空ハ空性ニテ佛家ニテ言ヘル無念無想ナル所ナリ游ハクラシ居ルトナリ德人ハ上徳ノ
人ニテ道德ヲ心得行フ人ナリ細故ハ細事小事ナリ懲蒞ハ刺鯁ナリ一説ニ滯介ノ義ニテ

トゴカリハサマルコナリト言フハ我カ身生スルノ故ヲ以テ自カラ寶トセス無念無想ノ空性ヲ養フテ暮ラシ居レリ上徳ノ人ハ心中ニ物ノ累ヒナク天命ノ道理ヲ知テ左ノミ心配セス細微ノ事ハ我カ心ニ滯介スルニ足ラス何モ疑フニ及ハサルナリト

後歲餘賈生徵見。孝文帝方受釐。坐宣室。上因感鬼神事。而問鬼神之本。賈生因具道所以然之狀。至夜半文帝前席。既罷。曰。吾久不見賈生。自以爲過之。今不及也。

(釐) 祭餘ノ肉ナリ天地及ヒ五時ヲ祭ルニ皇帝ハ自カラ往テ祠ラズ還テ其福ヲ致スナリ其後一歲餘ヲ過キテ賈生徵サレテ見ユ孝文帝方サニ釐ヲ受ケテ宣室ニ坐セリ文帝偶々鬼神ノ事ニ感スルニ因テ鬼神ノ本ヲ問ヒタリ賈生因テ具サニ其然ル所以ノ狀ヲ言フ夜半ニ至リテ文帝漸ク興ニ入り自カラ席ヲ移シテ之ニ就ケリ既ニ罷メ退ク文帝曰ク吾久シク賈生ヲ見ス自カラ以爲ラク朕之ニ過キタリト今朕實ニ賈生ニ及ハサルナリト

居頃之。拜賈生爲梁懷王太傅。梁懷王文帝之少子。愛而好書。故令賈生傳之。文帝復封淮南厲王子四人皆爲列侯。賈生諫以爲患之興自此起矣。

頃ラクアリテ賈生ヲ官ニ拜シテ梁ノ懷王ノ太傅ト爲ス梁ノ懷王ハ文帝ノ少子ナリ文帝ニ愛セラレテ甚タ書ヲ好ムカ故ニ賈生ヲシテ之ニ傳タラシメタリ文帝復タ淮南厲王ノ子四人ヲ封シテ皆列侯ト爲サントス賈生諫メテ以爲ラク患ノ興ル此レヨリ起ラント

賈生數上疏言諸侯或連數郡。非古之制。可稍削之。文帝不聽。居數年。懷王騎墮馬而死。無後。賈生自傷爲傅無狀。哭泣歲餘亦死。

(上疏) 疏ハ條陳ナリ箇條書ニシテ申シ立ツルナリ (無狀) 善狀ナキナリ行届カヌナリ

賈生數々上疏シテ諸侯或ハ數郡ヲ連ヌルハ古ヘノ制度ニ非ス稍ク之ヲ削ルヘシト言フ文帝之ヲ聽キ納レス數年ヲ過キテ懷王騎乘シテ馬ヨリ墮チ死シテ後嗣ナシ賈生自カラ懷王ノ太傅ト爲リテ善狀ナキヲ傷ミ悲ミ哭泣スルコト一歲餘ニシテ亦遂ニ死セリ

賈生之死時年三十三矣。及孝文崩。孝武皇帝立。舉賈生之孫二人至郡守。而賈嘉最好學。世々其家與余通書。至孝昭時。列爲九卿。

(世々其家)世一字衍文ナリ (九卿)太常、光祿、太僕、衛尉、廷尉、鴻臚、宗正、司農、少府之ヲ九卿ト云フ

賈生ノ死スルヤ時ニ年僅カニ三十三ナリ、孝文帝崩シ、孝武帝立ツニ及ヒテ賈生ノ孫二人ヲ舉ケテ郡守ニ至ラシメタリ而シテ賈嘉トイヘル者最モ學ヲ好ミ世々其家ヲ傳フ常ニ余ト書ヲ通シタリ(余トハ太史公自カラ指スナリ)孝昭帝ノ時ニ至リテ列シテ九卿ノ官ト爲レリ

太史公曰。余讀離騷。天間招魂哀郢。悲其志。適長沙。觀屈原所自沈淵。未嘗不垂涕。想見其爲人。及見賈生用之。又怪屈原以彼其材。游諸侯。何國不容。而自令若是。讀服鳥賦。同死生。輕去就。又爽然自失矣。

(爽然)自失ノ貌ナリ心ヲ取失フコトナリ

余離騷ノ天間招魂哀郢ノ諸篇ヲ讀ミテ其志日月ト光ヲ争フヘクシテ察セラレサルヲ悲ムナリ、余又長沙ニ往テ屈原カ自カラ石ヲ懷キテ沈ミシ所ノ汨羅ノ淵ヲ觀テ未ダ嘗テ涕ヲ垂レテ其人ト爲リテ想ヒ見スンバアラス(蓋シ其死スル所ノ地ニ因テ哀慕ヲ生スルナリ)又賈生カ屈原ヲ弔スルヲ見ルニ及ヒテ甚々怪ムコトアリ、何トナレハ屈原ハ彼ノ其材能ヲ以テ諸侯ノ國ニ游ヘハ何レノ國カ容レ用ヒラレザラン而シテ自カラ身ヲ汨羅ニ投シテ死ヲ遂ケタリ、是レ誠ニ怪ムヘキナリ、後服鳥ノ賦ヲ讀ミテ死ト生トチ一ツニ視テ去ルト就クトチ輕シタルヲ見ルニ及ヒテ又爽然トシテ自失セリト、蓋シ賈生ノ賦ヲ以テ屈原ヲ論ス謂ハユル屈原ヲ論スルハ即チ賈生ヲ論スル所以ナリ、材相似タルヲ以テノミ

呂不韋列傳第二十五

呂不韋者。陽翟大賈人也。往來販賤賣貴。家累千金。

(大賈人)行クヲ商ト曰ヒ處ルヲ賈ト曰フナリ

呂不韋ハ陽翟トイヘル所ノ大賈人ナリ、常ニ諸方ヲ往來シテ賤ク之ヲ買フテ貴ク之ヲ賣リ其掛引ニ巧者ナリシ故ニ家千金ヲ累ヌル程ノ大家トナレリ

秦昭王四十年。太子死。其四十二年。以其次子安國君爲太子。安國君有子二十餘人。安國君有所甚愛姬。立以爲正夫人。號曰華陽夫人。華陽夫人無子。

(正夫人)表向キノ奥方ナリ

秦ノ昭王ノ四十年ニ悼太子死シタリ、其四十二年ニ次子ノ安國君トイヘルヲ以テ太子ト爲シタリ、安國君ハ子甚々多クシテ二十餘人アリ、平生甚々寵愛セラレル所ノ姬アリテ立

テ、正夫人ト爲シ華陽夫人ト號シタリ此ノ華陽夫人トイヘルハ不幸ニシテ子ナシ
安國君中男名子楚。子楚母曰夏姬。母愛子楚爲秦質子於趙。
秦數攻趙。趙不甚禮子楚。

(中男)二十餘人ノ中ゴロノ子ナルヲ以テ中男ト云フ

安國君ノ中男ニ名チ子楚ト曰フ者アリ子楚即チ後ノ莊襄王ナリノ母ハ夏姬ト申シテ甚
タ寵愛ナカリシ子楚秦ノ爲メニ趙ノ國ニ往テ質子トナリシカ、此頃秦數々趙ヲ攻ムルカ
故ニ趙ニ於テハ甚タ子楚ヲ禮遇セサルナリ

子楚。秦諸庶孽孫。質於諸侯。車乘進用不饒。居處困不得意。呂
不韋買邯鄲。見而憐之。曰。此奇貨可居。

(諸庶孽孫)妾腹ノ孫ナルヲ謂フ子楚ハ昭王ノ孫ニ當リテ正夫人ノ子ニ非サルヲ以テ庶
孽孫ト云フナリ (車乘)車馬ノ類ヲ謂フ (進用)進ハ賸ト音相通ス進用ハ即チ財用ナ
リ (奇貨可居)居ハ蓄フルナリ蓄積シテ他日ノ富貴ヲ圖ルベキヲ言フ一説ニ居ハ舉
ト同シ物ヲ買込ムコナリト

子楚ハ秦ノ庶孽ノ孫ニシテ趙ノ國ニ質子ト爲レリ、車乘及ヒ進用甚タ饒カナラス其居處
常ニ困窮シテ己レノ意ヲ得ス此時呂不韋趙ノ邯鄲ニ往テ商賈ノ事ヲ爲セシカ子楚ヲ見

テ竊カニ之ヲ憐ミテ曰ク是レ我カ爲メニ無上ノ奇貨ナリ此ヲ蓄ヘ置キナハ他日必ラス
我カ門ヲ興スヘシト

乃往見子楚。說曰。吾能大子之門。子楚笑曰。且自大君之門。而
乃大吾門。呂不韋曰。子不知也。吾門待子門。而大子楚。心知所
謂。乃引與坐深語。

呂不韋仍テ往テ子楚ヲ見テ之ニ說テ曰ク吾能ク子ノ門ヲ興スヘシ子楚笑テ謂テ曰ク君
先ツ自カラ君ノ門ヲ興シテ而シテ後吾カ門ヲ興セ呂不韋曰ク子ハ其道理ヲ知ラサルナ
リ吾カ門ハ子ノ門ノ興ルヲ待テ而シテ後ニ興ルヘシト子楚心中ニ其謂フ所ノ意ヲ知リ
テ仍テ遂ニ呂不韋ヲ坐敷ニ引キ入レテ共ニ奧底ノ相談ヲ爲セリ

呂不韋曰。秦王老矣。安國君得爲太子。竊聞安國君愛幸華陽
夫人。華陽夫人無子。能立適嗣者。獨華陽夫人耳。今子兄弟二
十餘人。子又居中不甚見幸。久質諸侯。即大王薨。安國君立爲
王。則子無幾得與長子及諸子。且暮在前者。爭爲太子矣。

(適嗣)適ハ嫡ト通ス世嗣ギナリ (幾)子ガフナリ
呂不韋曰ク秦王(昭王)年老ヒタリ安國君立テ太子ト爲ルヲ得タリ吾竊カニ之ヲ聞ケリ安國君甚タ華陽夫人ヲ寵愛セリト華陽夫人不幸ニシテ一子タモナシ然レモ能ク其嫡嗣ヲ定メ立ツル者ハ唯華陽夫人ハカリナリ今子ノ兄弟ハ凡テ二十餘人アリ子ハ又其中ニ居テ甚タ寵愛セラレスシテ久シク趙ノ國ニ質子トナレリ若シ秦王薨シ安國君立テ王位ニ即カハ子ハ殆ント長子及ヒ諸子ノ朝夕安國君ノ前ニ侍坐スル者ト太子タルヲ爭フヲ得ルナカラントス

子楚曰。然爲之奈何。呂不韋曰。子貧客於此。非有以奉獻於親。及結賓客也。不韋雖貧。請以千金爲子西游。事安國君及華陽夫人。立子爲適嗣。子楚乃頓首曰。必如君策。請得分秦國與君共之。

子楚曰ク然リ君ノ言ノ如シ之ヲ爲ス。如何ンセン。呂不韋曰ク子ノ身貧困ニシテ久シク此ノ邯鄲ノ中ニ客ト爲レリ。安國君ノ親類縁者ノ人ニ物ヲ獻上セシ。アルニ非ス。又安國君ノ賓客ト深ク交リテ取結ヒシ。アルニ非ス。我貧困ナリト雖モ。請フ千金ヲ以テ子ノ爲メニ西ノ方秦ノ國ニ游ヒテ能ク安國君及ヒ華陽夫人ニ事ヘ子ヲ立テ。適嗣ト爲スヘシ。

子楚仍テ頓首シテ曰ク必ス君ノ謀策スル所ノ如クナラハ請フ秦ノ國ヲニツニ分ケテ君ト共ニ之ヲ有ツテ得ント

呂不韋乃以五百金與子楚爲進用。結賓客。而復以五百金買奇物玩好。自奉而西游秦。求見華陽夫人。姊而皆以其物獻華陽夫人。因言子楚賢智。結諸侯賓客。徧天下。常曰。楚也以夫人爲天。日夜泣思太子及夫人。夫人大喜。

呂不韋仍テ五百金ヲ以テ子楚ニ送リテ進用トシテ諸賓客ト交リテ取結ハシム。而シテ復々五百金ヲ以テ奇物玩好ノ類ヲ買求メ自カラ之ヲ奉ケテ西ノ方秦ニ游ヒ華陽夫人ノ姊ヲ見ルヲ求メテ其携ヘ來リシ所ノ物ヲ以テ皆華陽夫人ニ獻シ。因テ謂テ曰ク子楚ハ賢智ノ人ナリ。諸侯及ヒ賓客ト交リテ取結ヒテ其交ハル所ノ人ハ實ニ天下ニ徧子クシテ到ル處ニ之レ有リ。又常ニ自カラ楚ハ夫人ヲ以テ天ト爲スト曰ヒテ日夜泣テ太子及ヒ夫人ノ事ヲ慕ヒ思ハサルヲナシト言ヒケレハ夫人大ニ之ヲ喜ヒタリ

不韋因使其姊說夫人曰。吾聞之。以色事人者。色衰愛弛。今夫人事太子。甚愛而無子。不以此時蚤自結於諸子中賢孝者。舉

立以爲適而子之。夫在則重尊。夫百歲之後。所子者爲王。終不失勢。此所謂一言而萬世之利也。不以繁華時樹本。即色衰愛弛後。雖欲開一語。尙可得乎。

呂不韋因テ其姉ヲシテ華陽夫人ニ説カシメテ曰ク吾之ヲ聞ケリ色ヲ以テ人ニ事フル者ハ其面色衰ヘテ愛情弛フト今夫人太子安國君ニ事ヘテ甚々寵愛セラルト雖モ不幸ニシテ一子タモナシ何ソ此ノ時ヲ以テ早ク自カラ太子ノ諸子ノ中ニテ尤モ賢ニシテ且ツ孝行ナル者ト深ク交リテ取結ヒ舉立シテ嫡嗣ト爲シテ之ヲ養ハサルヤ此ノ如クンハ夫人ノ身太子ノ在スノ間ハ重シ尊ハル太子死シテノ後ハ其養フテ子ト爲ス所ノ者立テ王ト爲ラハ夫人ノ身終ニ其勢力ヲ失ハス是レ謂ユル一言ニシテ万世ノ利ヲ得ルト云フ者ナリ夫人今繁華ノ時ヲ以テ其根本ヲ樹立セサレハ面色衰ヘ愛情弛フノ後一語ヲ開カント欲スト雖モ尙何ソ得ヘケンヤ(繁華ノ時云々ハ草木ヲ以テ譬ヘト爲スナリ)

今子楚賢而自知中男也。次不得爲適。其母又不得幸。自附夫人。夫人誠以此時拔以爲適。夫人則竟世有寵於秦矣。

今子楚ハ甚々賢智ニシテ常ニ自カラ己レノ身仲男ナレハ次テ嫡嗣ト爲ルヲ得ラレサルヲ知レリ其母(即チ夏姬)亦太子ノ寵愛ヲ得サルヲ以テ自カラ夫人ニ附ケリ夫人誠ニ此ノ

時ヲ以テ子楚ヲ諸子ノ中ヨリ拔テ嫡嗣ト爲サハ夫人ノ身ハ即チ世ヲ竟フルマテ長ク秦ノ國ニ寵愛セラレヘシト

華陽夫人以爲然。承太子間。從容言子楚質於趙者。絕賢來往者。皆稱譽之。乃因涕泣曰。妾幸得充後宮。不幸無子。願得子楚立以爲適嗣。以託妾身。安國君許之。乃與夫人刻玉符。約以爲適嗣。

(從容)其容止ニ從ヒテ矜莊ナラサルヲ謂フ即チユツタリトスルコトナリ (玉符)玉ヲ以テ之ヲ爲クル文字ヲ篆刻シテ他日相背カサルノ信ト爲スナリ

華陽夫人此言ヲ聞テ然リト爲シ太子ノ闕暇ヲ伺フテ從容トシテ言テ曰ク今趙ノ國ニ質子タル所ノ子楚トイヘルハ甚々賢智ナリ秦趙ヲ往來スル者皆子楚ヲ稱ヘ譽メサルハナシト仍テ涕泣シテ曰ク妾幸ニ君ノ後宮ニ充ラルヲ得テ不幸ニシテ子ナシ願クハ子楚ヲ以テ立テ嫡嗣ト爲シテ妾ノ身ヲ託セント安國君之ヲ許諾シタリ仍テ夫人ト玉符ヲ刻鑲シテ約束ヲ結ンテ子楚ヲ以テ嫡嗣ト爲シタリ

安國君及夫人因厚餽遺子楚。而請呂不韋傅之。子楚以此名譽益盛於諸侯。

安國君及ヒ華陽夫人手厚ク物チ子楚ニ遺クリ且ツ又呂不韋ニ請フテ子楚ノ傳ト爲ラシム子楚此ニ因テ其名譽益ク諸侯ノ間ニ盛ンナリ

呂不韋取_テ邯鄲諸姬絶好善舞者與居知有_ル身子楚從_テ不韋飲見而說之因爲壽請之呂不韋怒念業已破家爲子楚欲以釣奇乃遂献其姬姬自匿有身至大期時生子政子楚遂立姬爲夫人

(餽遺)オクリオクルナリ (身)ハラムナリ解ハ詳ラカニ前ニ見ヘタリ (釣奇)釣ルト

ハ魚チ釣ルチ以テ喻フルナリ奇ハ即チ上文ニ謂ハユル奇貨居クヘシト云フ是レナリ (大期)十月ナリ人ハ十月ニシテ生マル之チ大期ト云フ史記ノ註ニ云ク大期ハ十二月ナリ人ハ十月ニシテ生マル今二月チ過クルチ以テ大期ト云フ其常期ニ踰フルチ言フナリト此說非ナリ

呂不韋此時趙ノ邯鄲ノ諸姬ノ中ニテ其姿容ノ絶美ニシテ又善ク舞フ者チ取テ妾ト爲シテ俱ニ住居セシカ其妾イツシカ妊娠シタリ子楚嘗テ呂不韋ノ家ニ往テ宴飲セシ時彼ノ美姬チ見テ甚々之チ悦ヒ因テ起テ壽チ爲シテ之チ得ンコトチ請フ呂不韋之チ聞テ一旦ハ大ニ怒リシカ自カラ念フニ己レ既ニ家産チ破滅シテ子楚ノ爲メニ奇チ釣ラント欲ス(奇

ハ即チ上文ニ謂ハユル奇貨居クヘシト云フ是レナリ)仍テ遂ニ其美姬チ以テ子楚ニ献シタリ美姬自カラ妊娠セシコトチ匿クス大期ノ時ニ至リテ子政チ生メリ子楚因テ遂ニ美姬チ立テト夫人ト爲シタリ(子政ハ即チ後ノ始皇帝ナリ)

秦昭王五十年使王齮圍邯鄲急趙欲殺子楚子楚與呂不韋謀行金六百斤予守者吏得脱亡赴秦軍遂以得歸趙欲殺子楚妻子子楚夫人趙豪家女也得匿以故母子竟得活

秦ノ昭王ノ五十年王齮チシテ趙ノ邯鄲チ取圍マシム邯鄲甚々急ナリ趙因テ怒リテ秦ノ質子子楚チ殺サント欲ス子楚呂不韋ト共ニ謀リ金六百斤チ以テ己レ等チ看守スル所ノ吏ニ與ヘテ脱レ亡ケテ秦ノ軍ニ赴クチ得テ遂ニ秦ニ歸ルチ得タリ趙又子楚ノ妻子チ殺サント欲ス(即チ呂不韋カ献スル所ノ美姬ト子政ナリ)子楚ノ夫人ハ趙ノ邯鄲ノ豪家ノ女ナリ此時幸ニ匿ルコトチ得タルカ故ニ母子共ニ免カレテ性命チ全フスルチ得タリ

秦昭王五十六年薨太子安國君立爲王華陽夫人爲王后子楚爲太子趙亦奉子楚夫人及子政歸秦秦王立一年薨諡爲孝文王太子子楚代立是爲莊襄王

秦ノ昭王五十六年ニ薨シ玉ヒ太子安國君立テ王ト爲ル仍テ華陽夫人ヲ以テ王后ト爲シ
 子楚ヲ以テ太子ト爲シタリ趙モ亦子楚ノ夫人及ヒ子政ヲ奉ケテ秦ニ歸ヘシタリ秦王立
 テ一年ニシテ薨シ玉フ諡シテ孝文王ト爲ス太子子楚代リ立ツ之ヲ莊襄王ト爲シタリ
 莊襄王所養母華陽后爲華陽太后眞母夏姬尊以爲夏太后
 莊襄王元年以呂不韋爲丞相封爲文信侯食河南洛陽十萬
 戶

(眞母)已レチ生ム所ノ母ナルヲ言フ

莊襄王カ養母ノ華陽后ヲ號シテ華陽太后ト爲シ眞母ノ夏姬ヲ尊ヒテ夏太后ト爲シタリ
 莊襄王元年呂不韋ヲ以テ丞相ト爲シ封シテ文信侯ト爲シテ河南洛陽ノ十萬戶ヲ食マシ
 メタリ

莊襄王即位三年薨太子政立爲王尊呂不韋爲相國號稱仲
 父秦王年少太后時々竊私通呂不韋

(仲父)仲ハ中ナリ父ニ次クヲ謂フ蓋シ齊ノ桓公カ管仲ヲ以テ仲父ト爲スニ效ヘルナリ
 莊襄王ハ位ニ即テヨリ三年ヲ過キテ薨シ玉フ太子政立テ王ト爲レリ呂不韋ヲ尊ヒテ相
 國ト爲シ號シテ仲父ト稱シタリ秦王年猶少シ太后時々竊カニ私カニ呂不韋ト姦通シテ

樂ミ居タリ是レ最初呂不韋ノ妾タルヲ以テナリ

不韋家僮萬人當是時魏有信陵君楚有春申君趙有平原君
 齊有孟嘗君皆下士喜賓客以相傾呂不韋以秦之彊羞不如
 亦招致士厚遇之至食客三千人

(家僮)婢妾ノ總稱ナリ一説ニ僮ハ未タ冠セサルノ稱十三四歳ノ小童ナリト

呂不韋ハ其家ニ役使スル所ノ家僮萬人アリ是時ニ當リテ魏ニハ信陵君アリ楚ニハ春申
 君アリ趙ニハ平原君アリ齊ニハ孟嘗君アリテ皆天下ノ士ニ下リ賓客ヲ喜ミテ相傾ケタ
 リ呂不韋秦ノ強キヲ以テ此等ノ人ニ若カサルヲ羞チテ亦天下ノ士ヲ招キ致シテ手厚ク
 之ヲ待遇シ食客三千人ニ至リタリ

是時諸侯多辯士如荀卿之徒著書布天下呂不韋乃使其客
 人々著所聞集論以爲八覽六論十二紀二十餘萬言以爲備
 天地萬物古今之事號曰呂氏春秋布咸陽市門懸千金其上
 延諸侯游士賓客有能增損一字者予千金

(八覽)有始孝行、慎大、先識、審分、審應、離俗、時君ナリ (六論)開養、慎行、貴直、不苟、以順士容ナリ

(十二紀)十二月ヲ紀スルナリ (二十餘方言)一字ヲ一言ト曰フ 是時諸侯ノ國ニ辨士甚々多ク、荀卿ノ輩ハ書物ヲ著述シテ天下ニ播布セリ、呂不韋仍テ其賓客ヲシテ人々互ニ聞見スル所ヲ著ハシ集メ論シテ八覽六論十二紀ノ二十餘万字三十餘卷ヲ作りテ以テ天地間ノ万物及ヒ古今ノ事ヲ具備シ網羅シテ遺ス所ナシト爲ス之ヲ號シテ呂氏春秋ト曰ヒタリ仍テ之ヲ咸陽ノ市門ノ上ニ陳列シ千金ヲ其上ニ懸ケ諸侯ノ國ヨリ來リシ游士賓客ヲ延キ入レテ曰ク能ク一字ヲ增損スル者アレハ千金ヲ與ヘント

始皇帝益壯。太后淫不止。呂不韋恐覺禍及已。乃私求大陰人

嫪毐以爲舍人。時縱倡樂使毒以其陰關桐輪而行。令太后聞

之以啗太后。太后聞果欲私得之。呂不韋乃進嫪毐詐令人以

腐罪告之。

(大陰人)男子ノ勢ヲ陰ト曰フ (倡樂)優倡ノ雜劇ナリ (關桐輪)關ハ猶通スト云フ

カ如シ陰ヲ輪中ニ通シテ其大ナルヲ表シ雜劇ニ寄テ之ヲ爲スナリ (以腐罪告之)腐

罪ハ宮刑ヲ謂フ宮刑ハ其勢ヲ割キ去ルナリ腐罪ヲ以テ之ニ告クトハ嫪毐ニ告クル所ノ罪腐刑ニ當スルヲ謂フナリ

始皇帝益壯ナルニ至レヒ太后ノ淫欲猶止マズ呂不韋己レノ私通ノ事ノ覺ハレテ其禍ノ已レニ及ハンコトヲ恐レ仍テ私カニ大陰ノ人嫪毐トイヘルヲ求メテ舍人ト爲シタリ時ニ倡樂ヲ縱チ嫪毐ヲシテ其陰ヲ以テ桐木ニテ作りタル小車ノ輪ニ通シテ行カシメ太后ヲシテ其音ヲ聞カシメテ之ヲ啗ハシタリ太后素ヨリ淫欲ノ盛シナル人ナレハ其音ヲ聞テ果シテ私カニ嫪毐ヲ得ント欲ス呂不韋仍テ嫪毐ヲ太后ニ進メ詐リテ人ヲシテ嫪毐ニ告クルニ其罪腐刑ニ當スルヲ以テシタリ

不韋又陰謂太后曰。可事詐腐則得給事中。太后乃陰厚賜主

腐者吏詐論之。拔其鬚眉爲宦者。遂得侍太后。太后私與通絕

愛之。有身。

(事詐腐)事トハ告クル所ノ罪ヲ謂フ (宦者)即チ宮刑ニ行ヒテ中ニ給事スル者ナリ

呂不韋又陰カニ太后ニ謂テ曰ク其罪ヲ以テ腐刑ト詐ラハ宮中ニ給事セシムルヲ得ヘシト太后仍テ陰カニ手厚ク物ヲ腐刑ヲ主トル所ノ吏ニ賜ヒテ詐リテ其罪ヲ論シ嫪毐ノ鬚眉ヲ抜キテ宦者ト爲シ遂ニ太后ニ侍スルヲ得セシム太后私カニ嫪毐ト通シ甚々之ヲ寵愛シテ遂ニ爲メニ姪娘セラレタリ

太后恐人知之。詐卜當避時徙宮居雍。嫪毐常從。賞賜甚厚。事

皆決於嫪毐。嫪毐家僮數千人。諸客求宦爲嫪毐舍人千餘人。

太后他人カ己レノ姪娘セルヲ知ラシテ恐レテ詐リテトシテ曰ク當サニ暫ラク時ヲ避ケ宮ヲ徙シテ雍城ニ居ルヘシト遂ニ爰ニ移リ居レリ嫪毐常ニ太后ニ從ヒ往キテ賞賜ヲ得ルヲ甚タ厚ク宮中ノ事ハ皆嫪毐ノ手ニテ斷シタリ嫪毐ノ家僮數千人アリ諸賓客皆仕官セシメテ求メテ嫪毐ノ舍人ト爲ルモノ千餘人アリタリ

始皇七年。莊襄王母夏太后薨。孝文王后曰華陽太后。與孝文王會葬壽陵。夏太后子莊襄王葬芷陽。故夏太后獨別葬杜東。曰東望吾子。西望吾夫。後百年。旁當有萬家邑。

始皇帝ノ七年莊襄王ノ母夏太后薨ス孝文王ノ后ヲ華陽太后ト曰フ華陽太后ト孝文王トハ共ニ壽陵ニ會葬セリ夏太后ノ子莊襄王ハ芷陽ニ葬レリ舊トノ夏太后ハ獨リ別ニ杜原ノ東ニ葬リタリ夏太后ハ孝文王ノ妾ニシテ莊襄王ノ生母ナリ華陽太后孝文王ト會葬セル故ニ別ニ葬レルナリ曰ク吾東ノ方吾カ子ヲ望ミ西ノ方吾カ夫ヲ望マン後百年ヲ過キハ旁ラニ當サニ萬家ノ大邑アルヘシト(索隱曰ク漢ノ宣帝ノ元康元年ニ杜陵トイヘルヲ起ス漢ノ舊儀ニ武帝昭帝宣帝ノ三陵ハ皆三萬戸アリ計ルニ此ヲ去ルヲ一百六十餘年ナリト)

始皇九年。有告嫪毐實非宦者。常與太后私亂。生子二人。皆匿之。與太后謀曰。王即薨。以子爲後。於是秦王下吏治。具得情實。事連相國呂不韋。

始皇帝ノ九年ニ嫪毐ノ事ヲ以テ告グル者アリテ曰ク嫪毐ハ實ハ宦者ニ非ス常ニ太后ト私カニ通シテ子二人ヲ生ミ皆之ヲ匿シタリ仍テ太后ト陰カニ謀リテ秦王若シ薨セハ其子ヲ以テ後ト爲サント言ヘリト告ク是ニ於テ秦王大ニ怒リ嫪毐ヲ吏ニ下シテ其罪ヲ糾シ具サニ情實ヲ得タリ而ルニ其事相國呂不韋ニカヘリ合セタリ

九月。夷嫪毐三族。殺太后所生兩子。而遂遷太后於雍。諸嫪毐舍人皆沒其家。而遷之蜀。王欲誅相國。爲其奉先王功大。及賓客辯士爲游說者衆。王不忍致法。

(夷)平ラケ滅スナリ盡ク其一族ヲ誅滅スルヲ謂フ
九月嫪毐ノ三族ヲ夷ケ滅シ又太后カ生ム所ノ二人ノ子ヲ殺シテ遂ニ太后ヲ雍城ニ遷シタリ嫪毐ノ舍人等ハ皆其家生資物ヲ沒入シテ其人口ハ悉ク之ヲ蜀ニ遷シタリ秦王又相國呂不韋ヲ誅セント欲シタレ其先王ニ奉スル所ノ功最モ大ニシテ及ヒ賓客辯士

ノ之レカ爲メニ游説スル者甚々多キヲ以テ秦王呂不韋ヲ法ニ行フニ忍ヒサルナリ
秦王十年十月。免相國呂不韋。及齊人茅焦説秦王。秦王乃迎
太后於雍。歸復咸陽。而出文信侯就國河南。

秦王ノ十年十月ニ相國呂不韋ノ官ヲ免シタリ其後齊人茅焦トイヘルカ秦王ニ説テ太后
ヲ遷スノ不可ナルヲ諫ムルニ及ヒ秦王太后ヲ雍城ヨリ迎ヘテ咸陽ニ歸ヘシ文信侯呂不
韋ヲ出シテ河南ノ地ニ往カシメタリ(茅焦カ太后ヲ遷スノ不可ナルヲ諫ムルハ始皇本紀
ニ見ヘタリ)

歲餘。諸侯賓客使者相望於道。請文信侯。秦王恐其爲變。乃賜
文信侯書曰。君何功於秦。秦封君河南。食十萬戶。君何親於秦。
號稱仲父。其與家屬徙處蜀。呂不韋自度稍侵。恐誅。乃飲酖而
死。

(稍侵恐誅)先ツ蜀ニ徙シ之ニ次クニ誅ヲ以テスルヲ謂フ (酖) 鳩ト通ス鳩ハ鳥ノ名ナ
リ其羽毒アリ酒ニ入レテ之ヲ飲マシメハ立トコロニ死ス
一歲餘ヲ過キテ諸侯ノ賓客及ヒ使者道上ニ前後相望ミ文信侯ニ謁シテ已レノ國ニ至ラ

シテ請フ秦王其非常ノ事アラントテ恐レテ文信侯ニ書ヲ賜フテ曰ク君秦ニ何ノ功ア
リテ秦君ヲ河南ニ封シテ十萬戶ニ食マシムル君又秦ニ何ノ親アリテ號シテ仲父ト稱ス
ル君其レ家屬ト共ニ徙リテ蜀ニ處レト呂不韋自カラ料ルニ恐ラクハ先ツ蜀ニ徙シ尋テ
罪ヲ以テ誅セラレント仍テ自カラ酖ヲ飲ミテ死ヲ遂ケタリ

秦王所加怒呂不韋。嫪毐皆已死。乃皆復歸嫪毐舍人遷蜀者。

始皇十九年。太后薨。謚爲帝太后。與莊襄王會葬茈陽。

秦王怒リテ加フル所ノ呂不韋及ヒ嫪毐ノ二人皆既ニ死シタリ仍テ皆嫪毐ノ舍人等ノ蜀
ニ遷リ居ル所ノ者ヲ復歸シタリ始皇ノ十九年ニ太后薨ス謚シテ帝太后ト爲ス莊襄王ト
會葬ニ會葬シタリ

太史公曰。不韋及嫪毐貴封。號文信侯。人之告嫪毐。毐聞之。秦
王驗左右。未發。上之雍郊。毐恐禍起。乃與黨謀。矯太后璽。發卒
以反。斬年宮。發吏攻毐。毐敗亡走。追斬之好時。遂滅其宗。而呂
不韋由此絀矣。孔子之所謂聞者。其呂子乎。

(璽) 天子ノ印ナリ (絀) 風ト通ス (聞) 論語ニ曰ク夫レ聞ナル者ハ色仁ヲ取テ行違フ

之ニ居テ疑ハス邦ニ在テ必ス聞ヘ家ニ在テ必ス聞ユト聞ハ即チ倭人ノ爲ス所ナリ
 呂不韋及ヒ嫪毐ノ二人ハ其身皆貴ヒ封セラレテ文信侯ト號シタリ(案隱曰ク文信侯トイ
 ヘルハ呂不韋ノ封ナリ嫪毐ハ長信侯ニ封セラル上文既ニ不韋ノ封セラルトナ言フ此贊
 中ニハ嫪毐ノ寵貴ヲ得ルハ不韋ニ由ルチ言フノミ、マサニ長信侯ニ作ルヘシト)人ノ嫪毐
 カ太后ト密通スル事ヲ告クルヤ嫪毐之ヲ聞キ知レリ秦王先ツ左右ノ人ヲ驗問シテ事未
 タ發セス此時適マ雍ニ往テ郊祭ヲ爲セリ嫪毐其禍ノ起ルチ恐レ仍テ己レノ黨ト相謀リ
 テ太后ノ璽ヲ矯ハリ兵卒ヲ發シテ蕪年宮ニ謀反シタリ秦王仍テ吏ヲ發シテ嫪毐ヲ攻ム
 嫪毐大ニ敗レテ亡ケ走ル吏之ヲ追フテ好時トイヘル所ニテ其首ヲ斬リ遂ニ嫪毐ノ宗族
 ナ夷ラケ滅セリ呂不韋ノ身此ニ由リテ屈シタリ論語ニ曰ク夫レ聞ナル者ハ色仁ヲ取テ
 行違フ之ニ居テ疑ハス邦ニ在テ必ス聞ヘ家ニ在テ必ス聞ユト聞ハ即チ倭人ノ爲ス所ニ
 テミセカケヨキ僞君子ナリ、呂不韋ノ所爲ハ此聞ナル者ニテ即チ倭人ノ所爲ニ近シトナ
 リ

刺客列傳第二十六

曹沫者魯人也。以勇力事魯莊公。莊公好力。曹沫爲魯將。與齊
 戰。三敗北。魯莊公懼。乃獻遂邑之地。以和。猶復以爲將。

曹沫ハ魯ノ人ナリ勇力アルヲ以テ魯ノ莊公ニ事ヘタリシカ莊公モ亦甚タ力ヲ好ミタリ

曹沫魯ノ將ト爲リ齊ノ國ト三タヒ戰ヒテ敗北ス莊公大ニ懼レ仍テ遂邑ノ土地ヲ齊ニ獻シ
 テ講和セリ莊公之ニ懲リス猶復タ曹沫ヲ以テ將ト爲シタリ、蓋シ曹沫ノ力量アルチ知レハナリ

齊桓公許與魯會于柯而盟。桓公與莊公既盟於壇上。曹沫執
 匕首劫齊桓公。桓公左右莫敢動。而問曰。子將何欲。曹沫曰。齊
 強魯弱。而大國侵魯。亦以甚矣。今魯城壞。即壓齊境。君其圖之。

(壇)土ヲ封シテ之ヲ爲ルナリ國君ノ朝會スルニ之ヲ用ユ (以甚)以ハ已ト通ス亦甚タ
 ナリ

齊ノ桓公魯ノ講和ヲ許シテ魯ト柯トイヘル所ニ於テ會合シテ盟ヲ爲セリ桓公莊公ト既
 ニ壇上ニ盟フ此時曹沫匕首ヲ執リ壇上ニ登リテ齊ノ桓公ヲ劫カス桓公ノ左右ノ人敢テ
 動クナシ桓公問テ曰ク子何チカ欲シテ此舉動ニ及ヘル曹沫曰ク齊ハ強クシテ魯ハ弱シ
 大國魯ヲ侵シ伐ツ亦甚タシト謂フヘシ今魯ノ城大ニ壞レ齊ノ境ノ爲ニ壓サル君其レ之
 チ圖レト

桓公乃許盡歸魯之侵地。既已言。曹沫投其匕首。下壇北面就
 群臣之位。顏色不變。辭令如故。桓公怒。欲倍其約。管仲曰。不可。

夫貪レ小利ヲ以自快ヲ棄信於諸侯失天下之援不如與之。

(辭令)言詞命令ナリ

桓公仍テ曹沫ノ請ヒテ許シテ盡ク侵シ取リタル魯ノ地ヲ歸ヘシテ既ニ其約束ヲ爲ス曹沫直チニ其ヒ首ヲ擲チ墮ナ下リテ北面シテ群臣ノ位ニ就キ顔色變セス辭令舊ノ如シ桓公大ニ怒テ其約束ニ背カント欲ス管仲曰ク此レ甚タ不可ナリ夫レ小利ヲ貪リテ自カラ快シトシ信義ヲ諸侯ニ棄テ、天下ノ援ケヲ失フハ是レ甚タ不可ナリ之ヲ與フルニ如カスト

於是桓公乃遂割魯侵地曹沫三戰所亡地盡復予魯其後百六十有七年而吳有專諸之事。

桓公仍テ遂ニ魯ニ侵地ヲ割キ與ヘタリ曹沫前ニ三タヒ戰フテ亡ヒシ所ノ土地盡ク復タ魯ニ歸リタリ其後百六十七年ヲ過キテ吳ニ專諸ノ事アリタリ

專諸者吳堂邑人也伍子胥之亡楚而如吳也知專諸之能伍子胥既見吳王僚說以伐楚之利吳公子光曰彼伍員父兄皆死於楚而員言伐楚欲自爲報私讎也非能爲吳吳王乃止。

專諸ハ吳ノ堂邑トイヘル所ノ人ナリ伍子胥カ楚ヲ亡ケテ吳ニ往クヤ專諸ノ頗ル材能アル人ナルコト知レリ伍子胥既ニ吳王僚ニ見ヘテ楚ヲ伐ツノ利ナルヲ以テ之ニ説ケリ吳ノ公子光曰ク彼ノ伍員ノ父兄ハ皆楚ノ爲メニ殺サレタリ故ニ今伍員カ楚ヲ伐テト言フハ自ガラ爲メニ私讎ヲ報セント欲スルナリ能ク吳ノ爲メニスルニ非スト吳王僚仍テ楚ヲ伐ツコト止メタリ

伍子胥知公子光之欲殺吳王僚乃曰彼光將有內志未可說以外事乃進專諸於公子光。

(內志)君ヲ弑スルノ志ヲ言フ (外事)楚ヲ伐ツノ事ヲ言フ

伍子胥竊カニ公子光カ吳王僚ヲ殺サント欲スルノ志アルヲ知リテ謂テ曰ク彼ノ公子光ハ將サニ君ヲ弑セントスルノ志アラントス未タ楚ヲ伐ツノ事ヲ以テ説クヘカラスト仍テ專諸ヲ公子光ニ進メタリ

光之父曰吳王諸樊諸樊弟三人次日餘祭次日夷昧次日季子札諸樊知季子札賢而不立太子以次傳三弟欲卒致國于季子札諸樊既死傳餘祭餘祭死傳夷昧夷昧死當傳季子札。

季子札逃不肯立。吳人乃立夷昧之子僚爲王。

公子光ノ父ハ吳王諸樊ト曰ヒタリ諸樊ノ弟三人アリ次チ餘祭ト曰ヒ次チ夷昧ト曰ヒ次チ季子札ト曰ヒタリ諸樊季子札カ賢ナルヲ知テ太子ヲ立テス次チ以テ三人ノ弟ニ傳ヘ終ニ國ヲ以テ末弟ノ季子札ニ渡サント欲ス諸樊既ニ死シテ弟餘祭ニ傳フ餘祭死シテ其弟夷昧ニ傳フ夷昧死シテ當サニ季子札ニ傳フヘシ而ルニ季子札逃レテ立ツヲ肯ンセズ吳人仍テ夷昧ノ子僚ヲ立テ、王ト爲シタリ

公子光曰。使以兄弟次邪。季子當立。必以子乎。則光真適嗣。當立。故嘗陰養謀臣以求立。光既得專諸。善客待之。

公子光曰ク兄弟ノ次ヲ以テセシメハ季子札當サニ立テ王ト爲ルヘシ若シ必ラス子ヲ以テセハ我ハ眞ノ嫡嗣ナレハ當サニ立テ王ト爲ルヘシト故ニ嘗テ陰カニ謀臣ヲ養ヒテ立ツヲ求ム公子光既ニ專諸ヲ得テ大ニ喜ヒ善ク之ヲ待遇シタリ

九年而楚平王死。春。吳王僚欲因楚喪。使其二弟公子蓋餘、庸將兵圍楚之潛。使延陵季子於晉。以觀諸侯之變。楚發兵絕吳將蓋餘屬庸路。吳兵不得還。

九年ヲ過キテ楚ノ平王死ス春吳王僚楚ノ喪アルニ附入りテ之ヲ伐タント欲ス其二弟ノ

公子蓋餘公子庸將ヲシテ兵ニ將トシテ楚ノ潛トイヘル所ヲ取圍マシメタリ又延陵ノ季子札ヲ晋ノ國ニ使ハシテ諸侯ノ強弱ヲ察セシム楚兵ヲ發シテ吳ノ將蓋餘庸將二人ノ路ヲ絶チタレハ吳ノ兵遂ニ本國ニ還ルヲ得ス

於是公子光謂專諸曰。此時不可失。不求何獲。且光真王嗣。當立。季子雖來。不吾廢也。專諸曰。王僚可殺也。母老子弱。而兩弟將兵伐楚。楚絕其後。方今吳外困於楚。而內空。無骨鯁之臣。是無如我何。公子光頓首曰。光之身。子之身也。

(此時)時トハ王ヲ殺スヘキノ時ナルヲ言フ (骨鯁之臣) 警諍ヲ以テ骨鯁ト爲ス直言ノ受ケ難キヲ魚骨ノ咽中ニ拂ルカ如キヲ言フナリ

公子光專諸ニ謂テ曰ク此ノ時貴重ナリ失フヘカラス今ニシテ我カ願ヒテ求メサレハ何ノ時ニカ獲ヘキ且ツ我ハ眞ノ王嗣ナリ當サニ立テ王ト爲ルヘシ我之ヲ求メント欲ス季子札歸ルト雖モ敢テ吾ヲ廢セサルナリ專諸曰ク王僚ハ容易ニ殺スヲ得ヘシ今其母ハ年老ヒテ子ハ猶弱シ其援助ト爲ルモノ甚タ少シ且ツ兩弟ノ蓋餘庸將兵ニ將トシテ楚ヲ伐チシニ楚兵ヲ發シテ其後ヲ絶チタリ方今吳ハ外ハ楚ノ爲メニ困シミ内ハ空虚ニシテ骨鯁ノ臣ナシ是レ我ヲ如何トモスルナシ公子光頓首シテ曰ク光ノ身ハ猶汝ノ身ノ如キ

ナリト
 四月丙子。光伏甲士於窟室中。而具酒請王僚。王僚使兵陳自宮至光之家。門戶階陞左右。皆王僚之親戚也。夾立侍。皆持長鉞。

(窟室)地ヲ掘テ室ヲ作り入チシテ知ラサラシムルナリ。(長鉞)鉞ハ兩刃ノ刀ナリ
 四月丙子ノ日公子光甲冑ヲ着ケタル士ヲ窟室ノ中ニ伏セ置キ酒ヲ備ヘテ王僚ヲ請待セリ王僚兵卒ヲシテ陳列セシメ王宮ヨリ公子光ノ家ニ至ルノ間ハ門戶階陞ヲ守ル者ヨリ左右ノ人ニ至ルマテ皆王僚ノ親戚ナリ此等ノ人挾ミ立チテ王ノ側ニ侍シ皆手ニ長鉞ヲ持チタリ

酒既酣。公子光詳爲足疾。入窟室中。使專諸置匕首魚炙之腹中而進之。

酒既ニ酣ナル時ニ公子光伴ハリテ足疾起ルト稱シテ窟室ノ中ニ入りタリ是レ公子光雖作リテ王ノ黨ノ已レテ殺サンコトヲ恐レテ之ヲ避クルナリ仍テ專諸ヲシテ匕首炙リタル魚ノ腹中ニ匿クシテ之ヲ王僚ニ進メシメタリ

既至王前。專諸擊魚。因以匕首刺王僚。王僚立死。左右亦殺專

諸。王人擾亂。公子光出其伏甲以攻王僚之徒。盡滅之。遂自立爲王。是爲闔閭。闔閭乃封專諸之子以爲上卿。其後七十餘年而晉有豫讓之事。

(擊)分ツナリ即チ魚ヲサクナ言フ (擾亂)カキミダレミダレナリ
 專諸既ニ進ミ王僚ノ前ニ至リテ魚ヲ擊キ因テ匕首ヲ取テ直チニ王僚ヲ刺ス王僚立トコロニ斃レタリ王僚ノ左右ノ人皆怒リテ專諸ヲ殺ス王ノ黨大ニ擾亂シタリ公子光其伏セタル甲士ヲ出シテ王僚ノ徒ヲ攻メシメテ悉ク之ヲ打滅シ仍テ自立シテ王ト爲レリ之ヲ闔閭ト爲ス闔閭專諸カ既ニ殺サレタルヲ以テ仍テ專諸ノ子ヲ封シテ上卿ト爲セリ其後七十餘年ヲ過キテ晉ノ國ニ豫讓ノ事アリタリ

豫讓者。晉人也。故嘗事范中行氏。而無所知名。去而事智伯。智伯甚尊寵之。

(范中行氏)范氏ハ范昭子吉射ヲ謂フ中行氏ハ中行文子荀寅ナリ范氏中行氏ハ趙氏ト相惡シ故ニ多ク之ヲ合セ言フ
 豫讓ハ晉ノ人ナリ舊ト嘗テ范氏ト中行氏トニ事ヘタリシカ甚々其名ヲ知ラレサルナリ仍テ去テ智伯ニ事ヘタリ智伯甚々豫讓ヲ尊敬シテ寵愛セリ

及智伯伐趙襄子。趙襄子與韓魏合謀滅智伯。滅智伯之後而三分其地。趙襄子最怨智伯。漆其頭以爲飲器。

(飲器) 一説ニ椀楹ナリト椀楹ハ酒ヲ盛ルノ器ナリ一説ニ虎子ナリト虎子ハ饗器ナリ案スルニ字義ヲ以テ之ヲ言ヘハ酒器ト爲スヘキニ似タリ事理ヲ以テ之ヲ言ヘハ洩器ト爲スヘキニ似タリ故ニ兩説ヲ存スルノミ

智伯カ趙襄子ヲ伐ツニ及ヒテ趙襄子韓氏魏氏ト共ニ謀ヲ合セテ智伯ヲ打滅シ仍テ智伯ノ後ヲ滅シテ其地ヲ三分シテ各々之ヲ有シタリ最初智伯趙襄子ノ晋陽城ヲ攻メテ水ヲ以テ之ニ灌キ城没セサル者三板是ヲ以テ趙襄子最モ智伯ヲ怨ミ智伯ノ頭ニ漆ヲ塗リテ飲器ト爲シ深ク智伯ヲ怨ミテ之ヲ辱シメタリ

豫讓遁逃山中曰嗟乎士爲知己者死女爲說己者容今智伯知我我必爲報讎而死以報智伯則吾魂魄不愧矣

豫讓智伯カ滅サレタル爲メニ山中ニ亡ケ逃レテ曰クア、士タル者ハ己レヲ知ル者ノ爲メニ命ヲ棄テ女タル者ハ己レヲ悦ブ者ノ爲メニ其容色ヲ修ムルナリ(此レ上ノ句主ニシテ下ノ句ハ客ナリ)今智伯ハ我ヲ知ル者ナリ我必ラス智伯ノ爲メニ仇ヲ報ヒテ命ヲ棄テ以テ智伯ニ報ヒハ吾カ魂魄愧チサルナリト

乃變名姓爲刑人入宮塗廁中挾七首欲以刺襄子。襄子如廁心動執問塗廁之刑人則豫讓內持刀兵曰欲爲智伯報仇。左右欲誅之。襄子曰彼義人也吾謹避之耳。且智伯亡無後而其臣欲爲報仇此天下之賢人也。卒釋去之。

(廁) 便所ナリ (心動) ムネサハギスルコトナリ

豫讓仍テ姓名ヲ變シ詐リテ處刑ヲ受ケタル人ト爲リ王宮ニ入りテ廁ノ壁ヲ塗リ常ニ懷ニヒ首ヲ挾ミテ趙襄子ノ身ヲ伺ヒ之ヲ刺シ殺サント欲ス一日趙襄子廁ニ往キシカ甚クシクムネサハギセシ故ニ廁中ヲ塗ル所ノ刑人ヲ執ヘテ之ヲ問ヘハ則チ豫讓ナリ豫讓懷中ニ刀兵即チヒ首ヲ持シテ曰ク智伯ノ爲メニ仇ヲ報セント欲スルナリト趙襄子ノ左右ノ人豫讓ヲ殺サント欲ス趙襄子之ヲ止メテ曰ク彼レハ義ヲ守ルノ人ナリ吾カ方ニテ謹テ之ヲ避ケンノミ且ツ智伯ハ亡ヒテ後ナシ而ルニ其臣智伯ノ爲メニ仇ヲ報セント欲ス此レ天下ノ賢人ト言フヘント終ニ釋シテ豫讓ヲ去ラシメタリ

居頃之豫讓又漆身爲厲吞炭爲啞使形狀不可知行乞於市其妻不識也。行見其友其友識之曰汝非豫讓邪曰我是也。其

友爲泣曰。以子之才。委質而臣事襄子。襄子必近幸子。近幸子。乃爲所欲。顧不易邪。何乃殘身苦形。欲以求報。襄子不亦難乎。

(漆身爲厲) 厲ハ癩ト聲近キナ以テ假借ス漆ハ毒アルヲ以テ之ニ近ツケハ瘡腫ヲ患ヘテ癩病ノ如シ故ニ豫讓漆ヲ以テ身ニ塗リテ癩ノ如クナラシムルノミ (吞炭爲啞)

啞ハ瘡病ナリ炭ヲ吞テ其音ヲ變スルナリ一説ニ嶺南ノ地ニ石炭ノ如キ者ヲ生ス之ヲ吞メハ音聲ヲ變スト云フ即チ此物ヲ指スナリ必ラス日用ノ炭ヲ指スニ非サルナリト

(委質) 委ハ致スナリ質ハ贄ト通ス古ヘノ仕フル者ハ必ラス贄ヲ致シテ信ト爲ス其解前ニ見ヘタリ (爲所欲) 欲スル所トハ趙襄子ヲ殺スヲ謂フ (顧不易邪) 顧ハ反ナリ念

フト爲シテ解スルモ亦通ス易カラサトハ其易スキヲ謂フナリ

頃ラクアリテ豫讓又其身ニ漆ヲ塗リテ癩病ト爲リ炭ヲ吞ミテ瘡啞ト爲リ己ノ形狀ヲシテ人ニ知ルヘカラサラシム仍テ自ラ市中ニ行テ乞人ト爲リテ物ヲ乞ヒタリ其妻途ニテ

行キ逢ヒタレモ其豫讓ナルヲ心付カサルナリ豫讓又行テ其友人ヲ見ル友人ノ心付テ曰ク汝ハ豫讓ニ非ス豫讓曰ク然リ我ハ是レナリト友人爲メニ泣テ曰ク子ノ才能ヲ

以テ質ヲ委致シテ趙襄子ニ臣ト爲リテ事ヘハ趙襄子必ラス子ヲ近ツケテ寵愛スヘシ而シテ子ノ欲スル所ヲ爲セハ反テ容易ニ成就セン而ルニ子何ソ其身ヲ殘ヒ其形ヲ苦シメテ仇ヲ趙襄子ニ報スルヲ求メント欲スル豈ニ亦難カラサト

豫讓曰。既已委質臣事人。而求殺之。是懷二心以事其君也。且吾所爲者極難耳。然所以爲此者。將以愧天下後世之爲人臣。懷二心以事其君者也。

(極難) 癩ト爲リ啞ト爲ルヲ謂フ

豫讓之ニ應ヘテ曰ク子カ説ノ如ク既ニ贄ヲ委致シテ人ニ臣トシ事ヘテ而シテ之ヲ殺スヲ求メハ是レ二心ヲ懷ヒテ其君ニ事フルナリ且ツ吾カ爲ス所ノ者ハ極メテ困難ナルノミ然レモ此ヲ爲ス所以ノ者ハ將サニ天下後世ノ人臣ト爲リテ二心ヲ懷ヒテ其君ニ事フル者ヲ愧カシメントスルナリト(其意蓋シ言フ寧口癩ト爲リテ自カラ刑ストモ襄子ニ事フルヲ求メテ殺スヲ行フヘカラス若シ襄子ニ事ヘテ之ヲ殺サハ人臣ノ義ヲ傷リテ賊ニ近シ忠ニ非サルナリト)

既去頃之。襄子當出。豫讓伏於所當過之橋下。襄子至橋。馬驚。襄子曰。此必是豫讓也。使人問之。果豫讓也。

豫讓既ニ去ル頃ラクアリテ趙襄子外出スルニ當リテ豫讓趙襄子カ當サニ過クヘキ所ノ橋下ニ伏シ匿ル趙襄子其橋上ニ至リシ時乗ル所ノ馬大ニ驚キタリ趙襄子曰ク此レ必ラス是レ豫讓ナラント人ヲシテ之ヲ問ハシメシニ果シテ豫讓ナリ

於是襄子乃數豫讓曰。子不嘗事范中行氏乎。智伯盡滅之。而子不爲報讎。而反委質臣於智伯。智伯亦已死矣。而子獨何以爲之報讎之深也。豫讓曰。臣事范中行氏。范中行氏皆衆人遇我。我故衆人報之。至於智伯。國士遇我。我故國士報之。

(數責ムルナリ) (國士)名一國ヲ蓋フ者ナリ

趙襄子仍テ豫讓ヲ責メテ曰ク。子ハ嘗テ范氏中行氏ニ事ヘタルニ非スヤ。智伯悉ク范氏中行氏ヲ打滅セシニ。子ハ之レカ爲メニ仇ヲ報ヒスシテ。反テ贊テ委致シテ。智伯ニ臣トシ事ヘタリ。智伯モ亦既ニ死セリ。子獨リ何ソ智伯ノ爲メニ仇ヲ報スルノ深キヤ。豫讓曰ク。臣嘗テ范氏中行氏ニ事ヘタリシカ。范氏中行氏ハ我ヲ遇スルニ衆人ヲ遇スルノ禮ヲ以テセリ。我故ニ衆人ノ爲ス所ヲ爲シテ之ニ報スルナリ。智伯ニ至リテハ。我ヲ遇スルニ國士ヲ遇スルノ禮ヲ以テセリ。我故ニ國士ノ爲ス所ヲ爲シテ之ニ報スルナリト。

襄子喟然歎息而泣曰。嗟乎。讓子。子之爲智伯。名既成矣。而寡人赦子。亦已足矣。子其自爲計。寡人不復釋子。使兵圍之。豫讓曰。臣聞明主不掩人之美。而忠臣有死名之義。前君已寬赦臣。

天下莫不稱君之賢。今日之事。臣固伏誅。然願請君之衣而擊之焉。以致報讎之意。則雖死不恨。非所敢望也。敢布腹心。

(喟然)嘆スル聲ナリ (寬赦)ユルシユルスナリ (敢布腹心)己レノ心ノ儘ヲ述フル

ナ言フ

趙襄子喟然トシテ歎息シテ泣テ曰ク。ア、豫子子カ智伯ノ爲メニスル其名既ニ成レリ。寡人カ子ヲ赦スモ亦既ニ足レリ。子自カラ計ヲ爲セ。寡人復タ子ヲ釋サスト。仍テ兵卒ヲシテ豫讓ヲ取圍マシム。豫讓曰ク。臣之ヲ聞ケリ。賢明ノ主ハ他人ノ美善アルヲ匿サス。忠義ノ臣ハ名ノ爲メニ死ヲ愛マサルノ義アリ。先キニ君既ニ臣ヲ寬赦セリ。天下ノ人皆君ノ賢ナルヲ稱セサルハ。ナシ今日ノ事。臣固ヨリ誅ニ伏スヘシ。然レモ臣願クハ君ノ衣服ヲ請フテ之ヲ撞キ撃テ。仇ヲ報ユルノ意ヲ致サハ。臣死スト。雖モ恨ミス。臣此心アリ。望ミ此ニ及ハス。敢テ心ノ儘ヲ述フト。

於是襄子大義之。乃使使持衣與豫讓。豫讓拔劍三躍而擊之。曰。吾可以下報智伯矣。遂伏劍自殺。死之日。趙國志士聞之。皆爲涕泣。其後四十餘年。而軹有聶政之事。

(伏劍) 劍又ナ仰キ身其上ニ伏シテ死ヲ取ルナ言フ

趙襄子大ニ之ヲ義アリト爲シ使ヲシテ己レノ衣服ヲ持シテ豫讓ニ與ヘシム豫讓乃チ劍ヲ拔テ三タヒ踴リテ之ヲ擊テ曰ク吾レ下モ智伯ニ報ユヘシト遂ニ劍ニ伏シテ自殺セリ豫讓カ死スルノ日ニ趙國ノ志士此事ヲ聞テ皆爲メニ涕ヲ流スト云フ其後四十餘年ヲ過キテ軼ニ聶政ノ事アリタリ

聶政者。軼、深井里人也。殺人避仇。與母姊如齊。以屠爲事。久之。濮陽嚴仲子事韓哀侯。與韓相俠累有郤。

聶政ハ軼縣ノ深井里ノ人ナリ嘗テ人ヲ殺シ其仇ヲ避ケテ母及ヒ姊ト共ニ齊ノ國ニ往キ牛羊ヲ屠ルヲ以テ業ト爲セリ久シフシテ濮陽ノ嚴仲子トイヘル人韓ノ哀侯ニ事ヘタリシカ韓ノ相俠累ト郤ヲ生シタリ案スルニ俠累ハ韓ニ相トシ嚴仲子ハ君ニ重ンセラルルニ人相忌害セリ嚴仲子嘗テ俠累ノ過チヲ舉ケタルヲ以テ俠累之ヲ朝廷ニ叱シタリ嚴仲子怒リテ劍ヲ拔テ俠累ヲ刺サントセシカ救ヒノ至ルヲ以テ解クヲ得タリ是レ二人郤アルノ由ナリ

嚴仲子恐誅亡去。游求人。可以報俠累者。至齊。齊人或言聶政。勇敢士也。避仇。隱於屠者之間。嚴仲子至門。請數反。然後具酒。自暢聶政母前。

(勇敢)キツクキヅヨキナリ (至門)請フトハ謁セントスルヲ謂フ (數反)見ルヲ得サルカ故ニ數々往反スルヲ謂フ (暢)戰國策ニハ暢ニ作ル當サニ從フヘシ人ニ飲マシムルニ酒ヲ以テスルヲ暢ト云フナリ

嚴仲子殺サレシヲ恐レテ亡ケ去リ諸國ヲ游歴シテ仇ヲ俠累ニ報ユヘキ者ヲ求メタリ偶マ齊ノ國ニ至ル齊ノ人或ハ言テ曰ク聶政トイヘル者ハ勇敢ノ士ナリ今仇ヲ避ケテ屠者ノ間ニ隱レ居レリト嚴仲子聶政ノ門ニ至リ謁請セシテ數々往反セリ其後遂ニ聶政ヲ見ルヲ得テ然シテ後酒ヲ用意シテ自カラ聶政ノ母ノ前ニ暢シタリ

酒酣。嚴仲子奉黃金百鎰。前爲聶政母壽。聶政驚怪其厚。固謝。嚴仲子固進。而聶政謝曰。臣幸有老母。家貧客游。以爲狗屠。可以旦夕得甘毳。以養親。親供養備。不敢當仲子之賜。

(甘毳)甘ハ美ナリ毳ハ脆ト音義相通ス小菓ニシテ物ノ斷チ易キナリ (供養)手アテナリ

酒酣ナル時ニ嚴仲子黃金百兩ヲ奉ケテ進ミテ聶政カ母ノ壽ヲ爲シタリ聶政大ニ驚キ其甚タ手厚キヲ怪シク思フテ固ク之ヲ嚴仲子ニ辭謝シタリ嚴仲子亦固ク之ヲ進メントス聶政之ヲ辭謝シテ曰ク臣幸ニ老母アリ家甚タ貧クシテ他國ニ遊歴ス自カラ思フニ狗屠ノ業ヲ爲シテ朝夕甘毳ヲ得テ親ヲ養フヘシト今ハイサ、カ親ノ供養取備リタレハ敢テ

仲子ノ賜モノヲ受ケスト

嚴仲子辟人。因爲聶政言曰。臣有仇而行游諸侯衆矣。然至齊。竊聞足下義甚高。故進百金者。將用爲夫人麤糲之費。得以交足下之驩。豈敢以有求望邪。

(夫人)聶政ノ母ヲ尊フナリ古ヘ男子ヲ名ケテ丈人ト爲シ大嫗ヲ尊ヒテ夫人ト爲スナリ

(麤糲)麤ハ粗ト通ス糲ハ粗米ナリ

嚴仲子仍テ左右ノ人ヲ退ケ聶政ノ爲メニ言テ曰ク臣仇アリテ諸侯ノ國ニ遊歴スル甚タ衆シ然レモ齊國ニ至リテ竊カニ足下ノ行義甚タ高尚ナルヲ聞ケリ故ニ今百金ヲ進ムル者ハ將サニ夫人ノ麤糲ヲ供スルノ費ト爲シテ足下ノ歡心ヲ交フルヲ得ントスルナリ。豈ニ敢テ求メ望ムコトノアルナランヤ

聶政曰。臣所以降志辱身。居市井屠者。徒幸以養老母。老母在。政身未敢以許人也。嚴仲子固讓。聶政竟不肯受也。然嚴仲子卒備賓主之禮而去。

(市井)市ハ交易ノ處ニシテ井ハ共ニ汲ムノ所ナリ井ニ因テ市ヲ成スカ故ニ市街ヲ市井

ト名ツクルナリ (未敢以許人)父母ノ在マス間ハ身ヲ以テ人ニ許スヲ得サルナリ

聶政曰ク臣カ其志ヲ卑下シ其身ヲ屈辱セシメ市井ノ中ニ居テ狗屠ヲ業トスル所以ノ者ハ徒ニ老母ヲ養フコトアルヲ以テ幸ト爲スナリ今老母死セスシテ猶在レハ政カ身ハ未ダ敢テ人ニ許スヲ得スト此時嚴仲子固ク黄金ヲ讓ルト雖モ聶政竟ニ之ヲ受クルヲ肯ンセス然レモ嚴仲子終ニ賓主ノ禮ヲ取備ヘテ立去レリ

久之聶政母死。既已葬除服。聶政曰。嗟乎。政乃市井之人。鼓刀以屠。而嚴仲子乃諸侯之卿相也。不遠千里。枉車騎而交臣。臣之所以待之。至淺鮮矣。未有大功可以稱者。而嚴仲子奉百金爲親壽。我雖不受。然是者徒深知政也。夫賢者以感忿睚眦之意。而親信窮僻之人。而政獨安得嘿然而已乎。且前日要政。政徒以老母。老母今以天年終。政將爲知己者用。

(鼓刀)鼓ハ猶鳴ラスト云フカ如シ (枉車騎)枉クトハ宜シク往クヘキノ所ニ非サル

カ故ニ枉クト云フナリ (淺鮮)甚タ粗末ナルヲ言フ (感忿)心ヲ動カシ怒ヲ含ムナリ

(睚眦)目ヲ擧ケテ相忤フナリ (窮僻之人)貧乏シテ陋シキ住居スル人ナリ (嘿)

然（要政） 嚙ハ黙ト同シダマルナリ 要ハ求ムルナリ 以天年終 無事ニ死スル

久フシテ聶政ノ母死シ既ニ葬リテ喪服ヲ除キタリ是ニ於テ聶政曰クア、政ハ市井ノ窮人ニシテ刀ヲ鳴ラシテ雞狗ヲ屠フルヲ業ト爲ス者ナリ而シテ嚴仲子ハ諸侯ノ卿相ナリ今千里ノ道ヲ遠シトモセスシテ車騎ヲ枉ケテ臣ニ交ハレリ臣カ嚴仲子ヲ待遇スル所以ハ甚タ粗末ナリ臣未タ大功ノ稱スヘキ者アラサルニ嚴仲子黄金百兩ヲ奉ケテ臣カ親ノ壽ヲ爲セリ我之ヲ受ケスト雖ヒ然レモ嚴仲子ハ徒ニ深ク政ヲ知ル者ナリ彼ノ賢者（嚴仲子ヲ斥スナリ）感忿睚眦ノ意ヲ以テ窮僻ノ人（政自カラ指スナリ）ヲ親ミ信シタリ政獨リ安クンツ默然トシテ止ムヲ得ンヤ且ツ前日嚴仲子政ニ求メント欲スル事アリ政徒ニ老母カ猶在スヲ以テ辭謝セリ老母今天年ヲ以テ終リタリ政將サニ己レヲ知ル者ノ爲メニ用ヒラレントスト

乃遂西至漢陽見嚴仲子曰前日所以不許仲子者徒以親在
今不幸而母以天年終仲子所欲報仇者爲誰請得從事焉

聶政仍テ遂ニ西ノ方漢陽ニ至リテ嚴仲子ヲ見テ曰ク前日政カ仲子ニ身ヲ許サ、ル所以ノモノハ徒ニ親ノ在セシヲ以テナリ今ハ不幸ニシテ母天年ヲ以テ終リタリ仲子カ仇ヲ報ヒント欲スル所ノモノハ誰ト爲ス請フ仲子ノ爲メニ事ニ從フヲ得ント

嚴仲子具告曰臣之仇韓相俠累俠累又韓君之季父也宗族
盛多居處兵衛甚設臣欲使人刺之衆終莫能就今足下幸而
不棄請益其車騎壯士可爲足下輔翼者

（兵衛）武器ヲ以テ警衛スルナリ （輔翼）タスケダスグルナリ

嚴仲子具サニ告ケテ曰ク臣ノ仇ハ韓ノ相俠累ナリ俠累ハ又韓ノ君ノ季父ナリ其宗族甚タ盛ンニ多クシテ其居處ニハ常ニ兵衛甚タ盛ンニ設ケ陳ネタリ臣此レマテ人ヲシテ之ヲ刺サシメント欲スルニ終ニ能ク成ルコトナシ今足下幸ニシテ臣ヲ見奔テス臣ノ爲メニ仇ヲ報セント欲ス臣請フ其車騎及ヒ壯士ノ足下ノ輔翼ト爲ルヘキモノヲ益サント

聶政曰韓之與衛相去中間不甚遠今殺人之相相又國君之
親此其勢不可以多人多人不能無生得失生得失則語泄語
泄是韓舉國而與仲子爲讎豈不殆哉遂謝車騎人徒

（不能無生得失）得失ハ即チ異情ヲ生スルヲ謂フ人々議異ナルカ故ニ人ヲ多クスレハ是レ可否ヲ生スルナリ

聶政曰ク韓ト衛トハ其相去ルコト中間甚タ遠カラサレハ事泄レテ聞ヘ易シ今人ノ相ヲ殺

聶政乃辭。獨行杖劍至韓。韓相俠累方坐府上。持兵戟而衛侍者甚衆。聶政直入上階。刺殺俠累。左右大亂。聶政大呼。所擊殺者數十人。因自皮面決眼。自屠出腸。遂以死。

聶政仍テ嚴仲子ニ別テ告ケ獨行シテ劍ヲ杖ツキテ韓ニ至リタリ韓ノ相俠累方サニ丞相府ニ坐シ兵戟ヲ持シテ其傍ラニ侍立警衛スルモノ甚々衆シ聶政直チニ相府ニ入り階階ノ上ニ登リテ俠累ヲ刺シ殺シタリ俠累ノ左右ノ人大ニ打亂ル聶政大音ニ呼ハリテ擊チ殺ス所ノモノ數十人ナリ因テ自カラ刀ヲ以テ面ヲ刺シ其皮ヲ去リ眼睛ヲ抉リテ之ヲ出シ遂ニ自カラ屠リテ腸ヲ出シテ死シタリ蓋シ人ヲシテ誰人ノ爲ス所ナルヤチ知ラサラシムルナリ

韓取聶政屍暴於市。購問莫知。誰子於是。韓購縣之。有能言殺相俠累者予千金。

(誰子)子ハ助字ナリ

(購縣)金ヲ縣ケテ知ル者ヲ募ルナリ

韓聶政ノ屍ヲ取テ市中ニ曝シ之ヲ購問スレモ其誰ナルチ知ルモノナシ是ニ於テ韓之チ購縣シテ曰ク能ク俠累ヲ殺ス者ヲ言フアレハ千金ヲ與ヘント

久之莫知也。政姊榮聞人有刺殺韓相者。賊不得。國不知其名。姓暴其尸而縣之千金。乃於邑曰。其是吾弟與。嗟乎。嚴仲子知吾弟。立起如韓之市。而死者果政也。

(於邑)煩冤愁苦スルナリ

程經テ終ニ能ク其俠累ヲ殺ス者ノ誰タルチ知ル者ナシ此時聶政ノ姊ノ榮トイヘル者韓ノ相俠累ヲ刺シ殺ス者アリテ其賊未タ捕ハレニ就カス國中ノ人其名姓ヲ知ラサルニ因テ其屍ヲ市中ニ曝シテ之ヲ千金ニ購縣スト聞テ仍テ於邑シテ曰ク其レ是レ吾カ弟聶政ナルカ、ア、嚴仲子ハ能ク吾カ弟ヲ知ルト立トコロニ起チテ韓ノ市ニ往キテ其屍ヲ見ルニ果シテ弟ノ聶政ナリ

伏尸哭極哀。曰。是軹深井里。所謂聶政者也。市行者諸衆人皆曰。此人暴虐吾國相。王縣購其名姓千金。夫人不聞與。何敢來。

識之也。

(暴虐)シヒタゲ殺スナリ

榮垂政ノ屍ニ伏シテ哭泣スルヲ極メテ哀シ曰ク此人吾カ國ノ相俠累ヲ暴虐シタリ王仍テ千金ヲ懸ケテ其姓名ヲ購問セリ夫人之ヲ聞カサルヤ何ソ敢テ自カラ來リテ之ヲ知ルト云フヤ

榮應之曰聞之。然政所以蒙汚辱。自棄於市販之間者。爲老母幸無恙。妾未嫁也。親既以天年下世。妾已嫁夫。嚴仲子乃察舉吾弟。困汚之中。而交之。澤厚矣。可奈何。

(市販之間)販ハヒサグナリ市ハ物ヲ鬻ク所ナル故ニ市販ト言フナリ (自棄)屠ヲ以テ事ト爲スヲ謂フ (恙)解詳ラカニ前ニ見ヘタリ (下世)死スルヲ謂フ (察舉)其志

行アルヲ觀察シテ之ヲ引擧クルヲ言フ (可奈何)已ムヘカラサルヲ謂フ

榮之ニ應ヘテ曰ク吾此事ヲ聞ケリ然レモ弟政カ身汚辱ヲ蒙リ市販ノ間ニ自棄シテ狗屠ヲ以テ業ト爲ス所以ノ者ハ老母ノ幸ニ恙ナク妾ノ未タ人ニ嫁セサルヲ以テナリ今親ハ既ニ天年ヲ以テ下世シタリ妾ハ既ニ夫ニ嫁シタリ嚴仲子吾カ弟ヲ困汚ノ中ヨリ察シ舉ケテ之レト交リヲ結ヘリ德澤極メテ厚シ其事奈何トモスヘカラサルナリ

士固爲知己者死。今乃以妾尙在之故。重自刑以絕從。妾其奈何。畏歿身之誅。終滅賢弟之名。大驚韓市人。乃大呼天者三。卒於邑悲哀而死。政之傍。

(重自刑以絕從) 垂政既ニ面皮ヲハギ又眼ヲ抉ルカ故ニ重クト云フナリ從ハ蹤ト假借ス姊ノ知ラントチ恐レテ其蹤跡ヲ絶チテ知ラサラシムルナリ

士タル者ハ固ヨリ己レヲ知ル者ノ爲メニ性命ヲ弃ツ今妾カ猶在ルノ故ヲ以テ重ク自カラ其身ヲ刑シテ其蹤跡ヲ絶チテ人ニ泄ラサシメス妾如何ンソ此身ヲ歿スルノ誅ヲ懼レテ終ニ吾カ賢弟ノ名ヲ滅サンヤト(蓋シ其自カラ往テ哭スルハ自カラ吾カ意ナルヲ言フノミ)韓ノ市中ノ人之レカ爲メニ大ニ驚ケリ榮仍テ三タヒ大ニ天ニ呼ヒ終ニ於邑悲哀シテ垂政ノ屍ノ傍ラニ死シタリ

晉楚齊衛聞之。皆曰。非獨政能也。及其姊亦烈女也。鄉使政誠知其姊無濡忍之志。不重暴骸之難。必絕險千里。以列其名。姊弟俱僂於韓市者。亦未必敢以身許。嚴仲子亦可謂知人。能得士矣。其後二百二十餘年。秦有荆軻之事。

濡忍之志濡忍ハ含忍ナリ聶政ノ姊ハ其性勇躁ニシテケツクシタル不決斷ノ心ナキ
ナ言フ (僂辱ナリ)

晋楚齊衛ノ人之ヲ聞テ皆謂テ曰ク獨リ聶政ノ材能アルノミニ非ス其姊ノ榮モ亦慷慨激
烈ノ女ナリ先キニ聶政ヲシテ誠ニ其姊カ勇躁ニシテ濡忍ノ志ナク骸骨ヲ曝ラスノ患ヲ
恐レ厭ハス必ラス千里ノ險阻ヲ絶テ涉リテ其名ヲ陳列シ姊ト弟ト俱ニ韓ノ市中ニ辱カ
シメラルハナリ知ラシメシヲナレハ亦未タ必ラスシモ敢テ其身ヲ以テ嚴仲子ニ許サ
ルナリ然ラハ嚴仲子モ亦能ク人ヲ知リ又能ク士ヲ得ルト謂フヘシト其後チ二百二十餘
年ヲ歷テ秦ニ荆軻ノ事アリタリ

荆軻者衛人也其先乃齊人徙於衛衛人謂之慶卿而之燕燕
人謂之荆卿

荆軻ハ衛ノ人ナリ其先祖ハ齊ノ人ナリシカ衛ニ徙リタリ衛ノ人荆軻ヲ慶卿ト呼ヘリ嘗
テ燕ニ往キシニ燕ノ人又之ヲ荆卿ト呼ヒタリ(案隱曰ク軻ノ先ハ齊ノ人ナリ齊ニ慶氏ア
リ則チ或ハ本姓ハ慶ナリ荆慶聲相近キカ故ニ國ニ在ルニ隨テ其號ヲ異ニスルナリ卿ハ
時人尊重スルノ號ニテ猶相尊美シテ子ト稱スルカ如シト)

荆卿好讀書擊劍以術說衛元君衛元君不用其後秦伐魏置

東郡徙衛元君之支屬於野王

(支屬庶族ナリ分レノ一族ヲ謂フ)

荆卿好ミテ書ヲ讀ミ劍ヲ擊チ嘗テ遊説ノ術ヲ以テ衛ノ元君ニ説キタリシカ衛ノ元君之
ヲ用ヒサリシ其後秦魏ヲ伐チテ東郡ヲ置キ衛ノ元君ノ支屬ヲ野王トイヘル所ニ徙シタ
リ(案スルニ是ノ時衛魏ニ屬スルカ故ニ秦魏ノ東郡ノ地ヲ得テ衛ニ徙レルナリ)

荆軻嘗游過榆次與蓋聶論劍蓋聶怒而目之荆軻出人或言
復召荆卿蓋聶曰曩者吾與論劍有不稱者吾目之試往是宜
去不敢留使使往之主人則已駕而去榆次矣使者還報蓋聶
曰固去也吾曩者目攝之

(目ニミツククルナリ)

攝整スルヲ謂フ

(攝)猶整フト云フカ如シ己レノ意ニ稱ハス因テ怒リ視テ之ヲ

荆軻嘗テ游歴シテ榆次トイヘル所ヲ過キ蓋聶トイヘル人ト俱ニ劍道ヲ論ス蓋聶大ニ怒
リテ之ヲミツケタリ荆軻退テ外ニ出ツ或人言テ曰ク復タ荆卿ヲ召ヘト蓋聶曰ク曩
キニ吾荆卿ト共ニ劍道ヲ論シタリ議論己レノ意ニ相稱ハサル者アリテ吾之ヲミツ
ケタリ汝試ミニ往テ荆卿ヲ召ヘ彼レ必ラス去テ留マラサルヘシト仍テ試ミニ使者ヲシ

テ荆卿カ主トスル所ノ家ニ往カシメシニ荆卿果シテ既ニ車ニ駕シテ榆次チ立チ去リタリ使者還リ報ス蓋聶曰ク固ヨリ去ルヘシ吾曩キニ意ニ稱ハサルコアリテ目シテ之ヲ攝シタリト

荆卿游於邯鄲魯句踐與荆卿博爭道魯句踐怒而叱之荆卿嘿而逃去遂不復會

荆卿嘗テ游歴シテ趙ノ邯鄲ニ至リシ時魯句踐魯トイヘル人荆卿ト博シテ其馬チ行ルノ道チ爭ヒタリ魯句踐亦怒リテ荆卿チ叱ス荆卿默然トシテ言ナクシテ逃ケ去レリ後チ遂ニ復々相會セズ

荆卿既至燕愛燕之狗屠及善擊筑者高漸離荆卿嗜酒日與狗屠及高漸離飲於燕市酒酣以往高漸離擊筑荆卿和而歌於市中相樂也已而相泣旁若無人者

(筑)琴ニ似テ絃アリ竹チ用テ之チ擊ツカ故ニ其名チ筑ト云フナリ
荆卿既ニ燕ニ至リテ燕ノ狗屠チ業ト爲ス者ト善ク筑チ擊ツ者ノ高漸離トイヘル人トチ愛シタリ荆卿甚々酒チ嗜ミ毎日狗屠及ヒ高漸離ト俱ニ燕ノ市中ニ至リテ樂ミ飲メリ酒酣ナル後ハ高漸離筑チ擊チ荆卿之レニ和シテ市中ニ歌フテ甚々相樂メリ既ニシテ相泣

ク傍ラ人ナキ者ノ如シ

荆卿雖游於酒人乎然其爲人沈深好書其所游諸侯盡與其賢豪長者相結其之燕燕之處士田光先生亦善待之知其非庸人也

(處士)仕ヘスシテ家ニ居ル者ナリ
荆卿飲酒ノ人ト俱ニ遊フト雖正然レ正其性質甚々沈深ニシテ書チ讀ムコチ好メリ其諸侯ノ國ニ游フヤ悉ク其賢智豪傑ノ人及ヒ重厚ノ長者ト俱ニ交ハリチ結ヘリ荆卿カ燕ニ往クヤ燕ノ處士田光先生トイヘル人モ亦善ク荆卿チ待遇セリ蓋シ其庸常ノ人物ニ非サルチ知レハナリ

居頃之會燕太子丹質秦亡歸燕燕太子丹者故嘗質於趙而秦王政生於趙其少時與丹驩及政立爲秦王而丹質於秦秦王之遇燕太子丹不善故丹怨而亡歸歸而求爲報秦王者國小力不能

(驩)歡ト通ス中ヨク交ハルコナリ

頃ラクアリテ燕ノ太子丹秦ノ國ニ質子トシテ亡ケテ燕ニ歸ルニ會ヘリ燕ノ太子丹ハ嘗テ趙ノ國ニ質子タリ秦王政ハ趙ニ於テ生レタルカ故ニ其年少キ時ハ常ニ太子丹ト相歡愛セリ政カ立チテ秦王ト爲ルニ及ヒテ太子丹秦ニ質子タリ而ルニ秦王カ燕ノ太子丹ヲ待遇スル甚タ善カラサルヲ以テ太子丹大ニ怒ミテ亡ケ歸レリ歸テ後チ爲メニ仇ヲ秦王ニ報ユル者ヲ求メタリ然レモ燕ハ國甚タ小ニシテ力秦ニ報ユル能ハサルナリ

其後秦日出兵山東以伐齊楚三晉稍蠶食諸侯且至於燕

君臣皆恐禍之至

(蠶食) 蠶ノ桑葉ヲ食フカ如ク漸クニ之ヲ取ルヲ謂フ
其後秦ハ日々兵ヲ山東ニ出シテ齊楚及ヒ三晉ヲ伐チ稍ク諸侯ヲ蠶食シ且サニ燕ノ國ニ至ラントス燕ノ君臣皆其禍ノ至ラントスヲ恐レタリ

太子丹患之問其傳鞠武武對曰秦地徧天下威脅韓魏趙氏北有甘泉谷口之固南有涇渭之沃擅巴漢之饒右隴蜀之山左關殺之險民衆而士厲兵革有餘意有所出則長城之南易水以北未有所定也奈何以見陵之怨欲批其逆鱗哉丹曰然

則何由對曰請入圖之

(威脅) オドシオビヤカスナリ (沃) 灌溉ナリ (饒) 豊カナルナリ (兵革) 兵ハ劍戟ノ類ナリ革ハ甲冑ノ類ナリ (意有所出) 兵ヲ起スヲ謂フ (未有所定) 此レ必ラス將サニ秦ノ兵ヲ被ムラントスルヲ謂フ (見陵之怨) 秦王カ太子丹ヲ遇シテ善カラサルノ怨ミヲ謂フ (批其逆鱗) 批ハウツナリ逆鱗ハ韓非ノ傳ニ見ヘタリ曰ク龍ハ擾レテ騎ルヘキナリ然レモ喉下ニ逆鱗ノ徑リ尺ナルアリ人之ニ嬰ルハアレハ則チ必ラス人ヲ殺ス人主モ亦有リト逆鱗ヲ擊ツトハ其怒リニ觸ルハ言フナリ

太子丹之患ヘテ其傳鞠武トイヘル人ニ秦ヲ拒クノ策ヲ問フ鞠武對テ曰ク秦ノ地ハ天下ニ徧チクシテ韓魏趙三國ヲ威脅セリ北ニ甘泉谷口ノ固メアリ南ニ涇渭二水ノ沃アリ巴漢ノ饒カナルヲ擅マニシ右ニ隴蜀ノ山ヲ構ヘ左ニ關殺ノ險ヲ構ヘタリ人民甚タ衆ク士卒甚タ厲ミテ兵革餘リアリ秦ノ意若シ出ス所アレハ長城ノ南易水ノ北ハ未タ定マル所アラサルナリ之ヲ奈何ソ陵犯セラルハノ怨ミヲ以テ其逆鱗ヲ批セント欲スルヤ太子丹曰ク然ラハ則チ何ノ道ニカ由ランヤ鞠武答テ曰ク請フ入テ休息セヨ然シテ後チ之ヲ圖ルヘシト

居有間秦將樊於期得罪於秦王亡之燕太子受而舍之鞠武諫曰不可夫以秦王之暴而積怒於燕足爲寒心又況聞樊將

軍之所在乎。是謂委肉當餓虎之蹊也。禍必不振矣。雖有管晏不能爲之謀也。願太子疾遣樊將軍入匈奴以滅口。請西約三晉南連齊楚北購於單于其後廼可圖也。

(舍) 宿寄サスルヲ言フ (寒心) 恐懼シテ心戰スルヲ言フ解ハ詳カニ前ニ見ヘタリ

(蹊) 徑ナリ小路ヲ言フ (不振) 振ハ救フナリ (購於單于) 購ハ講ト音ヲ以テ通ス

單于ニ講ストハ匈奴ト連和セント欲スルヲ言フ

シバラクアリテ秦ノ將樊於期トイヘル人罪ヲ秦王ヨリ得テ燕ニ亡ケ往ケリ太子丹之ヲ受ケテ客舍ニ寄宿セシメタリ鞠武諫メテ曰ク是レ甚タ不可ナリ秦王ノ暴ヲ以テ怒リテ燕ニ積ミ重メ寒心ヲ爲スニ足レリ又況ンヤ樊將軍ノ在ル所ヲ聞クヤ秦王ノ怒リ量ルヘカラス是レチ肉ヲ委テ饑餓ニ迫リタル虎ノ往來スル小路ニ當ルト云フ者ナリ其禍必ラス大ニシテ救フヘカラス古ヘノ管仲晏嬰ノ如キ智者アリト雖也之レカ謀ヲ爲ス能ハサルナリ願クハ太子早ク樊於期ヲ遣リ匈奴ニ入レテ口ヲ滅サシメヨ請フ西ノ方三晋ト約東シ南ノ方齊楚二國ヲ連結シ北ノ方單于ニ連和シテ而シテ後チ事謀ルヘシト

太子曰太傅之計曠日彌久心惛然恐不能須臾且非獨於此也夫樊將軍窮困於天下歸身於丹終不以迫於彊秦而棄所

哀憐之交置之匈奴是固丹命卒之時也願太傅更慮之

(曠日彌久) 曠ハ空シキナリ彌ハマダナルナリ曠日彌久トハ日月ヲ徒過スルヲ言フ (惛然) 憂思昏替スル貌ナリ即チ心配シテ心ノ暗クナルヲナリ

(惛)

太子丹曰太傅ノ謀ハ曠日彌久ナリ己レノ心惛然トシテ憂思昏替シテ且サニ死セントス須臾クモ待ツヲ能ハス且ツ獨リ此レノミニ非ス彼ノ樊將軍ハ天下往ク所ナク窮困シテ身ヲ丹ニ歸セリ丹終ニ強秦ニ迫ルノ故チ以テ哀憐スル所ノ交誼ヲ弃テト之ヲ匈奴ニ置カス今禍ノ且サニ至ラントスルチ知テ猶之ヲ爲ス是レ丹ノ命此ニ止マルノ時ナリ願クハ太傅更ニ之ヲ謀慮セヨ

鞠武曰夫行危欲求安造禍而求福計淺而怨深連結一人之後交不顧國家之大害此謂資怨而助禍矣夫以鴻毛燎於爐炭之上必無事矣且以鷙鷲之秦行怨暴之怒豈足道哉燕有田光先生其爲人智深而勇沈可與謀

(一人之後交) 一人トハ樊於期ヲ謂フナリ當サニ國家ヲ先キニシテ交友チ後ニスヘシ

故ニ後交ト云フ (燎) 燒クナリ (鷙鷲之秦) 鷙ハクマダカナリ鷲ハツカミ鳥ナリ鷙

鷹ノ秦トハ強暴ノ甚タシキヲ言フ (勇沈) 勇氣アリテオチツクナリ

鞠武曰ク夫レ危キヲ行ヒテ安キヲ求メント欲シ禍ヲ作シテ福ヲ求メント欲ス謀淺クシテ怨ミ深シ一人ノ後交ヲ連結シテ國家ノ大害ヲ顧ミス此レヲ怨ミテ資ケテ禍ヲ助ケト謂フナリ夫レ秦ノ燕ヲ滅スヤ譬ヘハ鴻ノ羽ヲ以テ爐炭ノ上ニ燒クカ如ク事極メテ易キナリ且ツ鴨鶩ノ如キノ強秦ノ國ヲ以テ怨暴ノ怒リヲ行フ豈ニ何ソ言フニ足ランヤ燕ニ田光先生トイヘルアリ其人ノ性質タル智甚タ深クシテ沈勇ナリ與ニ共ニ事ヲ謀ルヘシト

太子曰願因太傅而得交於田先生可乎鞠武曰敬諾出見田先生道太子願圖國事於先生也田光曰敬奉教乃造焉太子逢迎却行爲導跪而蔽席

(逢迎)ムカヘムカフルナリ (却行)アトザリシテ敢テ之ニ背カサルヲ言フ (蔽席)蔽ハ猶拂フト言フカ如シ長者ニ塵ノ及フヲ恐ルナリ

太子丹曰ク願クハ太傅ニ因リテ田光先生ト交ハルヲ得ン可ナランカ鞠武曰ク謹ンテ諾スト仍テ出テ田先生ヲ見テ太子カ先生ト國事ヲ謀ルヲ願フ由テ言フ田光曰ク謹ンテ教命ヲ奉セント仍テ太子丹ノ所ニ至レリ太子丹之ヲ逢迎シ却行シテ導キテ爲シ跪キテ席ヲ拂ヒタリ

田光坐定左右無人太子避席而請曰燕秦不兩立願先生留

意也田光曰臣聞騏驎盛壯之時一日而馳千里至其衰老驚馬先之今太子聞光盛壯之時不知臣精已消亡矣雖然光不敢以圖國事所善荆卿可使也

田光ノ坐定マル時ニ左右人ナシ太子丹仍テ席ヲ退キテ請フテ曰ク燕秦二國ハ併ヒ立タス願クハ先生意ヲ留メテ之ヲ計レ田光曰ク臣之ヲ聞ケリ騏驎ハ盛壯ノ時ニハ一日ニ能ク千里ノ道ヲ馳ス然レモ其老衰スルニ至リテハ驚馬却テ之ニ先タツナリ今太子光カ盛壯ノ時ノ事ヲ聞テ臣カ精力ノ既ニ消ヘウセシチ知ラサルナリ然リト雖モ光敢テ共ニ國事ヲ謀ラサランヤ臣カ俱ニ交ハル所ノ荆卿トイヘル者使フヘシト

太子曰願因先生得結交於荆卿可乎田光曰敬諾即起趨出太子送至門戒曰丹所報先生所言者國之大事也願先生勿泄也田光俛而笑曰諾

(俛)俯ト同シ

太子丹曰ク願クハ先生ニ因テ荆卿ト交リテ結フヲ得ン可ナランカ田光曰ク謹ンテ諾スト仍テ起チテ趨リ出テタリ太子丹送リ門ニ至リテ之ヲ戒メテ曰ク丹カ報スル所先生カ言フ所ノ者ハ國ノ大事ナリ願クハ先生之ヲ他ニ泄スナカレ田光首ヲ俯シテ笑テ曰ク諾

僂行見荆卿曰。光與子相善。燕國莫不知。今太子聞光壯盛之時。不知吾形已不逮也。幸而教之曰。燕秦不兩立。願先生留意也。光竊不自外。言足下於太子也。願足下過太子於宮。荆軻曰。謹奉教。

(僂行) 背ヲ曲ケテ行クナリ老人ノ狀貌ヲ言フ (不自外) 自カラ荆卿ヲ疎ンセサルヲ言フ

田光僂行シテ往テ荆卿ヲ見テ曰ク光子ト交リ相善シ燕ノ人之ヲ知ラサルハナシ今太子光カ壯盛ノ時ノ事ヲ聞テ吾カ形狀ノ既ニ役ニ立タサルヲ知ラサルナリ幸ニシテ之レニ教ヘテ曰ク燕ト秦トハ併ヒ立タス願クハ先生ノ意ヲ留メラレントチト光竊カニ自カラ足下ヲ疎外ニセス足下ノ事ヲ太子ニ言ヒタリ願クハ足下太子ノ宮ニ過キレ荆軻曰ク謹ンテ教命ヲ奉セント

田光曰。吾聞之。長者爲行。不使人疑之。今太子告光曰。所言者。國之大事也。願先生勿泄。是太子疑光也。夫爲行而使入疑之。

非節俠也。欲自殺以激荆卿。曰。願足下急過太子。言光已死。明不言也。因遂自刎而死。

(節俠) 節ハ操ナリ俠ハ任俠ナリ氣勢ヲ立テ威福ヲ作シ私交ヲ結ヒテ強ク世ニ立ツル者ヲ任俠ト云フ (自刎) 刎ハ首ハヌルナリ

田光曰レ吾之ヲ聞ケリ重厚ノ人ノ行ヲ爲スヤ人ヲシテ之レヲ疑ハシメスト今太子光ニ告ケテ曰ク先生カ言フ所ノ者ハ國ノ大事ナリ願クハ先生他ニ言ヲ泄スナカレト是レ太子ノ光ヲ疑フナリ夫レ行ヲ爲シテ人ヲシテ之レヲ疑ハシメハ節俠ニ非サルナリト仍テ自殺シテ荆軻ヲ激セント欲ス言フハ其死スルハ泄スカ爲メニ非ス荆軻ヲ厲勉シテ之ニ死セシメント欲スルノミ曰ク願クハ足下急ニ太子ノ所ニ過キリ光カ既ニ死スルヲ言フテ敢テ國事ヲ泄ラサトルヲ明セト因テ遂ニ自刎シテ死シタリ

荆軻遂見太子。言田光已死。致光之言。太子再拜而跪。膝行流涕。有頃而後言曰。丹所以誠田先生母言者。欲以成大事之謀也。今田先生以死明不言。豈丹之心哉。

(膝行) 膝ヲ屈シ地ニ着ケテ行クナリ

荆軻遂ニ太子丹ヲ見テ田光カ既ニ死スルヲ言フテ田光ノ言ヲ述ヘタリ太子丹再拜シテ

跪キ膝レ行シテ涕ヲ流シタリ頃ラクアリテ言テ曰ク丹カ田先生ニ言フナカレト誠メシ所以ノモノハ大事ノ謀ヲ成サント欲スルカ爲メナリ今田先生死ヲ以テ言ヲ泄ラサルト明セリ豈ニ丹ノ心ナランヤト

荆軻坐定。太子避席頓首曰。田先生不知丹之不肖。使得至前。敢有所道。此天之所以哀燕而不棄其孤也。今秦有貪利之心。而欲不可足也。非盡天下之地。臣海內之王者。其意不厭。今秦已虜韓王。盡納其地。

(孤) 索隱曰ク父ナキヲ孤ト稱ス時ニ燕王尙在リ而ルニ太子丹孤ト稱スルモノハ或ハ記者辭ヲ失フ或ハ諸侯嫡子ノ時亦僭シテ孤ト稱スルナリト

荆軻ノ坐既ニ定マル太子丹席ヲ退キテ頓首シテ曰ク田先生丹ノ不肖ナルヲ知ラスシテ足下ノ前ニ至ルヲ得セシメタリ(此レ謙シテ言フナリ)敢テ言フ所アラシ此レ天ノ燕ヲ哀シテ其孤ヲ奔テサル所以ナリ今秦貪利ノ心アリテ其欲心足ルヘカラサルナリ盡ク天下ノ地ヲ取り海内ノ王ヲ臣トスルニ非サレハ其意敢テ暨キ足ラス今秦既ニ韓王ヲ虜ニシテ悉ク其地ヲ納レタリ(秦ノ十七年韓王安ヲ虜ニシタリ)

又擧兵南伐楚。北臨趙。王翦將數十萬之衆距漳鄴。而李信出

太原雲中。趙不能支。秦必入臣。入臣則禍至燕。燕小弱。數困於兵。今計舉國不足以當秦。諸侯服秦。莫敢合從。丹之私計。愚以爲誠得天下之勇士。使於秦。闕以重利。秦王貪。其勢必得所願矣。

(距) 拒ト通ス史記ノ中拒ノ字多ク距ニ作ル心得讀ムヘシ (闕以重利) 闕フトハ之ニ示スニ利ヲ以テシテ之ヲシテ見テ欲セシムルヲ言フ

又兵ヲ擧ケテ南ノ方楚ノ國ヲ伐チ北ノ方趙ノ國ニ臨ミ王翦數十萬ノ大衆ニ將トシテ漳鄴ニ打拒キ李信ハ大原雲中ニ打テ出テタリ趙若シ秦ヲ支ヘ拒クト能ハサレハ必ラス入テ秦ニ臣タルヘシ趙入テ臣タルハ禍直ニ燕ニ至ルヘシ燕ハ國小ニシテ弱ク且ツ數々兵事ニ困シミタリ今之ヲ謀ルニ國ヲ擧グルモ秦ノ軍ニ向フニ足ラス諸侯恐レ秦ニ服從シテ敢テ復タ合從ヲ爲シテ相親ムモノナシ丹カ私計以爲ラク誠ニ天下ノ勇士ヲ得テ秦ノ國ニ使セシメ重利ヲ以テ之ニ示サハ秦王固ヨリ貪慾ノ人ナルカ故ニ其勢必ラス己レノ願フ所ヲ得ント

誠得却秦王。使悉反諸侯侵地。若曹沫之與齊桓公。則大善矣。則不可。因而刺殺之。彼秦大將擅兵於外。而內有亂。則君臣相

疑。以其間諸侯得合從。其破秦必矣。此丹之上願。而不知所委命。唯荆卿留意焉。

(委命) 性命ヲ委棄スルナリ猶死所ヲ知ラスト言フカ如シ
誠ニ秦王ヲ脅スヲ得テ悉ク諸侯ノ侵シ取ラレタル土地ヲ反ス。曹沫カ齊ノ桓公ニ於ケルカ如クナラシメハ大ニ善シ若シ秦王之ヲ許サレハ因テ之ヲ刺シ殺スヘシ彼ノ秦ノ大將(王翦蒙恬等ヲ指ス)兵ヲ外ニ擅マ、ニシテ内ニ亂アラハ君臣必ラス相疑フヘシ其間ヲ以テ諸侯亦互ニ合從スルヲ得ハ斷シテ秦ヲ打破ルヘシ此レ丹ノ上願ニシテ性命ヲ委棄スル所ヲ知ラス唯荆卿意ヲ留メヨト

久之。荆軻曰。此國之大事也。臣驚下。恐不足任使。太子前頓首。固請母讓。然後許諾。於是尊荆卿爲上卿。舍上舍。太子日造門下。供太牢。具異物。間進車騎美女。姿荆軻所欲。以順適其意。

(不足任使) 役ニ立タサルヲ恐ルト云フナリ (太牢) 牛羊豕ノ盛饌ナリ (順適)

其意ニシタガヒカナフナリ
久フシテ荆軻言テ曰ク此レ國ノ大事ナリ臣ハ性質驚下ニシテ恐ラクハ事ニ任スルニ足ラスト太子丹進ミテ頓首シテ固ク辭讓スルナカレト請フテ然シテ後荆軻之ヲ許諾シタ

リ是ニ於テ荆軻ヲ尊ヒ上卿ト爲シテ上等ノ舍ニ寄宿セシメタリ太子丹日々門下ニ至リテ太牢ノ饌ヲ供シ珍異ノ物ヲ具ヘ間々車騎及ヒ美女ヲ進メ荆軻カ欲スル所ヲ恣マニシテ其意ニ順適シタリ

久之。荆軻未有行意。秦將王翦破趙。虜趙王。盡收入其地。進兵北畧地。至燕南界。太子丹恐懼。乃請荆軻曰。秦兵旦暮渡易水。則雖欲長侍足下。豈可得哉。

久フシテ荆軻未タ出立スルノ意アラス此時秦ノ將王翦趙ノ國ヲ打破リ趙王ヲ虜ニシテ悉ク其土地ヲ收メ入レタリ因テ兵ヲ進メテ北ノ方土地ヲ切り從ヘテ燕ノ南界ニ至リタリ太子丹大ニ懼レ仍テ荆軻ニ請フテ曰ク秦ノ兵朝夕ニ易水ヲ渡リ燕ニ攻メ入ラハ長ク足下ノ傍ニ侍セント欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤト

荆軻曰。微太子言。臣願謁之。今行而母信。則秦未可親也。夫樊將軍。秦王購之金千斤。邑萬家。誠得樊將軍首。與燕督亢之地。圖奉獻秦王。秦王必說見臣。臣乃得有以報。太子曰。樊將軍窮困來歸丹。丹不忍以己之私而傷長者之意。願足下更慮之。

(督亢)膏腴ノ地ナリ蓋シ之ヲ獻セント欲スルカ故ニ圖ヲ畫クナリ
 荆軻曰ク太子ノ言ナキモ臣固ヨリ之ヲ告ケンコト願ヘリ然レモ今臣行テ信ナクンハ秦
 ハ未タ親ムヘカラサルナリ秦ニ於テハ彼ノ樊將軍ヲ得ルモノニハ金千斤邑万家ヲ出シ
 テ之ヲ購フト聞ケリ故ニ誠ニ樊將軍ノ首ト燕ノ督亢ノ地圖トヲ得テ秦王ニ献上セハ秦
 王必ラス悦ヒテ臣ヲ見ルヘシ臣仍テ仇ヲ報スルヲ得ヘシト太子丹曰ク樊將軍ハ窮困シ
 テ來リテ丹ニ歸シタリ丹己レノ私ヲ以テ長者ノ意ヲ傷ツクニ忍ヒス願クハ足下更ニ之
 ナ謀慮セヨト

荆軻知太子不忍乃遂私見樊於期曰秦之遇將軍可謂深矣
 父母宗族皆爲戮沒今聞購將軍首金千斤邑万家將奈何於
 期仰天太息流涕曰於期每念之常痛於骨髓顧計不知所出
 耳。

(戮沒)殺シ盡スナリ

荆軻太子丹カ樊將軍ヲ殺スニ忍ヒサルヲ知リテ仍テ遂ニ私カニ樊於期ヲ見テ曰ク秦ノ
 將軍ヲ虐待スル甚タ深シト謂フヘシ父母宗族皆爲ニ戮沒セラレタリ今我秦ニ於テハ將
 軍ノ首ヲ金千斤邑万家ニ購フト聞ケリ之ヲ爲スコト將サニ奈何ンセントスル樊於期天ヲ
 仰キ太息シテ涕ヲ流シテ曰ク於期之ヲ念フコトニ常ニ痛キ骨髓ニ入レリ思フニ謀ノ出

ス所ヲ知ラサルノミ

荆軻曰今有一言可以解燕國之患報將軍之仇者何如於期
 乃前曰爲之奈何荆軻曰願得將軍之首以獻秦王秦王必喜
 而見臣臣左手把其袖右手搃其匈然則將軍之仇報而燕見
 陵之愧除矣將軍豈有意乎。

(搃其匈)搃ハ刺スナリ匈ハ胸ト通ス

荆軻曰ク今一言ニシテ燕ノ國ノ患ヲ解キ且ツ將軍ノ仇ヲ報ユヘキ者アリ何如ン於期仍
 テ進ミテ曰ク其計ハ如何ナル計ソ荆軻曰ク願クハ將軍ノ首ヲ得テ秦王ニ獻セハ秦王必
 ラス之ヲ喜ヒテ臣ヲ見ルヘシ臣其時ニ左ノ手ニテ其袖ヲ握リ右ノ手ニテ其胸ヲ刺サン
 然ラハ則チ將軍ノ仇ハ必ラス報ヒテ燕ノ陵カルトノ耻ハ必ラス除クヘシ將軍豈ニ意ア
 ルヤ

樊於期偏袒搃挽而進曰此臣之日夜切齒腐心也乃今得聞
 教遂自刎太子聞之馳往伏屍而哭極哀既已不可奈何乃遂
 盛樊於期首函封之。

(偏袒) 片肌ヲヌクナリ (搯腕) 搯ハ扼ト同シ腕ハ讀テ腕ト爲ス勇者奮勵スル時ハ必ラ
ス手ヲ以テ腕ヲ扼スルナリ俗ニ云フウデマクリスルナリ (切齒) 齒ト齒ト相磨切ス
ルナリ (腐心) 腐ハ爛ラスナリ心ヲ腐ストハ痛ミノ極ヲ謂フ

樊於期偏袒シテ腕ヲ扼シテ進ミテ曰ク此レ臣ノ日夜齒ヲ切シ心ヲ腐スル所ナリ今教命
ヲ聞クヲ得タリト遂ニ自刎シタリ太子丹之ヲ聞テ馳セ往キテ屍ニ伏シテ哀ミテ極メテ
リ然レモ事既ニ奈何ントモスヘカラス仍テ遂ニ樊於期ノ首ヲ函中ニ盛リテ之ヲ封シタ

於是太子豫求天下之利匕首得趙人徐夫人匕首取之百金
使工以藥焯之以試人血濡縷人無不立死者乃裝爲遣荆卿
燕國有勇士秦舞陽年十三殺人不敢忤視乃令秦舞陽爲
副。

(焯) 劍ヲ燒キテ之ヲ水ニ入ルナリ此レ藥水ヲ以テ之ヲ染ムルヲ謂フ (血濡縷) 血出テ

、纒カニ衣ノ一縷ヲ沾濡スルヲ言フ (裝) 支度ヲ整ヘルヲ言フ (不忤視) 忤ハ逆フ

ナリ逆視セサルハ畏ルノ甚シキナリ

是ノ時太子丹豫シメ天下第一ノ利匕首ヲ求メテ趙ノ人徐夫人トイヘル人ノ鍛ヘタルヒ
首ヲ得タリ徐ハ姓ニテ夫人ハ名ナリ婦人ニ非ス之ヲ百金ニ買取リテ工人ヲシテ毒藥ヲ

以テ之ニ塗リ付ケテ人ヲ試ミシニ血出テ、纒カニ衣ノ一縷ヲ沾セハ人立トコロニ死セ
サルモノナシ仍テ行具ヲ裝フテ爲メニ荆卿ヲ遣リタリ燕ノ國ニ勇士秦舞陽トイヘル人
アリ年十三ニシテ人ヲ殺シタレハ人恐レテ敢テ逆ラヒ視ス仍テ秦舞陽ヲシテ副使タラ
シメタリ(陳子龍云ク語意ヲ詳ニスルニ舞陽十三ノ時ニ嘗テ人ヲ殺スニ似タリ未タ必ラ
スシモ此時方ニ十三歳ナラサルナリ豎子ノ稱ハ遂ニ豎子ノ名ヲ成スト云フカ如シ必ラ
スシモ幼童子ナラサルナリ)

荆軻有所待欲與俱其人居遠未來而爲治行頃之未發太子
遲之疑其改悔乃復請曰日已盡矣荆卿豈有意哉丹請得先
遣秦舞陽荆軻怒叱太子曰何太子之遣往而不反者豎子也
且提一匕首入不測之彊秦僕所以留者待吾客與俱今太子
遲之請辭決矣。

(治行) 旅支度ナリ (豎子) 童子ナリ秦舞陽ヲ指ス (辭決) 暇乞ヒスルナリ

此時荆軻待テ俱ニ共ニ往カント欲スル所ノ人アリ其人遠方ニ居リテ未タ來ラス而シテ
旅支度ヲ爲シ頃ラク之ヲ待チテ未タ發セス太子丹之ヲ遲シトシ又荆軻カ改メ悔ルヲ疑
ヒ仍テ復タ請フテ曰ク日既ニ盡キタリ荆卿豈ニ往クニ意ナキヤ丹請フ先ツ秦舞陽ヲ遣

ルヲ得ント荆卿大ニ怒リテ太子丹ヲ叱シテ曰ク何ソ太子ノ先ツ舞陽ヲ遣ラント欲スル
ヤ今日往テ反ラサルモノハ監子ナリ且ツ今一ヒ首ヲ提ケテ測リ知ラレサル所ノ強秦ニ
入ラントス僕カ留マル所以ハ吾カ客ノ來ルヲ待チテ與ニ俱ニセントスルナリ今太子之
ヲ遇シトセリ請フ辭決シテ往カント

遂發太子及賓客知其事者皆白衣冠以送之至易水之上既
祖取道高漸離擊筑荆軻和而歌爲變徵之聲士皆垂淚涕泣

(祖) 行祭ナリ道路ノ神ヲ祭ルナ言フ (變徵之聲) 變徵ヲ商ト爲ス蓋シ悲音ナリ

荆軻遂ニ出發セリ太子丹及ヒ諸賓客ノ其事ヲ知ル所ノモノハ皆白衣冠ヲ着シ荆軻ヲ送
リテ易水ノホトリニ至リタリ荆軻既ニ祖シテ道ヲ取レリ此時高漸離(燕ノ善ク筑ヲ擊ツ
モノナリ)筑ヲ擊ツ荆軻之レニ和シ歌ヒテ變徵ノ聲ヲ爲セリ士ノ之ヲ聞ク者皆爲メニ涙
ヲ垂レテ涕泣シタリ

又前而歌曰風蕭々兮易水寒壯士一去兮不復還爲羽聲愴
慨士皆瞋目髮盡上指冠於是荆軻就車而去終已不顧遂至
秦持千金之資幣物厚遺秦王寵臣中庶子蒙嘉

(蕭々) 寂寥タル貌ナリ (羽聲) 其音怒ルナリ (愴慨) 壯士ノ志ヲ得スシテ憤激スルナ

荆軻又進ミテ一首ノ歌ヲ爲リテ曰ク風蕭々トシテ易水寒シ壯士一タヒ去リテ復タ還ラ
スト蓋シ易水ノ流レテ還ラサルカ如ク身ヲ咸陽ノ土ト爲シテ再ヒ燕ニ還ラサルノ意ヲ
詠セシナリ士ノ之ヲ聞ク者皆目ヲ瞋ラシ頭髮悉ク上リテ冠ヲ衝ケリ(此レハ大ニ怒レル
様ヲ形容スルナリ)是ニ於テ荆軻車ニ上リテ往キ終ニ後ヘテ願ミス遂ニ秦ノ國ニ至リタ
リ仍テ千金ノ貨財幣帛ヲ持シテ手厚ク秦王ノ寵臣中庶子ノ官タル蒙嘉ニ遣リタリ

嘉爲先言於秦王曰燕王誠振怖大王之威不敢舉兵以逆軍
吏願舉國爲內臣比諸侯之列給貢職如郡縣而得奉守先王
之宗廟恐懼不敢自陳謹斬樊於期之頭及獻燕督亢之地圖
函封燕王拜送于庭使使以聞大王唯大王命之

(振怖) 振ハ震ト同シフルヒオソルトナリ

蒙嘉爲メニ先ツ秦王ニ謂テ曰ク燕王誠ニ大王ノ威ヲ震ヒ怖レ敢テ兵ヲ舉ケテ軍吏ニ逆
ハス(時ニ秦ノ兵既ニ燕ノ南界ニ至ルカ故ニ言フナリ)願クハ國ヲ舉ケテ内臣ト爲リ諸侯
ノ列ニ比シテ貢職ヲ奉クルヲ郡縣ノ如クニシテ先王ノ宗廟ヲ奉ケ守ルヲ得ン然レハ燕
王恐懼シテ敢テ自カラ陳述セス謹ンテ樊於期ノ頭ヲ斬リ及ヒ燕ノ督亢ノ地圖ヲ献上シ
テ之ヲ函中ニ封シ燕王再拜シテ之ヲ秦ノ庭ニ送り使者ヲシテ大王ニ以聞セシム唯大王

之ヲ命セヨト

秦王聞之。大喜。乃朝服設九賓。見燕使者咸陽宮。荆軻奉樊於期頭函。而秦舞陽奉地圖匣。以次進。至陞。

(九賓) 則チ周禮ノ九儀ナリ解ハ詳ラカニ簡相如傳ニ見ヘタリ (匣) 函ナリ

秦王之ヲ聞テ大ニ喜ヒ仍テ朝服シテ九賓ヲ設ケテ燕ノ使者ヲ咸陽宮ニ見タリ荆軻ハ樊於期ノ頭ノ入りタル函ヲ奉ケ秦舞陽ハ燕ノ地圖ヲ入レタル匣ヲ奉ケ次第ヲ以テ進ミテ高陞ノ上ニ至リタリ

秦舞陽色變振恐。群臣怪之。荆軻顧笑舞陽。前謝曰。北蕃蠻夷之鄙人。未嘗見天子。故振懼。願大王少假借之。使得畢使於前。秦王謂軻曰。取舞陽所持地圖。

(北蕃蠻夷) 北夷ノ種ナリ (振懼) 懼ハ懼ル、ナリ (少假借之) 少シノ間此身ヲ許セト云フコトナリ

秦舞陽顔色忽チ變シテ大ニ震ヒ懼レタリ秦ノ群臣皆之ヲ怪ム荆軻秦舞陽ヲ顧ミテ之ヲ笑ヒ進ミテ謝シテ曰ク此レハ北蕃蠻夷ノ鄙人ナリ未ダ嘗テ天子ヲ見サルカ故ニ震懼セリ願クハ大王少シク之ヲ假借シテ使事ヲ前ニ畢フルコトヲ得セシメヨ秦王荆軻ニ謂テ曰

ク秦舞陽カ持スル所ノ地圖ヲ取レト

軻既取圖。奏之。秦王發圖。圖窮而七首見。因左手把秦王之袖。而右手持七首搃之。未至身。秦王驚。自引而起。袖絕。拔劍。劍長。操其室。時惶急。劍堅。故不可立拔。

(奏之) 奏ハ進ムルナリ (操其室) 操ハ把持スルナリ室ハ鞘ナリ

荆軻既ニ地圖ヲ取テ之ヲ秦王ニ奏上ス秦王地圖ヲ發ク圖窮マリテ卷軸ニ至リシ時用意ノヒ首見ハレタリ荆軻因テ左ノ手ニテ秦王ノ袖ヲ握リ右ノ手ニヒ首ヲ持シテ秦王ヲ刺スヒ首未タ秦王ノ身ニトゞカス秦王大ニ驚キ自カラ身ヲ引テ起ツ劇シク把ラレタル袖ヲ振拂ヒシ故ニ其袖忽チ斷チキレタリ秦王仍テ劍ヲ抜カントス劍甚ダ長ケレハ其鞘ヲ把リ握リタリ時ニ惶急シテ甚ダ急ナレト劍鞘ノ中ニ在リテ堅牢ナルカ故ニ立トコロニ抜クヘカラス

荆軻逐秦王。秦王環柱而走。群臣皆愕。卒起不意。盡失其度。而秦法。群臣侍殿上者。不得持尺寸之兵。諸郎中執兵。皆陳殿下。非有詔召。不得上。方急時。不及召下兵。以故荆軻乃逐秦王。而

卒惶急無以擊軻而以手共搏之。

(愕) 驚クナリ (卒) 猝ト通ス (郎中) 索隱曰ク郎中ハ今ノ宿衛ノ官ノ如シト 荆軻秦王ヲ逐フ秦王柱ヲ環リテ亡ク走レリ群臣皆驚キタレト事猝カニシテ不意ニ起リ タレハ悉ク其度ヲ取失ヒタリ秦國ノ法ニ群臣殿上ニ侍スル者ハ一尺一寸ノ兵器ヲモ持 ヲテ許サス諸郎中ノ官兵器ヲ執リテ皆殿下ニ陳列シ秦王ノ詔アリテ召スニ非サレハ 殿上ニ登ルヲ得ス今秦王事ノ急ナル時ニ方リテ殿下ノ兵ヲ召スニ及ハス故ヲ以テ荆軻 秦王ヲ逐フ而シテ秦王猝カニ恐惶シテ甚々急ナリ然レト群臣皆兵器ヲ把テ荆軻ヲ擊ツ 一ヲ得サルヲ以テ徒手ヲ以テ共ニ之ヲ搏チタリ

是時侍醫夏無且以其所奉藥囊提荆軻也。秦王方環柱走。卒惶急不知所爲。左右乃曰。王負劍。負劍。遂拔以擊荆軻。斷其左股。

(王負劍) 古ハハ帶劍ハ上長シ之ヲ振ク室ヲ出テス王カ之ヲ背ニ推シテ前短フシテ振ク 易カラシメント欲ス故ニ云フ王劍ヲ負ヘト 此ノ時侍醫ノ夏無且トイヘル者其奉クル所ノ藥囊ヲ以テ荆軻ニ擲チタリ秦王方サニ柱 ヲ環リテ亡ク走レリ猝カニ恐惶シテ甚々急ニシテ事ノ爲ス所ヲ知ラス左右ノ人叫ヒテ 曰ク王劍ヲ負ヒテ振ケト秦王左右ノ言ノ如クニ劍ヲ負ヒ遂ニ劍ヲ拔テ荆軻ヲ擊チテ其

左ノ股ヲ斷チタリ(一) 說ニ王負劍負劍トハ左右ノ人重ネ言フテ王ヲ喻スナリ上ノ負劍ヲ 以テ左右ノ言ト爲シ下ノ負劍ヲ以テ王ノ爲スト爲スハ非ナリト亦通ス) 荆軻廢乃引其七首以擿秦王。不中。中桐柱。秦王復擊軻。軻被 八創。軻自知事不就。倚柱而笑。箕倨以罵曰。事所以不成者。以 欲生劫之。必得約契以報太子也。

(擿) 擲ト同シナゲツツナリ (箕倨) 坐シテ兩足ヲ展フルヲ箕倨ト曰フ或人曰ク荆軻既 ニ左股ヲ斷タル何ソ兩足ヲ展フルヲ得ント然レト古人ノ文章ハ此レニ瑣々タラス況ン ヤ其隻足ヲ展ルモ亦箕倨ト稱スルナヤ (約契) 土地ヲ復ヘスノ契約ナリ

荆軻其場ニ倒レ仍テ其ヒ首ヲ引キヨセテ秦王ニ投ケ付ケケルニ、ネラヒハツレテ秦王ニ 中ラスシテ前ノ銅柱ニ中リタリ秦王復々荆軻ヲ擊ツ荆軻身ニ八ヶ所ノ創ヲ被リタリ自 カラ事ノ成ラサルヲ知リテ柱ニ倚リカ、リテ大ニ笑ヒ箕倨シテ罵テ曰ク事ノ成ラサル 所以ハ生ナカラ之ヲ劫カシテ必ラス約契ヲ得テ太子ニ報セント欲スルナリト 於是左右既前殺軻。秦王不怡者良久。已而論功賞群臣。及當 坐者各有差。而賜夏無且黃金二百鎰。曰。無且愛我。乃以藥囊 提荆軻也。

是ニ於テ秦王ノ左右ノ人既ニ進ミテ荆軻ヲ殺シタリ是レヨリ秦王喜ハサルヲ稍久シ既ニシテ各々功ヲ論シテ賞ヲ群臣ニ行ヒタリ及ヒ當サニ罪ニ坐スヘキモノ各々差等アリ(案スルニ荆軻カ秦王ニ見ユルヤ蒙嘉ニ因レリ然レハ其當サニ坐スヘキ者ハ蒙嘉ニ在ルナリ)夏無且ニ黄金二百兩ヲ賜フテ曰ク無且我ヲ愛セリ藥囊ヲ以テ荆軻ニ擲テハナリト於是秦王大怒益發兵詣趙詔王翦軍以伐燕十月而拔薊城燕王喜太子丹等盡率其精兵東保於遼東秦將李信追擊燕王急

(保) 固ク守ルナリ

是ニ於テ秦王大ニ怒リテ益々兵ヲ發シテ趙ノ國ニ至ラシメ王翦ノ軍ニ詔シテ燕ヲ伐タシメタリ十月ニシテ燕ノ都ノ薊城ヲ拔取レリ燕王喜及ヒ太子丹等悉ク其精兵ヲ率ヒテ東ノ方遼東トイヘル所ニ保守セリ秦ノ將李信燕王ヲ追擊シテ甚々急ナリ

代王喜乃遺燕王喜書曰秦所以尤追燕急者以太子丹故也今王誠殺丹獻之秦王秦王必解而社稷幸得血食

代王喜仍テ燕王喜ニ書ヲ遺リテ曰ク秦ノ尤モ燕ヲ追フノ甚々急ナル所以ノ者ハ太子丹ノ故ヲ以テナリ今王誠ニ太子丹ヲ殺シテ之ヲ秦王ニ獻セハ秦王必ラス怒リテ解テ燕

ノ社稷幸ニ祭リテ奉スルヲ得ヘシト

其後李信追丹丹匿衍水中燕王乃使使斬太子丹欲獻之秦秦復進兵攻之後五年秦卒滅燕虜燕王喜其明年秦并天下立號爲皇帝

(皇帝) 秦王自カラ思フニ德三皇ヲ兼子功五帝ニ過キタリト故ニ皇帝ト曰フナリ

其後李信太子丹ヲ追フ太子丹衍水ノ澤中ニ匿レタリ燕王仍テ使者ヲシテ太子丹ヲ斬ラシメ之ヲ秦ニ獻セント欲ス秦復々兵ヲ進メテ之ヲ攻メタリ其後チ五年ヲ過キテ秦終ニ燕ヲ滅シ燕王喜ヲ虜ニシタリ其明年秦終ニ天下ヲ併セ取リ號ヲ立テハ皇帝ト爲リタリ於是秦逐太子丹荆軻之客皆亡高漸離變名姓爲人庸保匿作於宋子

(庸保) 庸ハ備ト通ス保ハ保信ナリ庸保トハ其身ヲ賣備シテ限期ヲ定ムルヲ云フ俗ニ云フヒヨウトリナリ (宋子) 縣ノ名ナリ人名ニ非ス

是ニ於テ秦太子丹ノ客及ヒ荆軻ノ客ヲ逐拂フテ皆亡ケ失セタリ高漸離姓名ヲ變シテ人ノ爲メニ庸保シ匿レテ宋子トイヘル所ニテ庸作シタリ

久之作苦聞其家堂上客擊筑傍徨不能去每出言曰彼有善

有不善從者以告其主曰彼庸乃知音竊言是非家丈人召使前擊筑一坐稱善賜酒

(傍俚) 徘徊ナリ即チウロノスルコナリ (從者) 主人ノ家ノ左右ノ人ヲ言フ (家丈人) 主人翁ヲ言フ

高漸離固ヨリ熱セサル業ナルヲ以テ久フシテ庸作スルコ甚々苦メリ其酒家ノ堂上ノ客ノ筑ヲ擊ツテ聞テ傍俚トシテ去ルコ能ハス毎ニ言チ出シテ曰ク彼レニ善アリ不善アリト以テ其音ノ善惡ヲ評シタリ從者其主人ニ告ケテ曰ク彼ノ庸作スル所ノ人ハ能ク音ヲ知レリ堂上ノ客ノ筑ヲ擊ツテ聞テ竊カニ其是非ヲ言ヘリ主人翁仍テ高漸離ヲ召シテ前ミテ筑ヲ擊タシメシニ坐中ノ人悉ク善シト稱セリ仍テ高漸離ニ酒ヲ賜ヒタリ

而高漸離念久隱畏約無窮時乃退出其裝匣中筑與善衣更容貌而前舉坐客皆驚下與抗禮以爲上客使擊筑而歌客無不流涕而去者宋子傳客之

(畏約) 約ハ貧賤儉約ナリ既ニ庸保ト爲リテ常ニ人ヲ畏ルコカ故ニ畏約ト云フナリ

(裝匣) 荷物箱ナリ (抗禮) 對等ノ禮ヲ施スナリ

高漸離仍テ自カラ念フニ久シク隱遁シテ畏約シテ窮マル時ナシト仍テ退テ其裝匣ノ中

ノ筑ト美服トヲ取出シ容貌ヲ改メテ進ミタリ一坐ノ客悉ク驚キ席チ下リテ俱ニ對等ノ禮ヲ施シ是レヨリ高漸離ヲ以テ上客ト爲シタリ仍テ筑ヲ擊テ歌ハシム坐客皆涕ヲ流シテ去ラサル者ナシ宋子縣ノ中ニテ互ニ傳ヘテ高漸離ヲ客ト爲シタリ

聞於秦始皇秦始皇召見人有識者乃曰高漸離也秦始皇惜其善擊筑重赦之乃矐其目使擊筑未嘗不稱善稍益近之高漸離乃以鉛置筑中復進得近擊筑扑秦始皇帝不中於是遂誅高漸離終身不復近諸侯之人

(矐) 馬尿ヲ以テ矐シテ明ヲ失ハシムルナリ (扑) 擊ツナリ

此ノ事秦ノ始皇帝ニ聞ス秦ノ始皇之ヲ召シ見タリ人之ヲ知ル者アリテ曰ク此レ荆軻ノ友タル高漸離ナリト秦ノ始皇其善ク筑ヲ擊ツテ惜ミテ重ネテ之ヲ赦シ仍テ其目ヲ矐シ又之ヲシテ筑ヲ擊タシムルニ未ダ嘗テ善シト稱セスンハアラス仍テ稍ク益々之ヲ近ツケタリ高漸離乃チ鉛ヲ以テ挺チ爲クリ筑中ニ著ケテ重クシテ人ヲ擊ツニ便セシム復タ進ミテ秦王ニ近ツクテ得テ筑ヲ舉ケテ秦ノ始皇ヲ擊チシカ不幸ニシテネラヒハヅレテ中ラス是ニ於テ始皇怒リテ遂ニ高漸離ヲ誅シ終身復タ諸侯ノ客ヲ近ツケサリシ

魯勾踐已聞荆軻之刺秦王私曰嗟乎惜哉其不講於刺劍之

術也。甚矣吾不知人也。曩者吾叱之。彼乃以我爲非人也。

魯勾踐前ニ荆軻ト博シテ道ヲ爭フ者ナリ既ニ荆軻カ秦王ヲ刺スト聞テ私カニ謂テ曰ク
ア、惜ヒカナ其刺劍ノ術ヲ講習セサルヤ甚タシ吾カ人ヲ知ラサルコト先キニ吾荆軻ヲ叱
シタリ彼必ラス我ヲ以テ人ニ非スト爲セシナラント

太史公曰。世言荆軻其稱太子丹之命。天雨粟。馬生角也。太過。又言荆軻傷秦王。皆非也。始公孫季功董生與夏無且游。且知其事。爲余道之。如是。自曹沫至荆軻五人。其義或成或不成。然其立意較然。不欺其志。名垂後世。豈妄也哉。

(較然) 明白ナル貌ナリ (垂後世) 垂トハ遺ルヲ言フ (妄) ミダリナリ

世間荆軻ノ事ヲ言ヒ其中太子丹カ成敗ノ命ヲ稱シタリ曰ク天粟ヲ雨ラシ馬角ヲ生スト甚タ過テリト謂フヘシ(燕ノ太子丹秦ニ質子タリシ時ニ本國ニ歸ランコトヲ求ム秦王曰ク鳥ノ頭變シテ白色ト爲リ馬角ヲ生セハ乃チ許サント太子丹仍テ天ヲ仰テ歎息セシカハ鳥頭即チ白ク馬モ亦角ヲ生シタリト此レ甚タ怪説ニシテ取ルニ足ラス故ニ曰ク太々過ツト又言テ曰ク荆軻秦王ヲ困シメテ之ヲ傷ツクト是等ノ事ハ皆非ナリ最初公孫季功及ヒ董生トイヘル二人秦ノ侍醫夏無且ト俱ニ交リ游ヒテ具サニ其事ヲ知レリ故ニ余カ爲

メニ之ヲ述ブルコト此ノ如シ曹沫ヨリ荆軻ニ至ルマテ凡テ五人其事或ハ成リ或ハ成ラス然レモ其各々意ヲ立ツルコト較然トシテ明白ニシテ欺カス其名後世ニ垂レ遺レルハ豈ニ妄ト謂フヘケンヤ

李斯列傳第二十七

李斯者。楚上蔡人也。年少時爲郡小吏。見吏舍廁中鼠。食不潔。近人犬。數驚恐之。斯入倉。觀倉中鼠食積粟。居大廡之下。不見人犬之憂。於是李斯乃歎曰。人之賢不肖。譬如鼠矣。在所自處耳。乃從荀卿學帝王之術。

(廡) 廊下ノ周室ナリ

李斯ハ楚ノ上蔡ノ人ナリ其年少キ時ニ郡ノ小官吏ト爲レリ吏舍ノ廁ノ中ニ居ル所ノ鼠カ不潔ノ物ヲ食ヒ人ヤ犬ナトノ側ニ近ヨリテ數々之ニ驚キ恐ラサル、ヲ見タリ李斯又倉ノ中ニ入テ倉ノ中ノ鼠カ積ミタル粟ヲ食ヒ大廡ノ下ニ居リテ人ヤ犬ニ獲ラル、ノ憂ヲ知ラサルヲ見タリ李斯仍テ歎息シテ曰ク人ノ賢ナルト愚ナルトハ譬ヘハ鼠ノ如シ其自カラ居ル所ノ場處ニ在ルノミト仍テ荀卿ニ從ヒテ帝道王道ノ術ヲ學ヒタリ

學已成。度楚不足事。而六國皆弱。無可爲建功者。欲西入秦。辭於荀卿曰。斯聞得時無怠。今萬乘方爭時。游者主事。今秦王欲吞天下。稱帝而治。此布衣馳騫之時。而游說者之秋也。

(布衣) 微賤ノ人ヲ言フ解ハ前ニ詳カナリ (馳騫) ハセハスルナリ (游說者之秋) 秋ハ万物成熟ス今強ヲ爭フ時モ亦遊說ノ士ノ成熟ノ時ナリ故ニ游說ノ秋ト云フナリ

李斯學業既ニ熟達ス自カラ度ルニ楚王ハ事フルニ足ラス六國ハ皆弱クシテ爲メニ功ヲ建ツヘキ者ナシト仍テ西ノ方秦ニ入ラント欲ス荀卿ニ暇乞シテ曰ク斯之ヲ聞ケリ凡テ人タル者ハ時節ニ投シタレハ決シテ怠慢スルナカレト今万乘ノ諸侯カ互ニ雄ヲ爭フノ時ニシテ游說者當サニ功ヲ立テ名ヲ成シ事務ヲ主トルヲ得ヘシ(蘇秦カ六國ノ相ノ印ヲ佩フカ如キ是レナリ)今秦王天下ヲ吞并シ帝號ヲ稱シテ天下ヲ治メント欲ス此レ布衣タル者カ奔走スヘキノ時ニシテ游說者ノ務ムヘキ大切ノ時ナリ

處卑賤之位而計不爲者。此禽鹿視肉。人面而能彊行者耳。故詬莫大於卑賤。而悲莫甚於窮困。久處卑賤之位。困苦之地。非世而惡利。自託於無爲。此非士之情也。

(禽鹿視肉) 禽鹿トハ猶禽獸ト言フカ如シ肉ヲ視ルトハ肉ヲ視テ之ヲ食フヲ言フ (詬) 恥辱ナリ (地) 場所ナリ (非) 非ト通ス

已レノ身長ク卑賤ノ位ニ居テ游說ヲ假リテ榮貴ヲ取ルノ計ヲ爲サトルモノハ譬ヘハ猶禽獸ノ肉ヲ視テ之ヲ食フコトハカリナリ知ルカ如シ徒ニ人間ノ面ヲ被リテ能クツトメ行フ者ハカリナリ故ニ人ノ耻ハ卑賤ナルヨリ大ナルハナク悲ミハ窮困ナルヨリ甚タシキハナシ久シク卑賤ノ位困苦ノ地ニ居リ世ノ富貴ヲ講リテ其榮利ヲ惡ミ自カラ無爲ニ託シテスマシ居ルモノハ士人タル者ノ情實ニ非ス力之ヲ致ス能ハサルナリ

故斯將西說秦王矣。至秦。會莊襄王卒。李斯乃求爲秦相。文信侯呂不韋舍人。不韋賢之。任以爲郎。

(任) 其人ヲ任保スルヲ言フ解ハ前ニ見ヘタリ

故ニ李斯將サニ西ノ方秦王ニ說カントシテ秦ニ至ルタマム(秦ノ莊襄王卒ス李斯仍テ自カラ求メテ秦ノ相文信侯呂不韋ノ舍人ト爲レリ呂不韋甚タ李斯ヲ賢ナリトシ任舉シテ郎官ト爲シタリ

李斯因以得說說秦王曰。胥人者。去其幾也。成大功者。在因瑕釁而遂忍之。

(胥人者去其幾) 胥人ハ猶胥吏小人ノ如シ去ハ猶失フノ如シ幾ハ動クノ微ナリ言フハ小人ハ幾事ノ會ヲ知ラサルカ故ニ毎ニ時ヲ失フナリ (瑕釁) 瑕ハ玉ノキズナリ釁ハ隙

ナリ、キズスキノ有ルヲ言フ
李斯因テ秦王ニ説クヲ得タリ説テ曰ク小人ハ事ノ機會ヲ知ラサルカ故ニ毎ニ時ヲ失フ
ナリ大功ヲ成就スルモノハ則チ然ラス諸侯ノ瑕罅アルニ因リテ遂ニ心ヲ忍ヒテ之ヲ翦
リ除クナリ故ニ我將サニ秦ニ説テ天下ヲ并セントスルナリ

昔者秦穆公之霸終不東并六國者何也諸侯尙衆周德未衰
故五伯迭興更尊周室自秦孝公以來周室卑微諸侯相兼關
東爲六國秦之乘勝役諸侯蓋六世矣。

(六國)韓魏趙齊燕楚ナリ (五伯)伯ハ伯叔伯長ノ義ナリ後人侯伯ノ字ト溷スルヲ恐ル
カ故ニ霸ノ字ヲ借リテ之ヲ別ツナリ五伯ハ齊ノ桓公晉ノ文公秦ノ穆公宋ノ襄公楚ノ莊
王ナリ (六世)孝公惠王文王武王昭王孝文王莊襄王ナリ

昔シ秦ノ穆公カ旗頭タル時終ニ東ノ方六國ヲ并吞セサリシ者ハ何ソヤ其時諸侯尙衆ク
シテ周ノ德未タ衰微セス故ニ五伯タガヒニ興リテコモク周室ヲ尊ヒタリ秦ノ孝公ノ
時ヨリ以來ハ周室既ニ衰微ニシテ諸侯互ニ兼ネ并セ關東別レテ六國ト爲レリ秦ノ勝チ
タル勢ニ附ケ入りテ諸侯ヲ使役スルコト六世ノ間ナリ

今諸侯服秦譬若郡縣夫以秦之彊大王之賢由竈上騷除足

以滅諸侯成帝業爲天下一統此萬世之一時也今怠而不急
就諸侯復彊相聚約從雖有黃帝之賢不能并也秦王乃拜斯
爲長史聽其計陰遣謀士齎持金玉以游說諸侯

(由竈上騷除) 由ハ猶ト通ス騷ハ掃ト通ス (齎持) 齎ハモタラスト訓ス持シテ人ニ遺
ルナリ

今諸侯ノ秦ニ服從スルハ譬ヘハ郡縣ノ如シ夫レ秦國ノ強キト大王ノ賢ナルトチ以テ天
下ヲ并セハ猶炊婦カ蠶ノ上ノ不淨ナル物ヲ掃除スルカ如ク敢テ難シトスルニ足ラサル
ナリ諸侯ヲ滅シ帝業ヲ成シテ天下ノ一統ヲ爲スニ足レリ此レ万世ノ一時ナリ然ルニ今
日怠慢シテ急ニ成サレハ諸侯復タ強クシテ相聚マリテ合從ヲ爲セハ其時コソ古ヘノ
黃帝ホドノ賢者アリテモ亦之ヲ并セ取ルコト能ハサルナリト秦王仍テ李斯ヲ拜命シテ長
史ノ官ト爲シテ其計ヲ用ヒ私カニ謀計ノ士人ヲ遣リ多ク金玉ヲ齎ラシ持シテ諸侯ニ游
說セシメタリ

諸侯名士可下以財者厚遺結之不肯者利劍刺之離其君臣
之計秦王乃使其長將隨其後

諸侯ノ名アル士ノ錢財ヲ以テ下スヘキモノハ手厚ク錢財ヲ遣リテ其交リヲ取結ヒ若シ

史記戰國策抄のべし六十九頁より

承知セサル者アレハ直クニ利劍ヲ以テ之ヲ刺シ殺シテ其君臣ノ計ヲ離間ス秦王仍テ其
長將ヲ擇ヒテ其後ヘニ隨ハシメタリ

李斯諫(六六一) 秦王拜斯爲客卿。會韓人鄭國來間秦以作注溉渠。已而覺。秦宗室大臣皆言秦王曰。諸侯人來事秦者。大抵爲其主游間於秦耳。請一切逐客。

傳 列 斯

(注溉渠) 雍州雲陽縣ノ西南二十五里先キヨリ起リ山邱瓠口ヨリ渠ヲ爲グリ北山ニ傍フ
テ東ノ方洛水ニ注ク渠成リテ四万餘頃ニ注ク因テ名ケテ鄭國渠トモ曰フナリ (游間)
游ヒテ國情ヲ伺フナ言フ (一切) 猶一例ノ如シ盡ク之ヲ逐フナ言フ
秦王李斯ヲ拜命シテ客卿ト爲スママ、韓ノ人鄭國トイヘルモノ來リテ秦ヲ間シテ注
溉渠ヲ作り既ニシテ其事發覺シタリ鄭國ハ韓ノ水工ナリ韓此時秦ノ兵ニ苦ムヲ以テ鄭
國ヲシテ秦ヲ間シテ注溉渠ヲ作ラシメ人工ヲ費シテ東伐セサラシムルナリ秦ノ宗室及
ヒ大臣皆秦王ニ申シテ曰ク諸侯ノ人來リテ秦ニ事フルモノハ大抵各々其主ノ爲メニ遊
ヒテ秦ノ國情ヲ伺フハカリナリ甚々秦國ノ爲メニナラサレハ請フ一切ニ諸侯ノ客ヲ逐
ヒ掃ハント

李斯議亦在逐中。斯乃上書曰。臣聞吏議逐客。竊以爲過矣。昔

繆公求士。西取由余於戎。東得百里奚於宛。迎蹇叔於宋。求丕
豹公孫支於晉。此五者不產於秦。而繆公用之。并國二十。遂霸
西戎。

(求丕豹公孫支於晉) 求ノ字ハ文選ニハ來ニ作レリ索隱ニ據ルニ亦來ニ作ルニ似タ
リ

傳 列 斯 李

李斯モ亦諸侯ノ人ニシテ來リテ秦ニ事フル者ナレハ亦議セラレテ其逐ヒ掃ハルト中ニ
在リ李斯仍テ上書シテ曰ク臣之ヲ聞ケリ秦ノ官吏此頃諸侯ノ客ヲ逐フヲ議スト臣竊カ
ニ以テ過テリト爲ス何トナレハ昔シ秦ノ繆公ハ天下ノ賢士ヲ求メテ西ノ方由余トイヘ
ル人ヲ西戎ヨリ取り用ヒタリ(由余ハ西戎ノ人ニテ來テ秦ニ降レリ東ノ方百里奚トイヘ
ル人ヲ宛ヨリ得テ用ヒタリ)百里奚ハ虞ノ人ニテ秦ニ入レリ後チ秦ヲ亡ケテ宛ニ走ル繆
公之ヲ贖ヒ歸リタリ蹇叔トイヘル人ヲ宋ヨリ迎ヘテ用ヒタリ(蹇叔ハ岐州ノ人ニテ時ニ
宋ニ游ヘリ故ニ繆公幣帛ヲ厚フシテ蹇叔ヲ宋ヨリ迎ヘタリ)丕豹公孫支ヲ晉ヨリサガシ
求メテ用ヒタリ(丕豹ハ晉ノ人ニテ晉ヨリ秦ニ奔リタリ公孫支ハ岐州ノ人ニテ晉ニ游ヒ
後チ秦ニ歸シタリ)此ノ五人ノモノハ皆秦國ノ生スル所ニ非スシテ繆公能ク之ヲ任用シ
二十餘國ヲ伐チテ遂ニ西戎ノ霸王ト爲レリ

孝公用商鞅之法。移風易俗。民以殷盛。國以富彊。百姓樂用。諸

侯親服。獲楚魏之師。舉地千里。至今治疆。

(移風易俗) 風ハ化ナリ俗ハ常ナリ君上ノ化スル所之ヲ風ト謂ヒ民下ノ習フ所之ヲ俗ト謂フナリ (殷盛) 殷モ亦盛ナリ (舉地) 猶地ヲ開クト云フカ如シ

孝公ハ商鞅ヲ用ヒテ秦ノ舊法ヲ變更シ弊風頓俗ヲ移易シテ人民ヲシテ正ニ趨キ厚キニ歸セシム人民豊富ニシテ國家富實ナリ百姓皆爲メニ用ヒラルトナ樂ミ諸侯皆心ヲ秦ニ歸シテ親ミ服セリ楚魏二國ノ兵ヲ得テ州郡ヲ開クテ千里ノ間ナリ秦是ニ由リテ今日ニ至ルマテ治マリ強シ

惠王用張儀之計。拔三川之地。西并巴蜀。北收上郡。南取漢中。包九夷。制鄢郢。東據成臯之險。割膏腴之壤。遂散六國之從。使之西面事秦。功施至今。

(九夷) 楚ニ屬スル夷ナリ (膏腴之壤) 膏ハ肉ノ肥ヘタル者ナリ腴ハ魚ノ腹下ノ肥ヘタルナリ土地ノ肥ヘタルト此ノ如キヲ言フ (施) 即チ移ノ字ニテヒクナリ

惠王ハ張儀ヲ信任シ其計ヲ用ヒテ韓ノ宜陽ヲ攻メ三川ヲ降シ西ノ方巴蜀ヲ并セ(三川ヲ通スルハ甘茂ニシテ巴蜀ヲ滅セルハ司馬錯ナリ今並ヒニ張儀ト云フモノハ張儀カ秦ノ相タルヲ以テ皆功ヲ相ニ歸ス又三川ハ是レ張儀先ツ伐ツテ請フカ故ナリ) 北ノ方上郡ノ地ヲ取り南ノ方漢中ヲ并セ取り九夷ノ地ヲ包ネ并セ楚ノ鄢郢二邑ヲ制取ス東ノ方成臯

ノ險要ノ地ニ據リ膏腴ノ沃壤ヲ割キ取り遂ニ六國ノ合從ヲ散シテ之ヲシテ西ニ向ヒテ秦ニ事ヘシメタリ其強盛ノ功ハ施ヒテ今日ニ至レリ(最初齊楚燕趙韓魏ノ六國從ヲ約シテ秦ヲ制ス張儀游說ヲ以テ其從ヲ散シ六國ヲシテ皆四面シテ秦ニ事ヘシムルナリ)

昭王得范雎。廢穰侯。逐華陽。彊公室。杜私門。蠶食諸侯。使秦爲帝業。此四君者。皆以客之功。

(杜私門) 杜ハ塞クナリ私門ハ私情ヲ以テ請フヲ謂フ (蠶食) 他國ヲ侵シ削ルヲ蠶ノ業ヲ食フカ如キヲ謂フ (四君) 繆公、孝公、惠王、昭王ヲ指ス (以客之功) 以ハ用ユルナリ

昭王ハ魏人范雎ヲ用ヒテ穰侯魏冉ヲ廢シ華陽君羊戎ヲ逐ヒ拂ヒ公室ヲ強大ニシテ私情ノ請ヒナ杜塞ス諸侯ヲ蠶食シテ秦王ヲシテ帝王ノ業ヲ成就セシム此四君ハ皆諸侯ノ客ノ功ヲ用ヒテ爲セルナリ

由此觀之。客何負於秦哉。向使四君却客而不內。疏士而不用。是使國無富利之實。而秦無彊大之名也。

(向) 嚮ト通スサキニト訓ス

由余以下ノ諸子ハ皆外國ノ人ニシテ能ク功ヲ秦ニ立テタリ然ラハ諸侯ノ客何ソ敢テ秦ニ貢カンヤ、サキニ繆公以下ノ四君ヲシテ外國ノ客ヲ退ケテ收メ納レズ賢士ヲ遠サケテ

舉ク用ヒサラシメハ是レ國家チシテ富利ノ實ナク秦室チシテ強大ノ名ナカラシムルナ
 今陛下致昆山之玉。有隨和之寶。垂明月之珠。服太阿之劍。乘
 織離之馬。建翠鳳之旗。樹靈鼉之鼓。此數寶者。秦不生一焉。而
 陛下說之何也。

(昆山之玉) 崑山ノ岡名玉ヲ出スナリ (隨和之寶) 昔シ隨侯行テ大蛇ノ中斷スルニ遇
 フ其靈ヲ疑ヒ人ナシテ藥ヲ以テ之ヲ封セシム蛇乃チ能ク去ル因テ其處ヲ號シテ斷蛇丘
 ト爲ス歲餘ニシテ蛇明珠ノ徑寸ナルヲ銜ミ絶白ニシテ光アリ因テ隨珠ト號シタリ下和
 ノ璧ハ始皇ノ傳國璽ト爲セリ (明月之珠) 珠ハ江南ヨリ取ル明月ノ光ノ如シ (服佩
 フナ謂フ (太阿之劍) 太阿ハ劍ノ名ナリ (織離之馬) 織離ハ良馬ノ名ナリ (翠鳳之
 旗) 翠羽ヲ以テ鳳ノ形ト爲シテ旂ヲ飾ルナリ翠ハ鳥ノ名ニテシヤウビンナリ (靈鼉
 之鼓) 鼉ハ蜥蜴ニ似テ長ク丈餘アリ其甲體ノ如ク皮ハ堅厚ニシテ大鼓ヲ張ルヘシ
 今陛下玉ヲ崑山ノ岡ニ取り寶ヲ隨和ノ璞ニ求メ明月ノ珠ヲ垂レ太阿ノ劍ヲ佩ヒ織離ノ
 馬ニ乘リ翠鳳ノ旗ヲ建テ靈鼉ノ鼓ヲ立ツ此ノ數寶ハ秦一ツナモ生セサルナリ而ルニ陛
 下皆之ヲ悅フハ何事ソヤ

必秦國之所生然後可則是夜光之璧。不飾朝廷。犀象之器。不

爲玩好。鄭衛之女。不充後宮。而駿良馱駟。不實外廐。江南金錫
 不爲用。西蜀丹青不爲采。

(馱駟) ハ良馬ナリ生レテ三日ニシテ能ク其母ヲ超フト云フ
 必ラス秦國ノ生スル所ニシテ然シテ後ニ可ナラハ則チ是レ夜光ノ璧ハ秦ノ産ニ非サル
 カ故ニ以テ朝廷ニ飾ルヘカラス犀角ヤ象牙ヲ以テ作りタル器ハ皆外國ノ産ナレハ以テ
 玩好ノ器ト爲スヘカラス鄭衛二國ノ美女ハ秦ノ後宮ニ充テスシテ駿馬ヤ馱駟ハ秦ノ外
 廐ニ實タス江南ノ地ニ生スル所ノ金ヤ錫ハ敢テ用ヲ爲サス西蜀ニ生スル所ノ丹青モ亦
 敢テ采色ヲ爲サレルナリ

所以飾後宮。充下陳。娛心意。說耳目者。必出於秦。然後可。則是
 宛珠之簪。傅璣之珥。阿縞之衣。錦繡之飾。不進於前。而隨俗雅
 化。佳冶窈窕趙女。不立於側也。

(充下陳) 下陳ハ猶後列ト云フカ如シ (宛珠之簪) 宛ノ地ヨリ出ツル所ノ珠ヲ以テ簪ノ
 上ニ飾ルナリ (傅璣之珥) 傅ハ附タルナリ璣ハ珠ノ圓ナラサルモノナリ珥ハ環ナリ一
 名耳環ト云フ珠玉ヲ以テ耳ヲ飾ル者ナリ言フハ璣ヲ以テ耳環ニ附著スルナリ (阿縞
 之衣) 齊國東阿縣ノ縞帛ヲ織ト爲スナリ (錦繡之飾) 錦繡ヲ以テ緣飾ト爲スナリ云フ

(雅化) 雅ハ閑雅ナリ即チシナヤカナルヲ言フ化ハ變化スルナリ (佳冶窈窕) 皆美好ノ

鏡ナリ 宮女ヲ粧飾シ後宮ノ列屋ニ充滿シテ心意ヲ樂マシメ耳目ヲ悦ハシムルモノ必ラス秦ニ出テ、然シテ後チ可ナラハ則チ是レ宛珠ノ簪傳瓊ノ珥阿綺ノ衣錦繡ノ飾此等ノ類ハ皆王ノ前ニ進メス又能ク風俗ニ隨ヒテ閑雅變化スル所ノ佳冶窈窕タル趙國ノ美女ハ王ノ側ラニ立タサルナリ

夫擊甕叩鈸彈箏搏髀而歌呼鳴々快耳目者真秦之聲也鄭衛桑間昭虞武象者異國之樂也今棄擊甕叩鈸而就鄭衛退彈箏而取昭虞若是者何也快意當前適觀而已矣

(甕) 水ヲ汲ムノ瓶ナリ (鈸) 瓦器ナリ秦人之ヲ鼓シテ樂ヲ節スルナリ (箏) 五絃ニシテ筑身ナリ (髀) 股ナリ (鳴々) 歌フ聲ナリ (鄭衛桑間) 鄭衛ハ亂世ノ音ナリ桑間ハ亡國ノ樂ナリ (昭虞武象) 昭ハ韶ト通ス韶虞ハ舜ノ樂ナリ武象ハ周ノ樂ナリ韶虞ト鄭衛トチ以テ並ヘ説クハ戰國ノ習ニシテ敢テ嫌フヲ爲サトリシナリ (適觀) 適ハ中適スルナリ 夫レ水餅ヲ擊チ瓦器ヲ叩キ箏ヲ彈シ股ヲ擊チテ歌呼鳴々然トシテ人ノ觀聽チ覺カシテ耳目ヲ悦ハシムル者ハ真ニ秦ノ聲ナリ鄭衛桑間韶虞武象ハ皆異國ノ樂ニシテ秦ノ樂ニ

非サルナリ甕ヲ擊チ鈸ヲ叩クヲ棄テ、鄭衛桑間ノ音ニ就キ箏ヲ彈シ髀ヲ搏ツチ退ケテ韶虞武象ノ樂ヲ取ル此ノ如キハ何ノ故ソヤ其心意ヲ前ニ快フシテ耳目ノ視聽チ娛シマシムルヲ取ルノミ

我は李斯今取人則不然不問可否不論曲直非秦者去爲客者逐然則是所重者在乎色樂珠玉而所輕者在乎人民也非所以跨海內制諸侯之術也

(術) 道ナリ

然ルニ今日人物ヲ採用スルハ然ラス其可否ヲ問ハス曲直ヲ論セスシテ秦ノ人ニ非サル者ハ皆之ヲ去リ來テ客ト爲ルモノハ皆之ヲ逐フ然ラハ則チ是レ重ニスル所ノモノハ色樂珠玉ニ在リテ輕ニスル所ノモノハ人民ニ在ルナリ此レ海内ヲ兼并シ諸侯ヲ制馭スル所以ノ道ニ非サルナリ

臣聞地廣者粟多國大者人衆兵彊則士勇是以太山不讓土壤故能成其大河海不擇細流故能就其深王者不却衆庶故能明其德是以地無四方民無異國四時充美鬼神降福此五

我は李斯今取人則不然不問可否不論曲直非秦者去爲客者逐然則是所重者在乎色樂珠玉而所輕者在乎人民也非所以跨海內制諸侯之術也

帝三王之所以無敵也。

(地無四方)皆王土ナルヲ謂フ (民無異國)皆王臣ナルヲ謂フ
臣之ヲ聞ケリ土地ノ廣キモノハ粟多ク國家ノ大ナルモノハ人衆シ兵強ケレハ士モ亦自
カラ勇ナリト是ヲ以テ太山ハ土壤ノ善惡ヲ受ケテ讓ラサルカ故ニ能ク其大チ成シ河海
ハ細流ノ清濁ヲ入レテ擇ハサルカ故ニ能ク其深チ就ス王者ハ衆庶ヲ容レテ退ケサルカ
故ニ能ク其德行ヲ顯セリ是ヲ以テ地ニ四方ナク民ニ異國ナク四時均シク調フテ美盛ナ
ルヲ常ニ内ニ充チ鬼神モ其祭ヲ歆享シテ之レニ降スニ福ヲ以テセリ古ヘノ五帝三王皆
此ノ如キカ故ニ天下ニ一人ノ之レニ敵スル者ナキ所以ナリ

今乃棄黔首以資敵國却賓客以業諸侯使天下之士退而不
敢西向裏足不入秦此所謂藉寇兵而齎盜糧者也。

(黔首)黔ハ黒キヲナリ秦ニテ人民ヲ黔首ト曰フハ周ニテ之ヲ黎民トイフニ同シ (資)
猶給スト言フカ如シ言フハ民ハ國ノ本ナリ之レヲ棄ツレハ衆乖離シテマサニ敵國ノ助
クト爲ルナリ (業)諸侯業ストハ諸侯ニ與ヘテ功業ヲ立テシムルナリ一説ニ業ハ助ク
ルナリ言フハ賢者ハ國ノ輔ケナリ之ヲ退クレハ即チ國空虚ニシテ反テ諸侯ノ利ト爲ル
ナリト然レモ業ニ輔佐ノ義ナシ此説非ナリ (藉)借スナリ (齎)持シテ遺グルナリ
然ルニ今日ハ黔首ヲ棄テ、敵國ノ助ケト爲シ賓客ヲ退ケテ諸侯ニ與ヘテ功業ヲ立テシ

メ天下ノ士人チシテ退テ敢テ西ノ方秦ニ向ハシメス足チ包ミ裏ミテ敢テ秦ニ入ラサラ
シム此レ謂ハユル兵甲ヲ以テ我チ害セント欲スル所ノ寇讎ニ借シテ糧食ヲ以テ我ニ盜
マント欲スル所ノ盜賊ニ齎ラスルモノナリ

夫物不產於秦可寶者多士不產於秦而願忠者衆今逐客以
資敵國損民以益讎內自虛而樹怨於諸侯求國無危不可得
也。

(樹怨於諸侯)怨チ樹ツトハ怨チ結フチ言フ
夫レ物ノ秦國ニ生セスシテ其實ト爲スヘキモノ甚々多ク士ノ秦國ニ生セスシテ忠チ盡
サンコト願フ者甚々衆シ而ルニ今日諸侯ノ客ヲ逐ヒ掃フテ敵國ヲ資ケ民チ損シテ仇讎
チ益ス内ハ客ヲ逐フテ自カラ其國チ空虚ニシ外ハ怨ミチ諸侯ニ結フ此ノ如クニシテ國
家ノ危キコトナキチ求ムトモ得ヘカラサルナリ

秦王乃除逐客之令復李斯官卒用其計謀官至廷尉二十餘
年竟并天下尊主爲皇帝以斯爲丞相夷郡縣城銷其兵刃示
不復用使秦無尺土之封不立子弟爲王功臣爲諸侯者使後

無戰攻之患。

(銷) ケシツプスナリ (無尺土之封) 僅カニテモ諸侯ヲ封スルコトナキヲ言フ

秦王仍テ逐客ノ條令ヲ取除キテ李斯ノ官職ヲ復シ終ニ李斯ノ計謀ヲ用ヒテ其官廷尉ニ至レリ二十餘年ヲ過キテ竟ニ天下ヲ兼ネ并セ秦王ヲ尊ヒテ皇帝ト爲シ李斯ヲ以テ丞相ト爲シ郡縣ノ城ヲ平ラケ其兵又ヲ銷シテ復々之ヲ用ヒサルヲ示シタリ秦國ヲシテ僅カニ尺土ノ封地ナク子弟ヲ立テ、王ト爲サス功臣ヲシテ諸侯ト爲サ、ラシムルモノハ天下後世ヲシテ復々戰攻ノ患ナカラシムルナリ

始皇三十四年。置酒咸陽宮。博士僕射周青臣等頌稱始皇威德。齊人淳于越進諫曰。臣聞之。殷周之王千餘歲。封子弟功臣。自爲支輔。今陛下有海內。而子弟爲匹夫。卒有田常六卿之患。臣無輔弼。何以相救哉。事不師古而能長久者。非所聞也。今青臣等又面諛以重陛下過。非忠臣也。始皇下其議。丞相丞相諂其說。細其辭。乃上書曰。古者天下散亂。莫能相一。是以諸侯並作。語皆道古以害今。飾虛言以亂實。人善其所私學。以非上所

建立。

(頌稱) ホメトナフルナリ (支輔) サ、ヘタスグルナリ (匹夫) 賤民ノ稱ナリ匹ハ匹偶

ニテ二人配合ノ義ナリ庶人ハ貴人ノ如ク數妾ヲ蓄フルコト能ハサレハ亦夫妻相匹スルナリ (輔弼) タスケタスクナリ (細) 黜ト同シ、シリゾクルナリ (私學) 古ヘノ學ハ皆專門ナリ李斯之ヲ私學ト謂フナリ (非) 誹譏スルナリ

始皇ノ三十四年ニ咸陽宮ニ於テ置酒セリ博士僕射ノ官ノ周青臣等始皇ノ威德アルヲ頌稱シタリ齊人淳于越トイヘルモノ進ミテ諫メテ曰ク臣之ヲ聞ケリ殷ト周トノ王タルコト千餘歲ノ久シキ間ナリ皆子弟及ヒ功臣ヲ封シテ自カラ支輔ト爲セリ方今陛下海内ヲ兼并セシニ子弟猶匹夫ト爲リテ封侯ヲ得ス若シ粹カニ古ヘノ齊ノ田常六卿ノ如キノ禍アリテ功臣ノ之レカ輔弼タルモノナケレハ何ヲ以テ相救ハンヤ事ヲ爲スニ古ヘナ手本トセシテ能ク長久ナル者ハ未タ嘗テ聞カサルナリ今周青臣等又面ノアタリ諂諛シテ陛下ノ過失ヲ重ヌルハ忠臣ニ非サルナリト始皇其事ヲ丞相ニ下シテ議セシム丞相其說ヲ以テ謬ルトシテ其辭ヲ黜ケタリ仍テ上書シテ曰ク古ヘハ天下散亂シテ能ク相一統スルナシ是ヲ以テ諸侯並ヒ起リ其談語スルニ皆古ヘノ事ヲ言フテ今ノ事ヲ忌害シ虛言ヲ飾リテ事實ヲ打亂ル人々皆其私カニ學フ所ヲ善シトシテ朝廷ノ建立スル所ヲ誹譏セリ

今陛下并有天下。辨白黑而定一尊。而私學乃相與非法教之。

制聞令下。即各以其私學議之。入則心非。出則巷議。非主以為名。異趣以為高。率郡下以造謗。如此不禁。則主勢降乎上。黨與成乎下。禁之便。

(辨白黑)前ノ時國政ヲ異ニシ家俗ヲ殊ニス人私語ヲ造リテ其真ヲ辨スルナシ今ハ乃チ其白黒ヲ分別スルナリ (定一尊)秦ノ始皇六國ヲ并セテ天下ヲ定ム海内共ニ一帝ヲ尊ヒ立ツ故ニ一尊ヲ定ムト云フナリ

今日陛下天下ヲ兼并シ眞偽ヲ分辨シテ海内一尊ヲ取定メタリ而ルニ私カニ學ヒテ相與ニ法律教令ノ制ヲ誹譏シ朝廷ヨリ條令ノ下ルヲ聞ケハ各々己レノ私カニ主トシテ學フ所ヲ以テ之ヲ議論セリ朝廷ノ内ニ入レハ口ニハ出サスト雖用心ニ之ヲ誹譏シ朝廷ノ外ニ出レハ憚ル所ナク巷街ニ之ヲ議論ス我カ主人ヲ誹ルヲ以テ名譽ト爲シ朝廷ト趣ヲ異ニスルヲ以テ高尚ト爲シテ而シテ衆多ノ人ヲ率ヒテ誹謗ヲ爲セリ此ノ如キヲ禁セサレハ人主ノ勢力上ニテ降り人民ノ黨與下ニテ成ル故ニ之ヲ禁スルヲ便利ト爲スナリ

臣請諸有文學詩書百家語者。蠲除去之。令到滿三十日。弗去。黥爲城旦。所不去者。醫藥卜筮種樹之書。若有欲學者。以吏爲師。始皇可其議。收去詩書百家之語。以愚百姓。使天下無以古

非今。

(蠲除)ノゾキノゾクナリ (黥爲城旦)黥ハ額部ニ入レ墨シテ罪人タルノ印シテ爲スナリ城旦ハ旦ダニ起チ行テ城ヲ治ムルナリ四歲ノ刑ナリ (卜筮)龜ヲ以テウラナフヲトト曰ヒ著ヲ以テウラナフヲ筮ト曰フ (收去)收ハ没入スルナリ即チ官ニ取り上ケルヲ言フ

臣請フ諸文學詩書百家ノ語ヲ錄シタルモノハ蠲除シテ盡ク之ヲ去ラン此ノ條令下リテ三十日內ニ悉ク棄テ去ラサルモノハ入墨シテ城旦ノ刑ヲ施サン但棄テ去ラサル所ノ者ハ人ノ疾病ヲ療スル醫藥ノ書ト人ノ吉凶ヲ判スル卜筮ノ書ト米穀ヲ培養スル種樹ノ書トヨ若シ之ヲ學ハント欲スルモノアラハ宜シク司法ノ官吏ヲ以テ師トセシメント始皇其議論ヲ宜シトシ詩書百家ノ語ヲ錄セル者ヲ没入シテ百姓ヲ愚昧ニシ天下ノ人ヲシテ古ヘノ事ヲ引テ今ノ事ヲ誹譏スルヲナカラシム

明法度。定律令。皆以始皇起。同文書。治離宮別館。周徧天下。明年又巡狩。外攘四夷。斯皆有力焉。

(同文書)六國ノ制令文書各々同シカラサリシニ今之ヲ同フセシムルヲ言フ (周徧)アマチクアマチキナリ天下至ル所離宮別館アルヲ言フ (巡狩)諸郡縣ヲ巡行スルヲ言フ

法度ヲ明カニシ律令ヲ定メタルハ皆始皇ヨリシテ之ヲ起シ及ヒ天下ノ文書ヲ同フシ離宮別館ヲ築キテ天下ニ周徧セリ明年又天下ノ郡縣ヲ巡狩シテ外ハ四夷ヲ攘ヒタル李斯皆其計ニ與カリテカアリ

斯長男由爲三川守諸男皆尙秦公主女悉嫁秦諸公子三川守由告歸咸陽李斯置酒於家百官長皆前爲壽門廷車騎以千數

(尙)配スルナリ公主ヲ娶ルナ尙ト曰フ言フハ帝王ノ女ハ之ヲ尊尙スルナリ敢テ娶ルト言ハサルナリ (告歸)休暇ヲ請フテ歸ルナリ

李斯ノ長男李由トイヘルモノ三川ノ守ト爲リ而シテ其他ノ諸男ハ皆秦ノ公主ニ配シ女ハ悉ク秦ノ諸公子ニ嫁シタリ李斯ノ勢盛ナルヲ甚クシ此時偶マ三川ノ守李由ト休暇ヲ請フテ咸陽ニ歸レリ李斯仍テ吾カ家ニ於テ置酒ス百官ノ長皆進ミテ壽ヲ爲セリ門前ヤ屋敷ノ内ハ車騎充滿シテ千ヲ以テ數フル程ナリシ

李斯喟然而歎曰嗟乎吾聞之荀卿曰物禁太盛夫斯乃上蔡布衣閭巷之黔首上不知其驚下遂擢至此當今人臣之位無居臣上者可謂富貴極矣物極則衰吾未知所稅駕也

(驚下)驚ハ凡馬ノ稱ナリ故ニ人ノオノ凡下ナルヲ驚下ト言フ (稅駕)稅ハ脱ト通ス駕

ヲ脱クトハ猶駕ヲ解クノ如シ休息スルヲ言フ己レ今日富貴己ニ極マル然レモ未タ向後吉凶止泊スル何ノ處ニ在ルヲ知ラサルヲ言フナリ

李斯喟然トシテ歎息シテ曰クア、吾之ヲ荀卿ニ聞ケリ曰ク凡テ物ハ甚ク盛シタルヲ禁スト夫レ斯ハ乃チ楚ノ上蔡ノ一賤民ニシテ閭巷ニ窮居セシ所ノ黔首ナリ上吾カオノ驚下ナルヲ知ラスシテ遂ニ擢ンテ、此ニ至レリ當今人臣ノ位ハ臣カ上ニ居ル者ナシ是レ富貴ノ極ト謂フヘシ物極マレハ必ラス衰ヘニ歸ス吾未タ駕ヲ解テ休息スル所ヲ知ラスト

始皇三十七年十月行出游會稽並海上北抵琅邪丞相斯中車府令趙高兼行符璽令事皆從始皇有二十餘子長子扶蘇以數直諫上使監兵上郡蒙恬爲將少子胡亥愛請從上許之餘子莫從

始皇三十七年十月自カラ行キ出テ、會稽ニ遊ヒ仍テ海上ニ沿ヒテ北ノ方琅邪トイヘル所ニ到レリ丞相李斯及ヒ中車府ノ令ニシテ符璽ノ令ノ事ヲ兼テ行ヘル所ノ趙高トイヘル者モ亦皆從ヘリ始皇二十餘人ノ子アリ長子ノ扶蘇トイヘルモノ數々始皇ヲ直諫スルヲ以テ始皇之ヲ厭ヒテ上郡トイヘル所ニ遣リテ兵ヲ監督セシム蒙恬之レカ將タリ少子

胡亥トイヘルモノ尤モ寵愛セラルル此時從ヒ行カント請フ始皇之ヲ許シタリ其他ノ子ハ皆從フモノナシ

其年七月。始皇帝至沙丘。病甚。令趙高爲書。賜公子扶蘇曰。以兵屬蒙恬。與喪會咸陽而葬。書已封。未授使者。始皇崩。書及璽皆在趙高所。獨子胡亥。丞相李斯。趙高。及幸臣者五六人。知始皇崩。餘群臣皆莫知也。

其年ノ七月ニ始皇沙丘トイヘル所ニ至リシニ病氣甚クシ仍テ趙高ヲシテ書ヲ作リテ公子扶蘇ニ賜ハシメテ曰ク兵ヲ以テ蒙恬ニ委ネテ喪ト俱ニ咸陽ニ會シテ葬レト其書既ニ封印シテ未タ使者ニ授ケサル中ニ始皇崩シタリ故ニ其書ト傳國璽トハ皆趙高ノ所ニ在リ唯子胡亥。丞相李斯。趙高。及モ寵幸セラルル所ノ官者五六人カ始皇ノ崩スルヲ知ルノミニテ其他ノ群臣ハ皆之ヲ知ルモノナシ

李斯以爲上在外崩。無眞太子。故祕之。置始皇居輜輳車中。百官奏事。上食如故。宦者輒從輜輳車。可諸奏事。

(輜輳車)輜ハ温ナリ輳ハ涼ナリ車上ニ窓アリテ之ヲ閉ツレハ温カニ之ヲ開ケハ涼シ故

ニ輜輳ト曰フナリ (奏事)人臣事ヲ上ニ申シ上クルノ章疏ヲ奏ト曰フナリ

李斯以爲ラク始皇外ニ在リテ崩シ未タ眞ノ定マリタル太子ナシト故ニ之ヲ祕密ニシテ喪ヲ發セス始皇ヲ置テ輜輳車ノ中ニ居ケリ百官事ヲ奏シ或ハ食ヲ上ツルヲ故ノ如シ宦者其輜輳車ノ中ヨリシテ諸ノ奏事ヲ裁可シタリ

趙高因留所賜扶蘇璽書。而謂公子胡亥曰。上崩。無詔封王諸子。而獨賜長子書。長子至。即立爲皇帝。而子無尺寸之地。爲之奈何。胡亥曰。固也。吾聞之。明君知臣。明父知子。父捐命。不封諸子。何可言者。

(固也)固ハ本ヨリ然ルノ辭ナリ (捐命)死スルヲ言フ

趙高因テ公子扶蘇ニ賜フ所ノ璽ト書トヲ留メテ公子胡亥ニ謂テ曰ク上崩シテ詔シテ諸子ヲ封シテ王トスルナク獨リ長子扶蘇ニ書ヲ賜フ長子至ラハ即チ立チテ皇帝ト爲リ子ハ僅カニ尺寸ノ地モナケン之ヲ爲ス。如何。胡亥曰ク扶蘇ハ長子ニシテ父ノ命ヲ以テ立ツ。ナレハ本ヨリマサニ然ルヘキ。ナリ吾之ヲ聞ケリ明君ハ臣ノ賢愚ヲ知リ明父ハ子ノ賢愚ヲ知ルト今父死シテ諸子ヲ封セス人子タルモノ何ソマサニ計議ヲ言フヘケン

趙高曰不然。方今天下之權存亡在子與高及丞相耳。願子圖之。且夫臣人與見臣於人。制人與見制於人。豈可同日道哉。

趙高曰ク然ラス方今天下ノ權威ヲ握リテ其國ノ存スルト亡フトハ唯子ト高及ヒ丞相ノ欲スル所ニ在ルノミ願クハ子之ヲ熟計セヨ且ツ夫レ人ヲ臣トスルト人ニ臣トシテ使ハルハト人ヲ制取スルト人ニ制取セラルトトハ豈ニ同日ニシテ言フヘケンヤ

胡亥曰廢兄而立弟。是不義也。不奉父詔而畏死。是不孝也。能薄而材讓。彊因人臣之功。是不能也。三者逆德。天下不服。身殆傾危。社稷不血食。

(能薄而材讓) 能薄シトハハタラキノ少キヲ言フ讓ハ淺ノ義ナリ材讓シトハ才氣ノ乏シキヲ言フ (逆德) モトリタル行ナリ (傾危) カタフキ危キナリ (血食) 祭リチ血食ト曰フ

胡亥曰ク兄ヲ廢シテ弟ヲ立ツルハ是レ不義ナリ父ノ詔ヲ奉セスシテ死ヲ畏ルハ是レ不孝ナリ能薄クシテ材讓ク強テ人臣ノ功勞ニ依頼スルハ是レ不能ナリ此ノ三ツノモノハ皆逆德ニシテ天下ノ人皆服從セス身殆ント傾危シ社稷血食セサルナリ

高曰。臣聞湯武殺其主。天下稱義焉。不爲不忠。衛君殺其父。而

衛國載其德。孔子著之。不爲不孝。夫大行不小謹。盛德不辭讓。鄉曲各有宜。而百官不同功。故顧小而忘大。後必有害。狐疑猶豫。後必有悔。斷而敢行。鬼神避之。後有成功。願子遂之。

(載其德) 載ハ載ト通ス其恩德ヲ荷フヲ言フ (鄉曲) 鄉ハ万二千五百家ナリ曲ハ八委巷ナリ鄉里ノノヲ言フ (狐疑猶豫) 狐ノ性疑心多シ故ニ人ノ疑惑スルヲ狐疑ト曰フ猶豫ノ解ハ前ニ詳ラカナリ

趙高曰ク臣之ヲ聞ケリ昔シ殷ノ湯王ヤ周ノ武王ハ其主人ヲ殺シタレト天下ノ人皆之ヲ稱シテ義ト爲シテ敢テ不忠ト爲スモノナシ殷ノ湯王ハ夏ノ桀ヲ殺シ周ノ武王ハ殷ノ紂ヲ殺シタリ故ニ其主ヲ殺スト云フ又衛君ハ其父ヲ殺シタレト衛國ノ人皆其恩德ヲ戴ケリ孔子モ之ヲ春秋ニ著シテ不孝ト爲サス夫レ大行ヲ爲ス者ハ小謹ヲ爲サス盛德アル者ハ辭讓ヲ爲サス鄉里ニハ夫々宜シキ所アリテ百官ノ事ヲ行フ者皆其功ヲ同フセス故ニ小事ヲ願ミテ大事ヲ忘レハ後チニ必ラス害ヲ招クトアリ狐疑猶豫セハ後チニ必ラス悔ヲ招クトアリ決斷シテ敢テ之ヲ行ヘハ鬼神モ之ヲ懼レ避ケテ後チニ必ラス功ヲ成ストアリ願クハ子之ヲ斷行セヨ

胡亥喟然歎曰。今大行未發。喪禮未終。豈宜以此事干丞相哉。

趙高曰。時乎時乎。間不及謀。羸糧躍馬。唯恐後時。胡亥既然。高之言。高曰。不與丞相謀。恐事不能成。臣請爲子與丞相謀之。

(大行)天子ノ崩スルヲ大行ト曰フ其往テ返ラサルヲ以テノ故ニ大行ト曰フナリ (干) 求ムルナリ (羸)擔ヒ負フナリ

胡亥喟然トシテ歎シテ曰ク今大行未タ發セス喪禮未タ終ラス豈ニ宜シク此事ヲ以テ丞相ニ求ムヘケンヤ趙高曰ク時カ其間謀ルニ及ハス糧ヲ羸ラシ馬ヲ躍ラシ唯時ニ後クルトナ恐ルトト胡亥既ニ趙高ノ言ヲ以テ然リト爲ス趙高又曰ク丞相ト之ヲ謀ラサレハ恐ラクハ事成ル能ハス臣請フ子カ爲メニ丞相ト之ヲ謀ラント

高乃謂丞相斯曰。上崩。賜長子書。與喪會咸陽而立爲嗣。書未行。今上崩。未有知者也。所賜長子書及符璽皆在胡亥所。定太子在君侯與高之口耳。事將何如。

趙高仍テ丞相李斯ニ謂テ曰ク上先キニ崩スル前ニ當リテ長子扶蘇ニ書ヲ賜フテ曰ク喪ト咸陽ニ會シテ立テ我カ嗣ト爲レト其書未タ行カス今上崩シテ未タ知ルモノアラス長子ニ賜フ所ノ書及ヒ符璽ハ皆胡亥ノ所ニ在リ符璽及ヒ書ハ本ト趙高カ所ニ在リテ胡亥ト云フモノハ亦以テ李斯ヲ劫カスナリ太子ヲ定ムルハ君侯ト高ノ口トニ在ルノ事

將サニ何如ンセントスル

斯曰。安得亡國之言。此非人臣所當議也。高曰。君侯自料能孰與蒙恬。功高孰與蒙恬。謀遠不失。孰與蒙恬。無怨於天下。孰與蒙恬。長子舊而信之。孰與蒙恬。斯曰。此五者皆不及蒙恬。而君責之何深也。

李斯曰ク安クンソ此ノ亡國ノ言ヲ發スルヲ得ン此レ人臣タルモノ、當サニ議論スヘキ所ニ非サルナリ趙高曰ク君侯自カラ料ルニ材能ノ多キヲ蒙恬ニ孰レソヤ功勞ノ高キヲ蒙恬ニ孰レソヤ遠キヲ謀リテ失ハサルヲ蒙恬ニ孰レソヤ天下ノ人ニ怨ミラル、ナキヲ蒙恬ニ孰レソヤ長子扶蘇カ舊故アリトシテ之ヲ信用スルヲ蒙恬ニ孰レソヤ李斯曰ク此ノ五ツノモノハ我皆蒙恬ニ及ハス而シテ君之ヲ責ムル、何ソ深キヤ

高曰。高固內官之厮役也。幸得以刀筆之文。進入秦宮。管事二十餘年。未嘗見秦。免罷丞相功臣有封及二世者也。卒皆以誅亡。皇帝二十餘子。皆君之所知。長子剛毅而武勇。信人而奮士。

即位必用蒙恬爲丞相。君侯終不懷通侯之印。歸於鄉里明矣。

(内官) 宦者ヲ謂フ (廝役) 廝ハ薪ヲ取ルナリ役ハ使役ナリ薪ヲ取ルノ賤役ヲ爲セシテ言フ (刀筆之文) 古ヘハ事皆簡牘ノ上ニ書ス若シ誤謬アレハ刀ヲ以テ之ヲ削リ改ムルカ故ニ刀筆ノ文ト云フ (剛毅) キツクシテ思切リノヨキヲナリ (通侯) 漢ニ列侯或ハ徹侯ト曰フ是レナリ

趙高曰ク高ハ固ト内官ノ廝役ナリ幸ニ刀筆ノ文ヲ以テ進ミテ秦ノ宮ニ入ルヲ得タリ事ヲ管理スルヲ二十餘年ノ久シキ間ニシテ未タ嘗テ秦ノ免罷セシ所ノ丞相及ヒ功臣ノ封二代續ク者ヲ見ス終ニハ皆殺シ滅サルトナリ始皇子二十餘人アルハ皆君ノ知ル所ナリ長子扶蘇ハ甚々剛毅ニシテ武勇ナリ人ヲ信用シテ士ヲ奮發セシム扶蘇若シ位ニ即カハ必ラス蒙恬ヲ以テ丞相ト爲サン蒙恬丞相ト爲ラハ君侯ハ長ク通侯ノ印ヲ膺キテ鄉里ニ歸ラレサルヲ明カナリ

高受詔教習胡亥使學以法事數年矣未嘗見過失慈仁篤厚輕財重士辯於心而詘於口盡禮敬士秦之諸子未有及此者可以爲嗣君計而定之

(慈仁) イツククシミニナサケ深キナリ (篤厚) 人情ノ厚キナリ (詘於口) 詘ハ屈ト通ス

不辯ナルヲ言フ

高詔ヲ受ケテ公子胡亥ヲ教習シ學ハシムルニ法律政事ヲ以テスルヲ數年ノ間ナリ未タ嘗テ其過失アルヲ見ス其性質甚々慈仁篤厚ニシテ錢財ヲ輕ンシ士人ヲ重ンセリ心ノ内ハ極メテ能ク分別シテ口ノ上ハ極メテ不辯ナリ又能ク禮義ヲ盡シテ士人ヲ敬ヒ尊ヘリ秦ノ諸子ノ中ニ於テ未タ胡亥ニ及フモノアラス是レ我カ君ノ嗣ト爲スヘシ君侯早ク計リテ之ヲ定メヨト

斯曰君其反位斯奉主之詔聽天之命何慮之可定也高曰安可危也危可安也安危不定何以貴聖

李斯曰ク君其レ已レノ位ニ反レ帝タルヲ豈ニ人カナランヤ斯ハ唯主ノ詔ヲ奉シ天ノ命ニ聽カンノミ敢テ何ノ慮カ定ムルヲアラン趙高曰ク天下ニハ定安ナク定危ナシ故ニ安キモ危フスヘク危キモ安フスヘシ唯之ヲ定メテ而シテ後チニ定安ナリ若シ安危定マラサレハ何ソ聖智ヲ貴ハント(之ヲ定ムルハ已レカ智計ニ在ルヲ言フナリ)

斯曰斯上蔡閭巷布衣也上幸擢爲丞相封爲通侯子孫皆至尊位重祿者故將以存亡安危屬臣也豈可負哉夫忠臣不避死而庶幾孝子不勤勞而見危人臣各守其職而已矣君其勿

復言將令斯得罪。

(屬臣) 屬ハ委メタルナリ (庶幾) 生チ食リ利チ幸フヲ謂フ
斯曰ク斯ハ上蔡ノ間巷ノ布衣ナリ上幸ニ擢ンテト丞相ト爲シ封シテ通侯ト爲セリ子孫
皆尊位重祿ニ至ル者ハ固ヨリ將サニ國家ノ存亡安危ヲ以テ臣ニ委ネントスレハナリ豈
ニ之ニ負クヘケンヤ夫レ忠臣タルモノハ死チ避ケテ生チ食リ利チ幸ハス孝子タルモノ
ハ身ヲ謹ミ親ニ事ヘテ敢テ危險ノ地ヲ蹈マサルナリ人臣タルモノハ各々其職ヲ守ルノ
ミ君其レ復タ言フナカレ將サニ斯チシテ罪ヲ得セシメントス

高曰。蓋聞聖人遷徙無常就變而從時見末而知本觀指而觀
歸物固有之安得常法哉。方今天下之權命懸於胡亥高能得
志焉。且夫從外制中謂之惑從下制上謂之賊故秋霜降者草
花落水搖動者萬物作此必然之效也君何見之晚。

(觀指而觀歸) 物ノク、リチ見テ其赴ク所ヲ知ルヲ言フ

趙高曰ク靈シ之ヲ聞ケリ聖人タルモノハ色々ニ場所ヲ遷シ徒シテ常ナシ物事ノ變化ニ
就テ時節ニ從ヒ末ヲ見テ其本ヲ知リ旨意ヲ見テ其赴ク所ヲ知ルナリ凡ソ事物ハ本ト此
ノ如シ安クソ常法ヲ守ルチ得ンヤ方今天下ノ權ノ在ル所死生與奪ノ命皆胡亥ニ懸リ

テ唯其欲スル所ノマ、ナリ高能ク其志ヲ得タリ且ツ夫レ外ヨリシテ中ヲ制取スル之ヲ
惑ト謂フ下ヨリシテ上ヲ制取スル之ヲ賊ト謂フ(此ノ二句ハ皆李斯カ胡亥ヲ制セント欲
スルモ其勢ノ順ナラサルヲ謂フナリ)故ニ秋ニ至リテ霜降レハ草花皆落チ春ニ至リテ冰
泮ケテ搖動スレハ万物皆生ス(此二句ハ其時ニ從ハサルヘカラサルヲ謂フナリ時ニ違フ
テ之ヲ行ヘハ猶秋ニ春合チ行ハシメ春ニ秋合チ行ハシムルカ如シ其成ラサルト亦必然
ナリ)此レ必然ノ效ナリ君何ソ事ヲ見ルノ晚キヤ

斯曰。吾聞晉易太子三世不安齊桓兄弟爭位身死爲戮紂殺
親戚不聽諫者國爲丘墟遂危社稷三者逆天宗廟不血食斯
其猶人哉安足爲謀。

(丘墟) 丘ハ阜ナリ墟ハ城跡ナリ

李斯曰ク吾之ヲ聞ケリ晉太子申生ヲ廢シテ奚齊ヲ立テ三世之レカ爲メニ安カラス(晋ノ
世家ニ詳ラカナリ)齊ノ桓公ノ兄弟(小白ト公子糾ト)言フ位ヲ爭ヒテ身死シテ戮ト爲レ
リ(齊ノ世家ニ詳ラカナリ)殷ノ紂王ハ親戚ノ比干ヲ殺シ箕子ヲ囚ニシ諫メテ用ヒスシテ
國終ニ丘墟ト爲リ遂ニ社稷ヲ危フセリ此ノ三ツノモノハ皆天道ニ逆ヒテ宗廟血食セス
我ハ今日猶是レ人ナリ人ノ道ハマサニ順チ守ルヘシ豈ニ能ク逆謀ヲ爲スヘケンヤ

高曰。上下合同可以長久中外若一事無表裏君聽臣之計即

長有封侯。世々稱孤。必有喬松之壽。孔墨之智。今釋此而不從。禍及子孫。足以爲寒心。善者因禍爲福。君何處焉。

(事無表裏) 事皆一ニシテ背ク者ナキヲ言フ (喬松) 王子喬赤松子ノ二人ハ皆仙人ノ術ヲ得タル者ナリ (孔墨) 孔子墨翟ナリ

趙高曰ク上下其心ヲ合同セハ長久ナルヘシ中外其心一ノ如クナレハ事ニ表裏ナシ君臣ノ計ヲ聽ケハ即チ長ク封侯チ有チ世々孤ト稱シテ必ラス王子喬赤松子ノ壽ト孔子墨翟ノ智アラシ今此ヲ釋テト從ハサレハ其禍必ラス子孫ニ及フヘシ寒心ヲ爲スニ足ルナリ智謀ノアル者ハ能ク禍ヲ轉シテ福ト爲ス禍福ノ地君何レニ處ラント欲スル

斯乃仰天而歎。垂淚太息曰。嗟乎。獨遭亂世。既以不能死。安託命哉。於是斯乃聽高。高乃報胡亥曰。臣請奉太子之明命。以報丞相。丞相斯敢不奉令。

(明命) 賢明ナル教ナリ

李斯仍テ天ヲ仰キテ歎息シ淚ヲ垂レテ太息シテ曰クア、獨リ亂世ニ遭フテ既ニ死スル能ハス今趙高ノ計ニ從ハサレハ我カ驅命ヲ託スル所ナシト是ニ於テ李斯遂ニ趙高ノ說ヲ聽キ納レタリ趙高仍テ胡亥ニ報シテ曰ク臣請フ太子ノ明命ヲ奉ケテ丞相ニ報セン丞

相李斯敢テ命ヲ奉セサランヤ

於是乃相與謀。詐爲始皇詔。丞相立子胡亥爲太子。更爲書。賜長子扶蘇曰。朕巡天下。禱祠名山諸神。以延壽命。今扶蘇與將軍蒙恬將師數十萬。以屯邊。十有餘年矣。不能進而前。士卒多耗。無尺寸之功。乃反數上書。直言誹謗我所爲。以不得罷歸爲太子。日夜怨望。

(禱祠) イノリマツルナリ (耗) 數ノヘルコトナリ (無尺寸之功) 僅カノ功モナキヲ言フ (怨望) ウラミウラムナリ

是ニ於テ相與ニ謀リ詐リテ始皇ノ詔ヲ受クト爲シ丞相公子胡亥ヲ立テ、太子ト爲ス又改メテ書ヲ爲クリテ長子扶蘇ニ賜フテ曰ク朕天下ヲ巡行シ名山諸神ヲ禱祠シテ壽命ヲ延ハセリ今扶蘇將軍蒙恬ト數十万ノ師ヲ率ヒテ邊境ニ屯スルコト十餘年ノ間ナリ進ミテ地ヲ廣ムルコト能ハス士卒多ク耗シテ尺寸ノ功ナシ反テ數々上書直言シテ我カ爲ス所チ誹謗シ邊境ヨリ罷メ歸リテ太子ト爲ルチ得サルチ以テ日夜怨望セリ

扶蘇爲人子。不孝。其賜劍以自裁。將軍恬與扶蘇居外。不匡正。

宜知其謀。爲人臣不忠。其賜死。以兵屬裨將王離。封其書。以皇帝璽。遣胡亥客。奉書賜扶蘇於上郡。使者至發書。扶蘇泣。入內舍欲自殺。

(自裁) 自害ナリ (匡正) タゞシタゞスナリ (裨將) 裨ハ小ナリ裨將ハ猶小將軍ト云フカ如シ (內舍) 扶蘇ノ住メル舍ナリ

扶蘇人子トシテ甚タ不孝ナリ仍テ劍ヲ以テ自裁セヨ將軍蒙恬扶蘇ト俱ニ外ニ居リテ其惡ヲ匡正セス宜シク其內謀ヲ知ルヘシ人臣トシテ甚タ不忠ナリ仍テ死ヲ賜フナリ其將フル所ノ兵ハ裨將ノ王離ニ委ネヨト其書ヲ封スルニ皇帝ノ璽ヲ以テシ胡亥ノ客ヲ遣リテ書ヲ奉ク上郡ニ至リテ扶蘇ニ賜ハシム使者至リテ書ヲ發ス扶蘇之ヲ見テ泣テ內舍ノ中ニ入テマサニ自殺セント欲ス

蒙恬止扶蘇曰。陛下居外。未立太子。使臣將三十萬衆守邊。公子爲監。此天下重任也。今一使者來。卽自殺。安知其非詐。請復請。復請而後死。未暮也。

蒙恬扶蘇ヲ止メテ曰ク陛下外ニ居リテ未タ太子ヲ定メ立テス且ツ臣ヲシテ三十萬ノ大衆ヲ率ヒテ邊境ヲ守ラシメテ公子ハ其監督タリ此レ天下ノ重任ナリ今日一ノ使者來ル

ニ因リテ卽チ自殺セント欲ス安ケンソ其詐リニ非サルヲ知ラン請フ再タヒ之ヲ始皇ニ請ハン再タヒ請フテ後チニ死スル未タ敢テ晚カラサルナリト

使者數趣之。扶蘇爲人仁。謂蒙恬曰。父而賜子死。尙安復請。卽自殺。蒙恬不肯死。使者卽以屬吏繫於陽周。使者還報胡亥。斯高。大喜。至咸陽發喪。

(重任) 重キ役向ナリ

此時使者數々之ヲ促カセリ扶蘇カ性質タル仁者ナリ蒙恬ニ謂テ曰ク父ニシテ子ニ死ヲ賜フ尙安クソ再タヒ請ハンヤト遂ニ自殺シタリ蒙恬ハ死スルヲ肯ンセス使者卽チ蒙恬ヲ以テ吏ニ委ネテ陽周トイヘル所ノ獄中ニ繫ケリ使者還リテ報ス胡亥及ヒ李斯趙高皆大ニ喜ヒ爰ニ咸陽ニ至リテ始メテ始皇ノ喪ヲ發シタリ、

太子立爲二世皇帝。以趙高爲郎中令。常侍中用事。二世燕居。乃召高與謀事。謂曰。夫人生居世間也。譬猶騁六驥過決隙也。吾旣已臨天下矣。欲悉耳目之所好。窮心志之所樂。以安宗廟。而樂萬姓。長有天下。終吾年壽。其道可乎。

燕居) 間暇無事ノ時ナリ (決隙) カケタル壁ノ間ヲ言フ、馬ノ壁隙ヲ過クルカ如シトハ
人間一生ノ短カキニ譬フルナリ (万姓) 万民ヲ言フ (其道) 此レニ由ラント欲スルヲ
言フ

太子胡亥立チテ二世皇帝ト爲ル趙高ヲ以テ郎中令ト爲シ常ニ中ニ侍シテ事ヲ用ヒタリ
二世嘗テ間暇無事ノ時趙高ヲ召シテ與ニ事ヲ謀リテ謂テ曰ク人生レテ世間ニ居ルヤ其
早キヲ譬ヘハ六匹ノ驥ヲ馳セテ決裂セル所ノ壁隙ヲ過クルカ如シ吾既ニ天子ト爲リテ
天下ニ臨ム、マサニ耳目ノ好ム所ヲ盡クシテ心志ノ樂ム所ヲ窮メ宗廟ヲ安シテ万民ヲ
樂マシメ長ク天下ヲ有チテ吾カ年壽ヲ終ヘント欲ス其道ニ由ラント欲ス可ナランカ

高曰。此賢主之所能行也。而昏亂主之所禁也。臣請言之。不敢
避斧鉞之誅。願陛下少留意焉。夫沙丘之謀。諸公子及大臣皆
疑焉。而諸公子盡帝兄。大臣又先帝之所置也。今陛下初立。此
其屬意怏々。皆不服。恐爲變。且蒙恬已死。蒙毅將兵居外。臣戰
々栗々。唯恐不終。且陛下安得爲此樂乎。

(不避斧鉞之誅) 斧ハオノナリ鉞ハマサカリナリ殺サルハモ構ハス申スト言フナ
リ (沙丘之謀) 始皇沙丘ニテ崩セシ時趙高謀テ胡亥ヲ立ツルヲ言フ (怏々) 意満足

セサル貌ナリ (戰々栗々) 共ニ恐懼スル貌ナリ

趙高曰ク此レ賢主ノ能ク行フ所ニシテ昏亂ノ主ノ禁スル所ナリ臣請フ之ヲ申サン敢テ
斧鉞ノ誅ヲ避ケス願クハ陛下少シク意ヲ留メヨ夫レ沙丘ノ謀諸公子及ヒ大臣皆之ヲ疑
ヘリ而シテ諸公子ハ悉ク帝ノ兄ニシテ大臣ハ又先帝ノ置ク所ナリ今陛下初メテ立ツ此
レ其徒屬ノ意怏々トシテ皆服從セス恐ラクハ非常ノ事ヲ爲サン且ツ蒙恬既ニ死シ其弟
ノ蒙毅兵ヲ率ヒテ外ニ居レリ臣戰々栗々トシテ恐懼シテ唯無事ニ終ヘサルヲ恐ル且ツ
陛下安クンソ此樂ヲ爲スヲ得ンヤ

二世曰。爲之奈何。趙高曰。嚴法而刻刑。令有罪者相坐誅。至收
族。滅大臣而遠骨肉。貧者富之。賤者貴之。盡除去先帝之故臣。
更置陛下之所親信者近之。此則陰德歸陛下。害除而姦謀塞。
群臣莫不被潤澤。蒙厚德。陛下則高枕肆志寵樂矣。計莫出於
此。二世然高之言。乃更爲法律。

(刻刑) 刻ハ手ヒドクスルナリ (坐誅) 罪ニオトシテ殺スナリ (收族) 其一族ヲ舉ケ
テ之ヲ殺スヲ謂フ (陰德) 人知レズノナサケナリ (潤澤) メクミナサケナリ (寵樂)